既定豫算高　金拾七萬六千圓

第一項　勸業會費本年度支出額　金百壹萬千八百七拾壹圓參拾錢

既定豫算高金七拾六萬九千六百參拾參圓九拾壹錢貳厘

臨時部合計金百六拾萬五千五百五圓貳拾壹錢貳厘

既定豫算高　金五拾五萬貳千七百六拾貳圓九拾錢貳厘

內　市部負擔　金百參拾壹萬參千四百五圓七拾八錢五厘

既定豫算高　金貳拾壹萬六千八百七拾壹圓壹錢

郡部負擔　金貳拾九萬貳千九拾九圓四拾貳錢七厘

既定豫算高金貳百參拾八萬參千八百貳拾九圓貳拾錢六厘

歲出總計金參百貳拾壹萬九千七百圓五拾錢六厘

既定豫算高　金百七拾壹萬參千六百九拾六圓四拾八錢八厘

內　市部負擔　金貳百四拾七萬四千參百參拾九圓參拾七錢壹厘

既定豫算高　金六拾七萬百參拾貳圓七拾壹錢八厘

郡部負擔　金七拾四萬五千參百六拾壹圓拾參錢五厘

（原案說明）本更正豫算議案ハ府臨第一號議案ニ伴フニ由ル

臨時市部會

本會は、大正二年四月十四日午後二時五十一分に開議し、會議二日間に渉り、四月十七日午後三時三十六分議事終了散會した。

酒井議長は、會議の同意を得て、有賀立雄・廣橋嘉七郎を會議錄署名議員に選定した。

議案

市部臨第一號議案　大正二年度東京府市部歲入歲出更正豫算書……可決

議決摘要

市部臨第一號議案　大正二年度東京府市部歲入歲出更正豫算書……可決

歲入

經常部

既定豫算高　金貳拾七萬四千五百六拾六圓參拾六錢八厘

第十一款　市郡連帶市部收入額　金八拾萬貳千百四拾七圓五拾壹錢參厘

既定豫算高　金貳拾七萬四千五百六拾六圓參拾六錢八厘
第一項　市郡連帶市部收入額　金八拾萬貳千百四拾七圓五拾壹錢參厘
既定豫算高金參百九拾貳萬貳百參拾參圓五拾貳錢八厘
經常部合計金四百四拾四萬七千八百拾四圓六拾七錢參厘

臨時部

既定豫算高　金七萬千九百五拾參圓八拾參錢六厘
第一款　繰越金　金貳拾壹萬五千拾五圓五拾七錢四厘
既定豫算高　金七萬千九百五拾參圓八拾參錢六厘
第一項　前年度繰越金　金貳拾壹萬五千拾五圓五拾七錢四厘
既定豫算高　金〇
第四款　運用金　金九萬圓
既定豫算高　金〇
第一項　運用金　金九萬圓
既定豫算高金拾壹萬千參百六拾五圓四拾九錢六厘
臨時部合計金參拾四萬四千四百貳拾七圓貳拾參錢四厘

既定豫算高金四百參萬千五百九拾九圓貳錢四厘
歳入總計金四百七拾九萬貳千貳百四拾壹圓九拾錢七厘

歳出

經常部

既定豫算高　金百七拾壹萬參千六百九拾六圓四拾八錢八厘
第八款　市郡分賦市部負擔額　金貳百四拾七萬四千參百參拾九圓參拾七錢壹厘
既定豫算高　金百七拾壹萬參千六百九拾六圓四拾八錢八厘
第一項　市郡分賦市部負擔額　金貳百四拾七萬四千參百參拾九圓參拾七錢壹厘
既定豫算高金參百六拾六萬千六百貳拾七圓參拾壹錢四厘
經常部合計金四百四拾貳萬貳千貳百七拾圓拾九錢七厘
既定豫算高金四百參萬千五百九拾九圓貳錢四厘
歳出總計金四百七拾九萬貳千貳百四拾壹圓九拾錢七厘

（原案說明）本更正豫算議案ハ府歳入出豫算ノ更正ニ伴フニ由ル

臨時郡部會

本會は、大正二年四月十四日午後二時五十三分に開議し、會議二日間に渉り、四月十七日午後三時四十分議事終了散會した。

相澤議長は、會議の同意を得て、村林彦之・齋藤政吉の兩名を會議錄署名議員に選定した。

議案

郡部臨第一號議案　大正二年度東京府郡部歳入歳出更正豫算書……可決

議決摘要

郡部臨第一號議案　大正二年度東京府郡部歳入歳出更正豫算書……可決

歳入

經常部

既定豫算高　金拾壹萬八千四百參拾五圓八拾參錢七厘

第十三款　市郡連帶郡部收入額　金拾七萬六百拾四圓拾九錢貳厘

既定豫算高　金拾壹萬八千四百參拾五圓八拾參錢七厘

第一項　市郡連帶郡部收入額

既定豫算高　金百七拾八萬六千五百四拾參圓九錢七厘

經常部合計金百八拾參萬八千七百貳拾壹圓四拾五錢貳厘

既定豫算高金百八拾六萬參千八百八拾八圓貳拾錢四厘

歳入總計金百九拾壹萬六千六拾六圓五拾五錢九厘

歳出

經常部

既定豫算高　金六拾七萬百參拾貳圓七拾壹錢八厘

第十三款　市郡分賦郡部負擔額　金七拾四萬五千參百六拾壹圓拾參錢五厘

既定豫算高　金六拾七萬百參拾貳圓七拾壹錢八厘

第一項　市郡分賦郡部負擔額　金七拾四萬五千參百六拾壹圓拾參錢五厘

既定豫算高金百四拾六萬五百八拾九圓七錢九厘

經常部合計金百五拾參萬五千八百拾七圓四拾九錢六厘

臨時部

既定豫算高　金拾五萬參千百九圓五拾錢

第八款　府債費

既定豫算高　金九萬參千九百八拾四圓五拾錢

第一項　元金還償　金拾壹萬七千圓

既定豫算高　金六萬貳千圓

第二項　利子　金參萬六千百九圓五拾錢

既定豫算高　金參萬千九百八拾四圓五拾錢

臨時部合計金參拾四萬四千百七拾四圓五拾錢

既定豫算高金百八拾六萬參千八百九拾九圓拾貳錢五厘

既定豫算高金百八拾六萬參千八百九拾九圓拾貳錢五厘

歲出總計金百八拾七萬九千九百八拾八圓貳拾錢四厘

歲出總計金百八拾七萬九千九百九拾壹圓六拾貳錢壹厘

府會議員協議會

大正二年六月二十四日府會議員協議會を開き、安樂警視總監、湯地官房主事、小濱警務部長、岡田、淺田の兩警視廳屬も便宜列席した。

開議の劈頭に安樂警視總監は、這回警察制度を改正した顚末を述べ、之に伴ふ費用の支出等に關しては何分の協贊を望む旨を希望した。

（註）警察制度の改正とは、市内の警察署を約半減して參拾九警察署外に水上警察署一ヶ署と爲し、別に二十九の臨時警察出張所を設置したること等を指稱するものである。

而して協議の結果次の通り決定した。

一這回ノ警察制度改正ニ伴ヒ派出所新築並電話架設費等合計約四萬六千圓ヲ要スル處府費多端財政困難ノ折柄ニ付臨機ノ措置トシテ既定ノ警察署建築費約六萬圓中ヨリ繰替支辨シ殘額壹萬四千圓ハ警察署中緊急ヲ要スル箇所ノ建築費ニ充ツルモノトス

之カ議決ハ參事會ニ一任スルモノトス

一派出所新設ニ付テハ假令ハ銀座通ノ如キ高等街衢ニ休憩所便所等ノ附屬セル派出所ヲ設置スルハ不體裁ノミナラス交通妨害ノ虞アルヲ以テ場所ノ關係等ヲ多少斟酌シテ適當ノ措置ヲ採ラレンコトヲ希望ス

終りに平田東京大正博覽會事務委員長が列席して、杉原座長から、閑院宮殿下を同博覽會總裁に推戴したることを報告し、滿場歡呼之を諒承した。

通常府會

本會は、大正二年十二月一日午後二時五分に開會し、會議四日間に渉り、十二月十八日午後四時十三分議事終了閉會した。

開會の當初、知事宗像政は、次の開會の辭を述べた。

「諸君　本日ヲ以テ通常府會並ニ市部會郡部會ヲ開キマス。茲ニ開會ノ初メニ當リマシテ特ニ御報告致シタイ事項ガアリマス。即チ本年九月　陛下ヨリ特別ノ思召ヲ以チマシテ

大正博覽會へ金壹萬圓御下賜ノ御沙汰ヲ蒙リマシテ御座イマス。誠ニ　聖恩優渥感激ニ堪ヘヌ次第デアリマス。此御下賜金ノ件並ニ使途ニ關シマシテハ既ニ委員會ニ諮問致シマシテ、最モ有效ナル方法ヲ講ジマシテ優渥ナル　聖意ニ副ヒ奉ランコトヲ期シツヽアリマス。宜シク此意ヲ諒セラレンコトヲ望ミマス。又本會ニ提出致シマシタ明年度ノ歲入出豫算ハ專ラ府民負擔ノ輕減ヲ旨ト致シマシテ、新規計畫ニ屬スル事項ハ概ネ之ヲ後年度ニ讓リマシテ、法令ノ結果又ハ自然ノ增加ヲ要スル萬已ムヲ得ザル費用ノミヲ計上イタシタノデアリマス。即チ增額ノ已ムヲ得ザル主ナル費目ハ

被護人收容所開設ニ伴フ諸費
大正博覽會取締ニ要スル諸費
府立學校長教員書記ノ增俸
警察署長並警部ノ宿料增額
巡査部長增俸
警察廳舍建築
蒸汽喞筒購入費

等デアリマス。尙本年度追加豫算ト致シマシテ、水害復舊費並大正博覽會取締及消防ニ要スル警察費ヲ要求イタシマシタ。議案ニ對シマスル說明書ハソレ〴〵議案ニ揭ゲテ置キマシタ。尙詳細ナルコトハ參與員ヲシテ隨時說明イタサセマス。宜シク御審議ノ上御決議アランコトヲ望ミマス（大正二年府會速記錄）」

杉原議長は、次の事項を報告した。

丑官發第一三一號

大正二年度通常府會、市部會、郡部會議事參與員別紙之通ニ有之候條此段及通知候也

大正二年十一月二十九日

東京府知事　宗像政

東京府會議長　杉原榮三郎殿

（別紙）

東京府內務部長　平田武二
東京府理事官　舟橋雅一
東京府技師　沖誠一
東京府屬　竹內順吉
府縣制第四十九條ニ依リ大正二年通常府會市部會郡部會ノ議事ニ參與ヲ命ス
東京府理事官　久保義三郎
東京府理事官　高橋德太郎
東京府技師　王供阿久
東京府屬　東京府屬原　林之助
警視廳官房主事　湯地幸平
警視廳警務部長　小濱松次郎
警視廳保安部長　長谷川久一
警視廳衞生部長　栗本庸勝
警視廳消防部長　室田景辰
警視廳消防司令　額賀仙太郎

警視廳警務部長　岡田由之助　警視廳屬兼警視廳屬兼警務部　淺田福一郎
警視廳警務部　宗紀　警視廳技手兼警視廳屬兼警務部　松本錄壽
警視廳警務部　平田清一　警視廳屬兼警務部　楠多美雄
警視廳警部　柳田

府縣制第四十九條ニ依リ大正二年通常府會市部會郡部會ノ議事ニ參與ヲ囑託ス

大正二年十一月二十九日

丑庶發第六七八號

東京府

府會議員左記ノ通異動候條此段及通知候也

大正二年十一月二十九日

東京府知事　宗　像　政

東京府會議長　杉原榮三郎殿

死亡　青木庄太郎
補闕當選　田中友右衞門
死亡　有賀立雄
補闕當選　鎌田芳太郎
死亡　曲木如長

丑庶發第六四〇號ノ四

府會議員左記ノ通異動候條此段及通知候也

大正二年十二月二日

東京府知事　宗　像　政

東京府會議長　杉原榮三郎殿

補闕當選　外山彖次郎

議長は、補闕當選議員田中友右衞門・鎌田芳太郎・外山彖次郎を議場に紹介したる後、府會閉會中議長に於て處理したる事項を、次の通報告した。

一小松川警察署巡査新貝精一氏本年四月四日職務執行ノ際兇漢ノ奸計ニ陷リ電流ニ觸レ死亡シタルニ付四月八日安樂警視總監ニ對シ哀悼ノ意ヲ表シ遺族へ傳達方依賴シタリ

一右ニ對シ四月二十一日遺族ヨリ答禮狀ヲ寄セ來レリ

一聖上御不例ノ趣拜聞ニ付五月二十四日參內天機ヲ奉伺シタリ

一獨逸國皇帝維廉第二世陛下御即位二十五年祝典ニ付六月十五日同國全權大使伯爵フォン、レックス閣下ニ祝詞ヲ呈シタリ

一右ニ對シ六月十六日附ヲ以テ獨逸國大使ヨリ答禮狀ヲ寄セラレタリ

一天皇陛下御床拂ニ付六月十五日內田副議長ト共ニ參內賀詞言上シタリ
一有栖川宮殿下御危篤ノ旨拜聞ニ付七月七日御本邸ニ參上御見舞申上ケ同時ニ電報ヲ以テ舞子御別邸ニ御見舞申上ケタリ
一有栖川宮殿下薨去ニ付七月十四日內田副議長ト共ニ御本邸ニ參上弔詞ヲ捧呈シタリ
一故有栖川宮殿下國葬儀ノ際警衞宜シキヲ得タルニ付七月十八日安樂警視總監ニ感謝狀ヲ贈レリ
一特別ノ　思召ヲ以テ東京大正博覽會ニ對シ金壹萬圓御下賜ニ付九月三十日宗像府知事ト共ニ參內御禮申上ケタリ
一德川慶喜公薨去ニ付十一月二十六日弔詞ヲ呈シタリ
議長は、會議の同意を得て、飯塚仁兵衞・豊田周作を會議錄署名議員に選定した。
この會議に於て、特筆すべき事項は次の通である。

一被護人收容所費の否決

被護人收容所の經費は前年の通常府會に於て、調査委員會を通過したけれども本會議に於て否決となり、直ちに再議に付したところ、再議に於ても復否決となつたが、理事者は更にこの通常會に收容所經費壹萬貳千圓を提出した。これに對しては劈頭から質問續出したが、調査委員に附託となり、其の審査の結果を委員長大井玄洞から報告があつた。即ち「尙愼重攻究ヲ要スルニ付當分延期ノ意味ニ於テ原案ヲ否決スヘシ」との趣旨であつて、會議に於ては委員長報告の通原案を否決することに決した。

二參事會員の處決を促がす動議

大正元年度東京府歲入歲出決算書調査委員長村田權次郎の報告書中「歲出臨時部第五款教育費第七項農林學校建築費ハ明治四十四年通常府會ニ於テ原案金九千四百四拾七圓ヲ金四千四百四拾七圓ト修正シ理事者モ之ニ同意シテ豫算ヲ公布シタルモノナルニ拘ハラス年度開始早々即チ明治四十五年四月十九日急施事件トシテ金四千九百八拾貳圓ノ追加豫算ヲ府參事會ニ提案議決セシメタルハ府會ノ議決權ヲ尊重セサル處置ナリト認ム何トナレハ右追加豫算ノ內容ハ先ニ府會ニ於テ削減セラレタル事項ト同一ニシテ若シ必要已ムヘカラサルモノナラハ府會ノ修正議決ニ同意シテ豫算ヲ公布スヘキ筈ナク將又必要ナル事情カ其ノ後ニ至テ生シタリトスルモ事ノ性質ニ於テ臨時府會ニ附議スルノ暇ナキモノト認

ムルヲ得ス況ンヤ右府參事會ノ議ニ附スル數日前タル四月十二日ニ於テ他ノ事件ニ付臨時府會ヲ開カレタルニ於テオヤ此ノ如ク何レノ點ヨリ觀察スルモ府會ヲ無視シタル不當ノ處置タルヲ認ムルニ充分ナリトス」といふ一項があつたので議員岡田榮一が「決算委員長の報告に依れば、通常府會に於て修正議決の後僅々三ケ月餘に過ぎない四月十九日に、通常會の削減額五千圓より僅かに拾八圓を減じて四千九百八拾貳圓を急施議案として提出され、參事會は之を可決した。即ち先に府會に於て修正削除となつたものが玆に復活されたのである。これは委員長の報告にもある如く府會を無視したものと認めるから、府會議決權の重要性を保持する爲及將來に惡例を貽さぬ爲適當の措置を講ずる必要がある。而して、其の責任は主として之を議決したる名譽職參事會員に在りと信ずるから、爰に名譽職參事會員の處決を促がすの動議を提出する」旨を述べた。法律上高等官參事會員は急施事件の議決に加はることを得ぬのである。この動議には定規の賛成者があり、會議の問題となつたが、番外宗像知事は「本件は前任知事時代の出來事であるが、昨年通常府會に提出の農林學校建築費九千四百四拾七圓は該校實習林買入代金であつて、學校本來の性質上絶對に必要なものである。然るに會議に於て五千圓を削減せられたるも、他の物品等と異なり、一ケ所に纏まつた山林を四千四百四拾七圓丈分割して買收するは不可能である爲め、理事者も豫算の執行に當惑して居た。ところが、若し府に於て買收しなければ持主が之を他に賣却せんとする狀況に迫られたので、已むことを得ず急施事件として參事會の議決を求めた次第である」と釋明し、尙參事會員の一人である德岡梅吉は「急施事件なりや否やは主として發案權を有する知事の解釋に依るべきであつて、參事會員は其の點に關しては容喙する權能はない。而して、四十五年四月から開校するので實習林の必要は目睫の間に迫まつたものと言はなければならぬ。そこで、知事も辯明せられた如く、實習林を分割して豫算額丈買入れることは不可能であるから全部を買收する外なしと認め、知事提出の急施議案を可決したのは適當の議決であつて、我々名譽職參事會員は、毫も彈劾を被る理由はないと信ずる」と述べ、其の他賛否の意見があつたが、採決の結果、動議は少數の爲め否決となつた。

三　味の素製造工場建築工事が本府の土木工作物に及ぼす影響に就ての質問

村上熊八が「土木常置委員が視察したところに依れば、神奈川縣川崎町地內多摩川下流沿岸に於て、味の素製造工場の基礎工事を爲したる爲め、本年八月の出水時

に、對岸である東京府側の堤防が決潰する等相當の被害があつた。これは畢竟該工場の基礎工事の爲めに湛水を生じ且つ流域に變更を來たしたる結果と認めるが、該工場建設を出願した際、所管廳たる神奈川縣より東京府に對し、支障の有無を照會し、支障がないといふ回答を得て許可した趣に聞き及んで居る。本府は神奈川縣へ回答する以前に、利害關係ある沿岸町村に對し、支障の有無に關し意見を徵せられたるや」と質問したので、番外沖土木課長が「神奈川縣の照會に對しては、調査の結果差支がないと認めて其の旨を回答したのである。尚之は本府のみならず內務省に於ても技師を派遣して取調べた結果、治水上支障なしと認め且つ萬一の豫防として當業者に對し護岸の設置を命ずる等の處置を採つたものである。沿岸町村の意見は別に徵さなかつたが、これは其の前例もなく且つ其の必要を認めなかつた爲めである」と答辯した。又更に岡田榮一が「我々議員は、本年八月の出水時に東京府側の堤防が二ヶ所決潰したのは味の素製造工場基礎工事のため湛水を生じ流心が變更した結果に因るものと考へるが、當局の見解は如何」と質したので沖番外が「本年八月出水の際には、工場の基礎工事は未だ進捗せず、地形は從前のままであつたから、堤防の決潰には何等の關係はないと認める」と答へたが村田權次郎等は番外の辯明に滿足せず、味の素工場の築設工事が將來共東京府側に被害を及ぼすのは疑なきことであるから、理事者は充分留意せられたいと希望を述べた。而してこのことは遂に其の建設許可取消方を內務大臣に建議するに至つた。

議案 附建議案

府第一號議案　大正三年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合……修正

府第二號議案　大正三年度東京府歲入歲出豫算書……修正

府第三號議案　大正三年度東京府罹災救助基金歲入歲出豫算書……可決

府第四號議案　大正三年度東京府慈惠救濟資金歲入歲出豫算書……可決

府第五號議案　大正三年度東京府巢鴨病院基本金歲入豫算書……可決

府第六號議案　大正三年度東京府教育資金歲入歲出豫算書……可決

府第七號議案　大正三年度東京府小學校教員加俸資金歲入歲出豫算書……可決

府第八號議案　大正三年度東京府小學校教員恩給基金歲入豫算書……可決

府第九號議案　大正三年度東京府小學校教員恩給金歲入歲出豫算書……可決
府第十號議案　大正三年度東京府立學校基本金歲入歲出豫算書……可決
府第十一號議案　大正三年度東京府第一中學校戰役記念獎學金歲入歲出豫算書……可決
府第十二號議案　大正三年度東京府第一中學校武術獎勵資金歲入歲出豫算書……可決
府第十三號議案　大正三年度東京府第二中學校恩賜記念獎學資金歲入豫算書……可決
府第十四號議案　大正三年度東京府織染學校校舍落成記念獎學資金歲入歲出豫算書……可決
府第十五號議案　大正二年度東京府歲入歲出追加豫算書……可決
大正元年度東京府歲入歲出決算書……承認
東京大正博覽會青山分會場設置ニ關スル建議案……可決
多摩川沿岸建設物(味の素工場)撤去ニ關スル建議案……可決
救育費ヲ國庫支辨ニ移屬方ノ建議案……可決

議決摘要

府第一號議案　大正三年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合……修正

明治三十二年勅令第二百八十五號第五條ニ依リ大正三年度府費ニ關スル市部郡部分擔及收入ノ割合左ノ通定ムルモノトス

市部郡部分擔ノ割合

勸業費	市	三分二厘
	郡	六分八厘
勸業補助費	市	五分五厘
	郡	四分五厘

市部郡部收入ノ割合

財產收入	市 「五分八厘」(「五分七厘」ト修正)
	郡 「四分二厘」(「四分三厘」ト修正)

分擔割合參考表

科目	大正三年度市郡割合	割合標準
勸業費	市　三分二厘 郡　六分八厘	地方森林會費ハ市一厘郡九分九厘、蠶業取締費、蠶糸業奬勵費、地方種繭檢査會費ハ市二厘郡九分八厘、森林調査費ハ市五分一厘、郡四分九厘、畜産奬勵費ハ市八分四厘、郡一分六厘共通會品評會奬勵費、實業奬勵費、獸疫豫防費ハ市郡折半、實業視察費、樟樹造林費、護謨樹造林費ハ市六分七厘郡三分三厘
勸業補助費	市　五分五厘 郡　四分五厘	種牛購入費補助ハ牝牛數、物產共進會補助ハ出品見込點數、小笠原島航海費補助ハ人口

收入割合參考表

科目	大正三年度市郡割合	割合標準
財產收入	市　「五分八厘」（「五分七厘」ト修正） 郡　「四分二厘」（「四分三厘」ト修正）	歲出當該科目ノ割合ニ依ル

（註）財產收入は割合標準に變更なきも當該關係豫算修正に伴ひ收入割合を修正したるものである。

府第二號議案　大正三年度東京府歲入歲出豫算書……修正

歲入

經常部

第一款　財產收入　金六千參百拾圓五拾錢

（修正）金六千五百參拾五圓五拾錢

第一項　不動產收入　金四千六百參拾五圓五拾錢

（修正理由）府廳構內貸地三百七十三坪七合五勺ノ賃貸料一坪ニ付壹圓貳拾錢ノ處其內農工銀行ヘ貸付ノ二百五十坪ハ不相當ト認ムルニ付一坪參圓六拾錢ニ引上クルニ由ル（調査委員意見委員長酒井泰）

（修正）金五千貳百參拾五圓五拾錢

第二項　動產收入　金千六百七拾五圓

（修正）金千參百圓

（修正理由）被護人收容所費ヲ修正削除ノ結果該所工業資本戻入金參百七拾五圓ヲ控除スルニ由ル（調査委員意見委員長酒井泰）

第二款　國庫下渡金　金拾萬七千七百貳拾貳圓參拾七錢

（修正）金拾萬四千四拾四圓參拾七錢

第一項　警察費下渡金　金拾萬七千七百貳拾貳圓參拾七錢

（修正理由）警察費ノ修正ニ伴フニ由ル

（修正）金拾萬四千四拾四圓參拾七錢

第三款　雜　收　入　　金貳拾七萬參千八拾壹圓

（修正）金貳拾參萬九千貳百八拾四圓

第二項　藥價及入院料　　金五萬九千百參拾圓

（修正理由）精神病者入院料一人五拾五錢ヲ五拾錢ニ修正ノ爲メ巢鴨病院患者入院料ニ於テ減スルニ由ル（調査委員意見委員長酒井泰）

（修正）金五萬六千九百四拾圓

第三項　授業料及保育料　　金拾五萬參百八拾貳圓

（修正理由）師範學校附屬小學校、府立中學校、高等女學校、工藝學校ノ授業料ヲ大正三年度ヨリ增額ノ豫算ナルモ教育ノ發達ヲ阻碍スルノ虞アルニ付前年度ノ通据置クニ由ル（調査委員意見委員長酒井泰議員井田忠信動議）

（修正）金拾貳萬千貳百五圓

「第七項　作　業　益　金　　金貳千四百參拾圓」（修正削除）

（修正理由）被護人收容所費否決ノ結果ニ由ル

第四款　市郡分賦額　　金百八拾六萬九千五百壹圓參拾壹錢五厘

（修正）

市部收入　金百參拾九萬貳百貳拾八圓六拾七錢七厘

（修正）金百參拾八萬六千八百貳拾參圓四拾貳錢

內

郡部收入　金四拾七萬九千貳百七拾貳圓六拾參錢八厘

（修正）金四拾八萬四千九百拾四圓九錢五厘

第一項　市郡分賦額　　金百八拾六萬九千五百壹圓參拾壹錢五厘

（修正理由）歲出ノ修正及歲入中國庫下渡金並雜收入ノ修正減額ニ伴フニ由ル

（修正）金百八拾七萬千七百參拾七圓五拾壹錢五厘

經常部合計金貳百貳拾五萬六千六百參拾七圓五拾壹錢五厘

（修正）金貳百貳拾貳萬千六百拾五圓拾八錢五厘

臨時部　　金壹萬四千八百九拾參圓九拾九錢

第一款　國庫補助金　　金千貳拾四圓六拾九錢

第一項　傳染病豫防費補助金　　金六拾六圓六拾六錢

第二項　市町村傳染病豫防補助費補助金

第三項　蠶業取締費補助金　金貳千貳百圓
第四項　地方種繭審査會補助金　金六拾六圓
第五項　樟樹造林奬勵費補助金　金參百圓
第六項　教育費補助金　金五千參百圓
第七項　感化院費補助金　金貳千貳拾七圓拾四錢
第八項　感化院補助費補助金　金千貳百五拾圓
第九項　癩療養費補助金　金貳千六百五拾九圓五拾錢

第二款　財産賣拂代　金七萬九千五百圓

第一項　不動産賣拂代　金七萬九千五百圓

臨時部合計金九萬四千參百九拾參圓九拾九錢
歳入總計金貳百參拾五萬千九圓拾七錢五厘
(修正)金貳百參拾壹萬五千九百九拾五圓參拾七錢五厘

市部收入　金百七拾五萬四千六百拾五圓七拾九錢貳厘
(修正)金百七拾貳萬五千貳百四圓貳拾錢
內
郡部收入　金五拾九萬六千參百九拾參圓參拾八錢參厘
(修正)金五拾九萬七百九拾壹圓拾七錢五厘

歳出

經常部

第一款　警察費　金貳拾七萬千九百拾圓九拾參錢五厘
(修正)金貳拾五萬九千九百拾圓九拾參錢五厘

第一項　俸給及諸給　金拾五萬六百拾圓五拾錢

警部補三人月俸差額七圓此金貳百五拾貳圓、巡査部長十六人月俸貳拾貳圓此金四千貳百貳拾四圓、巡査九十一人月俸拾八圓此金壹萬九千六百五拾六圓、同二百人月俸拾壹圓此金貳萬六千四百圓、警察醫員二人年俸貳千四百圓此金四千八百圓、一人年俸千四百圓、四人年俸千貳百圓此金四千八百圓、十五人月俸五拾圓此金九千圓、四十八月俸四拾參圓此金貳萬六百四拾圓、技師二人年俸千貳百圓此金貳千四百圓、技手一人月俸五拾圓此金六百圓、三十二人月俸四拾圓此金壹萬五千參百六拾圓、五人月俸參拾五圓此金貳千百圓、書記三十六人月俸拾八圓此金七千七百七拾六圓、警部警部補巡査宿料金四千七百五拾貳圓、其他手當旅費、恵與、諸傭給、巡査給助

第二項　廳費　金四萬九千參百圓四拾參錢五厘
「第三項　被護人收容所費　金壹萬貳千圓（修正削除）
（修正理由）尙愼重攻究ヲ要スルニ付當分延期ノ意味ヲ以テ削除スルモノトス（調査委員意見委員長大井玄洞）
第四項　警察機密費　金六萬圓
第二款　警察廳舍修繕費　金八百圓
第一項　修繕費　金八百圓
第三款　土木費　金拾壹萬參千四百六拾壹圓五拾五錢六厘
第一項　道路橋梁費　金參萬九千貳百貳拾九圓七拾參錢六厘
第二項　治水堤防費　金七萬四千貳百參拾壹圓八拾貳錢
第四款　府會議諸費　金貳萬參千六百四拾八圓七拾五錢
第一項　府會議費　金壹萬六千九百五拾六圓七拾五錢
第二項　府參事會諸費　金六千六百九拾貳圓
第五款　衞生及病院費　金拾六萬六千八百六拾七圓拾七錢六厘
第一項　衞生諸費　金貳萬四百四拾九圓七拾貳錢
第二項　巢鴨病院費　金九萬壹千四百八拾六圓
第三項　娼妓病院費　金四萬六千百拾圓七拾五錢六厘
第四項　屠畜檢查費　金八千八百貳拾圓七拾錢
第六款　教育費　金五拾壹萬六千參拾九圓八拾五錢貳厘
第一項　青山師範學校費　金六萬七千參百五拾參圓九拾參錢
第二項　豐島師範學校費　金六萬貳千貳百參拾四圓五拾九錢五厘
第三項　女子師範學校費　金五萬五千參百九拾七圓九拾九錢
第四項　第一中學校費　金參萬參千貳百拾七圓貳拾五錢
第五項　第二中學校費　金貳萬千參百六拾五圓參拾八錢五厘
第六項　第三中學校費　金貳萬八千七百參拾貳圓五拾四錢五厘
第七項　第四中學校費　金貳萬七千五百五拾六圓四拾八錢五厘
第八項　第一高等女學校費　金貳萬貳千九百八拾六圓九拾壹錢
第九項　第二高等女學校費　金六千七百六拾六圓
第十項　第三高等女學校費　金貳萬參千貳百七拾參圓拾五錢
第十一項　第四高等女學校費　金壹萬五千百拾五圓五拾六錢七厘
第十二項　織染學校費　金貳萬千六百壹圓九拾貳錢

第十三項　工藝學校費　金參萬參千七百四拾四圓拾五錢
第十四項　園藝學校費　金貳萬六千六百五拾六圓貳拾七錢
第十五項　農林學校費　金壹萬九千八百五拾五圓貳拾四錢五厘
第十六項　學事諸費　金四萬貳千百六圓參拾四錢
第十七項　小學校教員檢定費　金貳千參拾六圓拾六錢
第十八項　講習費　金千五百參拾九圓九拾六錢
第十九項　退職給與　金千五百圓
第二十項　海外學事視察費　金參千圓

第七款　救育費　金參拾八萬五千九百七拾貳圓拾錢

第一項　救助費　金參拾六萬貳千九百五拾八圓參拾錢
（修正理由）精神病者入院料一日五拾五錢ヲ五拾錢ニ修正減額セルニ由ル（調査委員意見委員長佐々木東海）
（修正）金參拾八萬五千九百七拾貳圓拾錢

第八款　諸達書及掲示諸費　金參拾六萬貳千九百五拾八圓參拾錢

第一項　令達諸費　金參千六百八拾五圓五錢六厘

金參千六百八拾五圓五錢六厘

第九款　勸業費　金四萬五千八百七拾七圓參錢

第一項　勸業會費　金四千百八圓六拾八錢
第二項　勸業諸費　金參萬七千百五拾九圓九拾五錢
第三項　森林調査費　金貳千參百五拾九圓九拾錢
第四項　獸疫豫防費　金貳千貳百四拾八圓五拾錢

第十款　府費取扱費　金五千貳百拾五圓五拾錢

第一項　徵收費　金千百拾五圓五拾錢
第二項　金庫諸費　金四千百圓

第十一款　府廳舍修繕費　金千貳百圓

第一項　修繕費　金千貳百圓

第十二款　衆議院議員選舉費　金貳百五圓

第一項　選舉費　金貳百五圓

第十三款　府會議員選舉費　金參百參拾七圓八拾九錢

第一項　選舉費　金參百參拾七圓八拾九錢

第十四款　府吏員費　金九萬七千五百八拾五圓拾錢

第一項　吏員費　金九萬七千五百八拾五圓拾錢
第十五款　財産費　金五拾圓
第一項　管理費　金五拾圓
第十六款　土地收用費　金貳百貳拾四圓五拾錢
第一項　審査諸費　金貳百貳拾四圓五拾錢
第十七款　府社費　金六拾貳圓
第一項　府社費　金六拾貳圓
第十八款　府統計費　金千五百五拾五圓
第一項　府統計費　金千五百五拾五圓
第十九款　感化院費　金壹萬貳千百四拾貳圓四拾六錢
第一項　小笠原修齊學園費　金壹萬貳千百四拾貳圓四拾六錢
第二十款　地方奬勵費　金千圓
第一項　奬勵費　金千圓
第二十一款　市町村吏員懲戒審査會費　金參拾八圓
第一項　審査諸費　金參拾八圓
第二十二款　補償鑑定費　金參拾貳圓
第一項　鑑定人費　金參拾貳圓
第二十三款　豫備費　金壹萬圓
第一項　豫備費　金壹萬圓
經常部合計金百六拾五萬七千九百九圓九拾錢五厘
（修正）金百六拾貳萬貳千八百九拾六圓拾錢五厘

臨時部

第一款　土木費　金壹萬六千六百九拾壹圓九拾壹錢九厘
第一項　道路橋梁費　金七千拾壹圓拾壹錢九厘
第二項　治水堤防費　金九千六百八拾圓八拾錢
第二款　治水費分擔金　金參拾萬圓
第一項　河川改良費分擔金　金參拾萬圓
第三款　衞生及病院費　金貳千百拾五圓八拾六錢
第一項　娼妓病院費　金貳千百拾五圓八拾六錢
一部分改築及增築

第四款　市町村傳染病豫防補助費　金四百圓
第一項　市町村傳染病豫防補助費　金四百圓
第五款　教育費　金壹萬參千七百六拾八圓參拾七錢壹厘
第一項　師範學校費　金千貳百拾圓參拾五錢貳厘
建築費
第二項　中學校費　金壹萬千五百四圓拾壹錢
建築費
第三項　纖染學校費　金貳百九拾壹圓貳錢八厘
建築費
第四項　工藝學校費　金參百九拾四圓六拾錢
建築費
第五項　農林學校費　金參百六拾八圓貳拾八錢壹厘
建築費
第六款　教育補助費　金四萬四千拾圓七錢
第一項　教育補助費　金四萬四千拾圓七錢

東京府教育會補助千五百圓、日本體育會補助參百圓、實業學校補助四千圓、市町村立小學校教育費補助參萬千七百拾圓七錢、教育大會及學藝講演會補助六千五百圓　金百貳拾壹圓
第七款　町村警備補助費　金百貳拾壹圓
第一項　町村警備補助費　金五千六百圓
第八款　勸業補助費　金五千六百圓
第一項　勸業補助費
種牛購入費補助六百圓、物產共進會補助貳千圓、小笠原島航海費補助參千圓　金七拾四圓八拾錢
第九款　感化院費　金七拾四圓八拾錢
第一項　小笠原修齊學園費　金七千五百圓
第十款　感化院補助費　金七千五百圓
第一項　感化院補助費　金七千五百圓
第十一款　勸業費本年度支出額　金參拾萬貳千八百拾七圓貳拾五錢
第一項　勸業會費本年度支出額　金參拾萬貳千八百拾七圓貳拾五錢
臨時部合計金六拾九萬參千九拾九圓貳拾七錢

歳出總計金貳百參拾五萬千九圓拾七錢五厘
（修正）金貳百參拾壹萬五千九百九拾五圓參拾七錢五厘
市部負擔　金百七拾五萬四千六百拾五圓七拾九錢貳厘
（修正）金百七拾貳萬五千貳百四圓貳拾錢
內
郡部負擔　金五拾九萬六千參百九拾參圓參拾八錢參厘
（修正）金五拾九萬七百九拾壹圓拾七錢五厘

府第三號議案　大正三年度東京府罹災救助基金歳入歳出豫算書……可決
府第四號議案　大正三年度東京府慈惠救濟資金歳入歳出豫算書……可決
府第五號議案　大正三年度東京府巢鴨病院基本金歳入豫算書……可決
府第六號議案　大正三年度東京府教育資金歳入歳出豫算書……可決
府第七號議案　大正三年度東京府小學校教員加俸資金歳入歳出豫算書……可決
府第八號議案　大正三年度東京府小學校教員恩給基金歳入豫算書……可決
府第九號議案　大正三年度東京府小學校教員恩給金歳入歳出豫算書……可決
府第十號議案　大正三年度東京府立學校基本金歳入歳出豫算書……可決
府第十一號議案　大正三年度東京府第一中學校戰役記念奬學金歳入歳出豫算書……可決
府第十二號議案　大正三年度東京府第一中學校武術奬勵資金歳入歳出豫算書……可決

歳入　金五拾圓

第一款　第一中學校武術奬勵資金　金五拾圓

第一項　財産收入　金五拾圓

歳入合計金五拾圓

歳出

第一款　第一中學校武術奬勵資金　金五拾圓

第一項　武術奬勵費　金五拾圓

歳出合計金五拾圓

（註）本案は大正二年度中に初めて豫算を設定したるものなるが、府會に提出するは今回を初めとする。

府第十三號議案　大正三年度東京府第二中學校恩賜記念奬學資金歳入豫算書……可決

歳入　金四圓

第一款　第二中學校恩賜記念奬學資金

第一項　財産收入　金四圓

歳入合計金四圓

（註）本案は大正二年度中に初めて豫算を設定したものなるが、府會に提出するのは今回を初めとする。

府第十四號議案　大正三年度東京府織染學校校舍落成記念奬學資金歳入歳出豫算書……可決

府第十五號議案　大正二年度東京府歳入歳出追加豫算書……可決

歳入　金貳千八百貳拾九圓

經常部

第二款　國庫下渡金　金貳千八百貳拾九圓

第一項　警察費下渡金　金貳拾五萬參百貳拾七圓貳拾六錢六厘

第四款　市郡分賦額　金貳拾五萬參百貳拾七圓貳拾六錢六厘

第一項　市郡分賦額　金貳拾五萬參百貳拾七圓貳拾六錢六厘

經常部合計金貳拾五萬參千百五拾六圓貳拾六錢六厘

歳入總計金貳拾五萬參千百五拾六圓貳拾六錢六厘

歳出

經常部

第一款　警察費　　金七千七拾貳圓五拾錢

第一項　俸給及諸給　　金五千六拾圓

明年大正博覽會開設ノ爲巡査練習生二百三十人增員俸給(二ヶ月分)

第二項　廳費　　金貳千拾貳圓五拾錢

同上ニ付被服費

經常部合計金七千七拾貳圓五拾錢

臨時部

第二款　土木費　　金貳拾四萬六千八拾參圓七拾六錢六厘

第二項　治水堤防費　　金貳拾四萬六千八拾參圓七拾六錢六厘

本年八月出水ノ爲破損シタル河岸、堤防復舊工事費

臨時部合計金貳拾四萬六千八拾參圓七拾六錢六厘

歳出總計金貳拾五萬參千百五拾六圓貳拾六錢六厘

大正元年度東京府歳入歳出決算書……承認

東京大正博覽會青山分會場設置ニ關スル建議案……可決

(建議の大要)航空術の發達は國運の消長に影響することが甚大であるから、各國は競つて機器の改良、操縦術の研究に努力し、近時其の成績大に見るべきものがあるに拘はらず、獨り我邦は其の進歩が遲々として遠く歐米各國に及ばないのは斯術に對する國民の智識觀念が幼稚なる爲めと言はなければならぬ。就ては明春東京大正博覽會が開催せらるゝのを好機として、青山練兵場跡に分會場を設け、航究機を陳列して時々之を飛行せしめ、且又同所に兵器館を併置して陸海軍其の他の最新なる兵器を陳列して、洽く公衆に觀覽せしめ、航空術に對する國民の智識を增進して其の發達を促がし、一面軍事思想を涵養して兵器工藝の進歩を資くることゝなり、其の裨益するところ少からずと確信するから、理事者はこの議に同意して至急相當の設備を進められたいと知事に意見書を提出するので、建議案は多數を以て可決した(議員苗村又右衛門外五名發議)。

多摩川沿岸建設物、味の素工場撤去ニ關スル建議案……可決

（建議の大要）多摩川流域の神奈川縣川崎町大字八幡塚堤外地に、目下基礎工事着手中の、株式會社味の素製造所建設工事は其の位置が出水區域の中心點に在る爲め、高水の際に之れが流下を阻隔し、一層水勢を激せしめて對岸なる府下六鄕村に奔逸し、其の餘勢は羽田町に波及して多大の慘害を來たすのは免かれ難き所である。それは、本年八月中僅かに基礎工事に用ゆべき土石を堆積したのみで、對岸の被害を助長した事實に徵して明かである。故に、該所に於ける製造所の建設は公益上有害なるものとして、其の建設許可を取消すべく命令せられたいと內務大臣に建議するので、多數を以て可決した（議員豐田周作外二名發議）。

救育費ヲ國庫支辨ニ移屬方ノ建議案……可　決

（建議の大要）行旅病人及死亡人費並精神病者監護費を國庫支辨に移されたき旨從來本會の決議を以て屢々意見書を提出したるも、未だ目的を達するの機運に至らない。然るに、大正三年度該費豫算は約四拾四萬圓の巨額を計上するの已むを得ざるに至り、累加の勢殆んど底止する所なく、益々國庫支辨に移すの適當なるを認む。冀くは詮議の上本會の希望を採納せられたいと內務大臣に意見書を提出するので多數を以て可決した（議員大井玄洞外五名發議）。

通常市部會

本會は、大正二年十二月一日午後二時三十分に開議し、會議三日間に渉り、十二月十八日午後四時十分議事終了散會した。

酒井議長は、會議の同意を得て、鎌田芳太郎、照內芳次郎を會議錄署名議員に選定した。

議長は、會議に諮かり、參事會員補充員參名の補闕選擧を行ひ、指名推選を以て次の通決定した。

二、成島菊次良
三、加藤粂三郎
四、五木田治郎吉

（註）第一位は、現に第四位として殘存する照內芳次郎を以て當然之に充てたものである。

この會議に於ては、議事上格別の論議もなかつたが、たゞ、名譽職參事會員の德岡梅吉が同僚を代表して一場の陳述をしたのは、聊か特異の出來事であつた。即ち

「過日聯帶の會議に於て、我々名譽職參事會員を彈劾せられんとした農林學校實習林買入豫算議決の件であるが、要するに我々參事會員は、一に理事者を信じて該急施案を議決したるに外ならない。我々は平素府會若くは市部會の議決權を最も尊重し、同時に府會若くは市部會に代つて議決する參事會の議決權をも尊重するものである。しかし、過日の府會に於て、一旦本會議に於て否決したる豫算を復活するには今一層愼重の調査を必要とする旨希望せられた向もあつたが、我々は參事會の審議上常に相當の注意を拂つて居るけれども、該急施案の議決に關しては顧みて幾分不明の點なきにしもあらずと感ずる次第である。該事件は聯帶に屬するものであるが、我々參事會員は市部會より選出せられたものであるから、この機會に於て一言陳謝の意を表するものである」と述べた。之に對し、議場は釋然として氷解したるもの、如く、滿場拍手して之に應へた。殊に田中福太郎の如きは特に起立して「實は、本件に關しては尚追窮せんと欲したるも、只今の釋明を聽いて最早何等言辭を費やすの必要もなくなつた。たゞ將來一層の注意を希望するのみ」と述べ、この件は無事落着した。

議案　附諮問案・建議案

第一號議案部　大正三年度東京府市部營業稅雜種稅課目課額……可決
第二號議案部　大正三年度東京府市部歲入歲出豫算書……修正
第三號議案部　大正三年度東京府市部請願巡査並消防費徵收額……可決
第四號議案部　大正三年度東京府市部慈惠救濟資金歲入歲出豫算書……可決
第五號議案部　大正三年度東京府市部學資金歲入豫算書……可決
第六號議案部　大正三年度東京府市部府立學校基本金歲入歲出豫算書……可決
第七號議案部　大正三年度東京府市部積立金歲入歲出豫算書……可決
第八號議案部　大正二年度東京府市部歲入歲出追加豫算書……可決
第九號議案部　起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法……可決
第十號議案部　東京府市部府稅賦課規則中改正ノ件……可決
諮問第一號部　警察廳舍賃借ニ關スル件……答申議決
大正元年度東京府市部歲入歲出決算書……承認
庭園稅湯殿稅賦課ニ關スル建議案……可決

市部第一號議案　大正三年度東京府市部營業稅雜種稅課目課額……可　決

雜種稅

一市場

神田區神田川米穀市場

（原案說明）神田川米穀市場ノ稅額ヲ設定シタルハ大正二年十一月十五日營業ヲ開始セルニ由ル

年稅　金五拾圓

市部第二號議案　大正三年度東京府市部歲入歲出豫算書……修　正

歲入

經常部

第一款　地租割　金四拾貳萬四千四百貳拾六圓

第一項　地租　金四拾貳萬四千四百貳拾六圓（宅地租壹圓ニ付拾八錢、其ノ他ノ土地地租壹圓ニ付四拾四錢參厘）

第二款　營業稅　金七萬九千參百九拾五圓

第一項　商業稅　金五萬參千八拾圓

第二項　工業稅　金貳萬六千參百拾五圓

第三款　雜種稅　金四拾六萬六千八百拾五圓

第四款　營業稅附加稅　金六拾貳萬四千六百五拾圓

第一項　營業稅附加稅　金六拾貳萬四千六百五拾圓（本稅壹圓ニ付拾參錢）

第五款　賣藥營業稅附加稅　金五百四拾圓

第一項　賣藥營業稅附加稅　金五百四拾圓（本稅壹圓ニ付參錢）

第六款　所得稅附加稅　金貳拾貳萬四千八百八拾圓

第一項　所得稅附加稅　金貳拾貳萬四千八百八拾圓（本稅壹圓ニ付六錢）

第七款　家屋稅　金九拾八萬九千五拾四圓

第一項　家屋稅　金九拾八萬九千五拾四圓（一個ニ付六錢七厘）

第八款　財產收入　金千圓

第一項　動產收入　金千圓

第九款　國庫下渡金　金七拾四萬九千八百九拾六圓六拾參錢

第一項　警察費下渡金　金七拾四萬九千八百九拾六圓六拾參錢

第十款　雜收入　金拾參萬六千五百九圓五拾錢

第十二款　市郡連帶市部收入額　金參拾六萬四千參百八拾七圓拾壹錢五厘

第一項　市郡連帶市部收入額　(修正)金參拾參萬八千參百八拾圓七拾八錢

(修正理由)聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金四百六萬千五百五拾參圓貳拾四錢五厘　金參拾六萬四千參百八拾七圓拾壹錢五厘

(修正)金四百參萬五千五百四拾六圓九拾壹錢　(修正)金參拾參萬八千參百八拾圓七拾八錢

臨時部

第一款　繰越金　金千圓

第一項　前年度繰越金　金千圓

第二款　國庫補助金　金壹萬五千參百九拾六圓六拾六錢

第一項　市町村傳染病豫防補助費補助金　金八千九百拾六圓六拾六錢

第二項　教育費補助金　金貳千五百圓

職工學校費補助金

第三項　警察費補助金　金參千九百八拾圓

臨時部合計金壹萬六千參百九拾六圓六拾六錢

歲入總計金四百七萬七千九百四拾九圓九拾錢五厘

(修正)金四百五萬千九百四拾參圓五拾七錢

歲出

經常部

第一款　警察費　金百八拾八萬參千七百四拾貳圓五拾八錢九厘

第一項　俸給及諸給　金百四拾五萬貳千貳百五拾圓貳拾貳錢壹厘

警部補百二十八人月俸差額七圓此金壹萬七百五拾貳圓同六人月俸差額七圓

四ヶ月分此金百六拾八圓巡査部長二百三十八人月俸貳拾貳圓此金六萬貳千

八百參拾貳圓同十二人月俸貳拾貳圓四個月分此金千五拾六圓巡査三千七百

九十五人月俸拾八圓此金八拾壹萬九千七百貳拾圓同二百二十四人月俸拾八

圓四個月分此金壹萬六千百貳拾八圓消防手給六萬七千四百四拾圓(新設費目)

警察書記二百四人月俸拾八圓此金四萬四千六拾四圓消防書記十四人月俸拾

八圓六個月分此金千五百拾貳圓警察署長警部消防官警部補巡査宿料拾八萬

五千參百八拾六圓諸傭給(消防及水上警察關係)八萬千壹圓五拾九錢其他手當

旅費・恵與・巡査給助

第二項　廳　費　金四拾參萬千四百九拾貳圓參拾六錢八厘

第二款　警察廳舍修繕費　金壹萬參千七拾八圓九拾四錢

第一項　修　繕　費　金壹萬參千七拾八圓九拾四錢

第三款　教　育　費　金貳萬參千百五拾貳圓九拾貳錢五厘

第一項　職工學校費　金貳萬參千百五拾貳圓九拾貳錢五厘

第四款　府費取扱費　金貳萬五百七拾五圓五拾錢

第一項　徵　收　費　金貳萬五百七拾五圓五拾錢

第五款　財　産　費　金貳圓

第一項　管　理　費　金貳圓

第六款　府　社　費　金貳百拾七圓

第一項　府　社　費　金貳百拾七圓

第七款　豫　備　費　金五千圓

第一項　豫　備　費　金五千圓

第八款　市郡分賦市部負擔額　金百七拾五萬四千六百拾五圓七拾九錢貳厘

第一項　市郡分賦市部負擔額　金百七拾貳萬五千貳百四圓貳拾錢

（修正）金百七拾五萬四千六百拾五圓七拾九錢貳厘

（修正理由）聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金參百七拾萬參百八拾四圓七拾四錢

（修正）金百七拾貳萬五千貳百四圓貳拾錢

（修正）金參百六拾七萬九百七拾參圓拾五錢四厘

臨時部

第一款　警察廳舍建築費　金六萬七千參百四拾壹圓七錢

第一項　建　築　費　金六萬七千參百四拾壹圓七錢

警察署、消防出張所及分遣所建築費、電話架設費

第二款　市町村傳染病豫防補助費　金五萬參千五百圓

第一項　市町村傳染病豫防補助費　金五萬參千五百圓

第三款　教　育　費　金八千參百五拾六圓貳拾五錢

第一項　職工學校費　金八千參百五拾六圓貳拾五錢

敷地擴張ニ伴フ民有家屋移轉料

第四款　府債費　金拾五萬千八百九拾九圓
第一項　元金償還　金拾四萬四千圓
第二項　利子　金七千八百九拾九圓
第五款　運用金戻入　金九萬千四百貳拾七圓四拾錢
第一項　運用金戻入　金九萬圓
第二項　運用金利子　金千四百貳拾七圓四拾錢
臨時部合計金參拾七萬貳千五百貳拾參圓七拾貳錢
歳出總計金四百七萬貳千九百八圓四拾六錢
（修正）金四百四萬參千四百九拾六圓八拾七錢四厘

市第三號議案部　大正三年度東京府市部請願巡査並消防費徴收額……可決
一金貳拾九圓五拾錢　巡査一人一個月分
一金貳拾圓　消防手一人一個月分

市第四號議案部　大正三年度東京府市部慈惠救濟資金歳入歳出
豫算書……可決

市第五號議案部　大正三年度東京府市部學資金歳入豫算書……可決
市第六號議案部　大正三年度東京府市部府立學校基本金歳入歳出豫算書……可決
市第七號議案部　大正三年度東京府市部積立金歳入歳出豫算書……可決
市第八號議案部　大正二年度東京府市部歳入歳出追加豫算書……可決

歳入

經常部

第七款　家屋税　金貳萬參千七百拾五圓四拾六錢七厘
第一項　家屋税　金貳萬參千七百拾五圓四拾六錢七厘
自然增收ヲ見込
第九款　國庫下渡金　金壹萬貳千五百四圓參拾錢
第一項　警察費下渡金　金壹萬貳千五百四圓參拾錢
第十一款　市郡連帶市部收入額　金貳千四百四圓六拾五錢

第一項　市郡連帶市部收入額　金貳千四百四圓六拾五錢
經常部合計金參萬八千六百貳拾四圓四拾壹錢七厘
臨時部
第五款　府債　金拾貳萬五千圓
第一項　府債　金拾貳萬五千圓
臨時部合計金拾貳萬五千圓
歲入總計金拾六萬參千六百貳拾四圓四拾壹錢七厘
歲出
經常部
第一款　警察費　金貳萬百貳拾貳圓拾五錢六厘
第一項　俸給及諸給　金參千五百九拾參圓五拾參錢貳厘
東京大正博覽會開設ニ伴ヒ警察取締並消防警戒ニ要スル警部補・巡査・機關手・調馬手俸給其他
第二項　廳費　金壹萬六千五百貳拾八圓六拾貳錢四厘
同上備品費・消耗品費・被服費・馬匹費其他

第八款　市郡分賦市部負擔額　金拾參萬千五百拾四圓參拾四錢六厘
第一項　市郡分賦市部負擔額　金拾參萬千五百拾四圓參拾四錢六厘
經常部合計金拾五萬千六百參拾六圓五拾錢貳厘
臨時部
第一款　警察廳舍建築費　金壹萬千百參拾八圓六拾錢
第一項　建築費　金壹萬千百參拾八圓六拾錢
東京大正博覽會開設ノ爲警察出張所・巡査休憩所及喞筒置場ノ新設並電話架設ノ諸費
第四款　府債費　金八百四拾九圓參拾壹錢五厘
第二項　利子　金八百四拾九圓參拾壹錢五厘
臨時部合計金壹萬千九百八拾七圓九拾壹錢五厘
歲出總計金拾六萬參千六百貳拾四圓四拾壹錢七厘

市部第九號議案　起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法……可決

第一條　大正二年八月非常災害復舊土木費ノ負擔ニ充ツル爲市部經濟ニ於テ金

拾貳萬五千圓ヲ須要ニ應シ借入ルルモノトス

第二條　借入金ノ利息ハ一個年八分以内トシ九月末日及三月末日ニ於テ前六個月分ヲ仕拂フモノトス但借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ充タサル端數利子アルトキハ借入ノ際ニハ仕拂ノ當日迄日割ヲ以テ計算ス

第三條　借入金ハ大正三年度ニ於テ償還スルモノトス但府經濟ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲スコトアルヘシ

第四條　前條ノ償還ハ一般財源ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

（原案說明）本年非常災害土木費ノ負擔多大ナルヲ以テ起債ノ必要アルニ由ル

市部第十號議案　東京府市部府稅賦課規則中改正ノ件……可　決

東京府市部府稅賦課規則中左ノ通改正シ大正三年度所屬ヨリ之ヲ施行スルモノトス

第十一條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十一條ノ二　自動車ノ課稅標準タル馬力ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ算定ス

一「オットー」式瓦斯倫機關ヲ具フル自動車ニ在リテハ汽筒ノ直徑(吋)ノ自乘ニ汽筒數ヲ乘シ之ヲ三除シタルモノヲ以テ其ノ馬力トス

一「クラーク」式瓦斯倫機關ヲ具フル自動車ニ在リテハ汽筒ノ直徑(吋)ノ自乘ニ汽筒數ヲ乘シ之ヲ二除シタルモノヲ以テ其ノ馬力トス

一蒸汽機關ヲ具フル自動車ニ在リテハ高壓汽筒ノ直徑(吋)ノ自乘ニ汽筒數ヲ乘シ之ヲ二除シタルモノヲ以テ其ノ馬力トス

一電氣機關ヲ具フル自動車ニ在リテハ蓄電池ノ數ヲ十除シタルモノヲ以テ其ノ馬力トス

第十三條　第一項第十五號ヲ「一官公立學校ノ學生團體若ハ私立學校又ハ其ノ學生團體ノ所有ニシテ體育用ニ供スル船」ニ改メ第十八號ノ次ニ「自動車取締規則ニ依リ使用ノ許可又ハ認可ヲ受ケス且現ニ使用セサル自動車」ヲ加フ

第十七條中「五月三十一日迄」ト「六月三十日迄」ト改ム

（原案說明）自動車稅ノ課稅標準タル馬力ハ目下官廳ノ公認馬力ニ依ルコトトセルモ特ニ課稅上一定ノ算定方法ヲ設ケ課稅ノ基因ヲ明ニスルヲ可ナリト認メ又官公立學校學生團體ノ所有ニ係ル體育用ノ船使用認可ヲ得サル自動車ヲ課稅外トスルヲ至當ナリト認メ尙天災等ニ依リ

家屋稅ノ賦課ヲ爲ササル場合ノ期間ヲ延長シテ稅金徵收ノ期間ト一致セシムルヲ相當ナリト認メ本案改正ヲ爲サントス

市諮問第一號　警察廳舍賃借ニ關スル件……答申議決

制度改正ニ依リ市內警察署ノ廢合ヲ行ヒタルモ現在警察廳舍ノ大半ハ便宜民家ヲ使用セルモノニシテ其ノ構造官署ニ適セス執務上頗ル不便ナルヲ以テ之カ建築ノ完成ハ最緊急ヲ要スルモ經濟ノ關係上一時ニ完成ヲナシ得サルニ付左記方法ニ依リ借入漸次之ヲ買上ケントス

右其會ノ意見ヲ問フ

（左記）

個人、會社又ハ團體ニシテ警察廳舍ノ建築賃貸ヲ出願スル者アルトキハ其ノ資產、經歷、性格信用ノ程度等ヲ審査シ適當ト認メタル場合ハ之ヲ許可スルモノトス但出願人ハ左記條件ヲ承諾スヘキハ勿論之カ履行ニ付テハ警視廳ト出願人トハ共ニ其ノ責ニ任スヘキモノトス

條件

一廳舍建設ノ位置ハ警視廳ニ於テ指定又ハ認諾ノ場所ナルヲ要ス

一建築ハ總テ警視廳ニ於テ示セル設計書及仕樣書通リトス

一工事中ハ時々技術員ヲ派遣シ監督檢查セシム若シ不適合ノ個所アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ

一工事落成ノ上ハ更ニ檢查ヲ爲シ合格シタルトキハ直ニ之ヲ賃借スルモノトス

一賃借料ハ土地ノ狀況及其ノ附近賃貸價格並建築費等ヲ參酌シ且出願人ノ意見ヲ聞キ適當ノ金額ヲ決定シ每月末ニ之ヲ仕拂フモノトス

一賃借期間ハ三個年トス但警視廳ノ都合ニ依リ伸縮スルコトアルヘシ

一賃借人カ自己ノ都合ニ依リ該廳舍ノ所有權ヲ他ニ移轉シタル場合ハ其ノ權利繼承者ニ於テ前所有者ト同一ノ權利義務ヲ有スルモノトス

一廳舍ニ屬スル公課ハ總テ所有權者ノ支辨トス

一使用上自然ニ生スル破損ハ警視廳ニ於テ之ヲ負擔スルモノトス

一天災地變其ノ他避クヘカラサル事由ニ依リテ廳舍ノ滅失毀損ヲ來シタルトキ

キハ其ノ損失ハ所有權者ノ負擔トス

一貸借廳舍ハ豫算ノ決議ヲ經テ漸次之ヲ買上ク其ノ價格ハ公正ナル評價委員ヲ選ヒ評議決定スルモノトス

（答申）諮問ノ趣旨ニ同意ス

大正元年度東京府市部歳入歳出決算書……承認

庭園稅湯殿稅賦課ニ關スル建議案……可決

（建議の大要）比年府費の急劇なる膨脹に伴つて、各種の課稅は殆んど其の極に達し、最早增課の餘地なきに至つた。此際に於て新稅目を發見して財源を補足するのは、最も急務とするところである。庭園稅並湯殿稅を新設することに就ては、先年來建議したところであるが、未だ發案に接しない。理事者は速に精細なる調査を遂げて、大正三年の通常市部會に提案せられたいと知事に意見書を提出するの趣旨で、多數を以て可決した議員小谷福平發議）。

通常郡部會

本會は、大正二年十二月一日午後三時三十六分に開議し、會議三日間に渉り、十二月十六日午後二時十分議事終了散會した。

相澤議長は、會議の同意を得、篠五郎作、川口彌三郎を會議錄署名議員に選定した。

この會議に於ける稍注意すべき二三の事項を次に揭げる。

一電柱稅、瓦斯管稅及動力稅に關する質問

議員伊藤祐治が「電柱稅並瓦斯管稅の件は、懸案の委となつて居たが、本年の議案として提出になつて居らぬ。亦、水力以外の動力即ち電氣瓦斯等の動力に因て精米機械を運轉する其の動力に課稅する件も懸案の一となつて居るが、同じく提案を見ない。以上に對し提案せられない理由を說明せられたい」と質問したので、番外高橋屬が「電柱稅並瓦斯管稅に關しては、主務省が成るべく報償契約に據らしめたい方針であるため、これに從ふものとして其の郡町村に對する關係等を研究するので、本年は提案する運びに至らない。亦、動力稅は工業保護の必要上、成るべく課稅を避くる樣政府から通牒があつたゝめ提案しないのである」と答辯した。

二貸座敷營業者の陳情

府下內藤新宿町外六箇所の貸座敷營業者から、近年經濟界の不況と賦金額の過

大なるため、貸座敷營業が不振に陷り、洵に悲慘の實狀に在る。然るに、彼の密娼婦の如きは取締りが甚だ緩漫であるばかりでなく、衞生上等の事に就ては公費を以て間接に保護せらるゝの事實がある。斯樣に一は公許を得たる營業にしてしかも重課を負擔して悲境に泣き、一は法規の間隙を潛つて密業し、しかも何等の負擔なく却て或種の保護を受くるの實狀なるは、彼此比較して公正を缺くものと言はざるを得ない。希くは實狀を明察せられて相當に減稅(賦金減額)せられたいと郡部會議長に宛て陳情書を提出したので、相澤議長は之を議場に報告した。

議案

第一號議案部	大正三年度東京府郡部營業稅雜種稅課目課額……修正	第七號議案部	大正三年度東京府郡部積立金歲入歲出豫算書……可決
第二號議案部	大正三年度東京府郡部歲入歲出豫算書……修正	第八號議案部	大正二年度東京府郡部歲入歲出追加豫算書……可決
第三號議案部	大正三年度東京府郡部請願巡査費徵收額……可決	第九號議案部	起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法……可決
第四號議案部	大正三年度東京府郡部慈惠救濟資金歲入歲出豫算書……可決	第十號議案部	東京府郡部府稅賦課規則中改正ノ件……可決
第五號議案部	大正三年度東京府郡部衞生資金歲入豫算書……可決	第十一號議案部	自明治四十年度至大正四年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法更正ノ件……可決
第六號議案部	大正三年度東京府郡部學資金歲入豫算書……可決	第十二號議案部	自明治四十四年度至大正三年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法更正ノ件……可決
		第十三號議案部	自大正三年度至大正六年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法……可決
			大正元年度東京府郡部歲入歲出決算書……承認

議決摘要

第一號議案部　大正三年度東京府郡部營業稅雜種稅課目課額……修正

（修正理由）營業狀態ニ徵シ增率スルヲ適當ト認ムルニ由ル（調査委員意見委員長谷岡慶治）

收入金高百分ノ「六」「八」ト修正

郡部第二號議案　大正三年度東京府郡部歳入歳出豫算書……修正

歳入

金參拾六萬八千七百四拾圓

經常部

第一款　地租割　金參拾六萬八千七百四拾圓

（修正）金參拾六萬八千七百四拾圓

（宅地租壹圓ニ付貳拾壹錢、其他ノ土地地租壹圓ニ付五拾壹錢七厘）

第一項　地租割　金參拾七萬九千四百八圓

（修正）金參拾七萬九千四百八圓

（宅地租壹圓ニ付貳拾壹錢六厘、其他ノ土地地租壹圓ニ付五拾參錢貳厘）

（修正理由）歳出ノ修正減額ニ伴ヒ歳入ニ於テ減額ヲ要スルモ廣ク負擔ヲ輕減スル趣旨ノ下ニ家屋稅戶數割ニ於テ減額シ本稅ニ於テ增スルニ由ル（調査委員意見委員長井田忠信）

金四萬六千四百九拾貳圓

第二款　營業稅　金參萬四千七百七圓

第一項　商業稅　金壹萬千七百八拾五圓

第二項　工業稅　金貳拾參萬六千九百八拾四圓

第三款　雜種稅　（修正）金貳拾參萬九千參拾七圓

第二十九項　火葬場稅　金六千百五拾五圓

（修正）金八千貳百八圓

（修正理由）課目課額ニ於テ稅率修正ノ結果ニ伴フニ由ル（調査委員意見委員長谷岡慶治）

第四款　營業稅附加稅　金八萬八千八百圓

第一項　營業稅附加稅　金八萬八千八百圓

（本稅壹圓ニ付拾六錢）

第五款　賣藥營業稅附加稅　金五拾七圓

第一項　賣藥營業稅附加稅　金五拾七圓

（本稅壹圓ニ付參錢）

第六款　所得稅附加稅　金五萬八千四百八拾圓

第一項　所得稅附加稅　金五萬八千四百八拾圓

（本稅壹圓ニ付八錢）

第七款　家屋稅　金四拾四萬四千百九拾貳圓

第一項　家屋稅　金四拾四萬四千百九拾貳圓

（修正）金四拾四萬貳百貳拾六圓

（一個ニ付拾壹錢貳厘）

（修正）金四拾四萬貳百貳拾六圓

（一個ニ付拾壹錢壹厘）

第八款　戶數割　金貳拾參萬六千七百六拾參圓

（修正）金貳拾參萬四千六百參拾圓

第一項　戶數割　金貳拾參萬六千七百六拾參圓

（一戶ニ付參圓參拾參錢）

第九款　財産收入　　金四拾六圓

第一項　不動産收入　　金參拾八圓拾貳錢

第二項　動産收入　　金千四百四拾四圓

第三項　特別經濟繰入　　金拾五萬七千九百六拾貳圓六拾六錢

第十款　國庫下渡金　　金拾五萬七千九百六拾貳圓六拾六錢

第一項　警察費下渡金　　金九萬千貳拾四圓

第十一款　雜收入　　金拾壹萬七千百貳拾圓七拾四錢五厘

第十二款　市郡連帶郡部收入額　　金拾壹萬七千百貳拾圓七拾四錢五厘

第一項　市郡連帶郡部收入額　　金拾壹萬七千百貳拾圓七拾四錢五厘

（修正理由）聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金百八拾四萬八千百四拾參圓五拾貳錢五厘

（修正）金百八拾四萬參千五百貳拾壹圓八拾六錢

（修正）金貳拾參萬四千六百參拾圓

（一戸ニ付參圓參拾錢）

金千五百貳拾八圓拾貳錢

（修正）金拾萬五千八百七拾七圓八錢

（修正）金拾萬五千八百七拾七圓八錢

臨時部

第一款　繰越金　　金千圓

第一項　前年度繰越金　　金千圓

第二款　國庫補助金　　金八千參拾參圓六拾六錢

第一項　市町村傳染病豫防補助費補助金　　金千百六拾六圓六拾六錢

第二項　農事試驗場補助金　　金千四百貳拾圓

第三項　病蟲害驅除豫防費補助金　　金貳百貳拾參圓

第四項　耕地整理補助費補助金　　金九拾圓

第五項　耕地改良費補助金　　金四千貳百參拾四圓

第六項　公有林野造林補助費補助金　　金九百圓

臨時部合計金九千參拾參圓六拾六錢

歳入總計金百八拾五萬七千百七拾七圓拾八錢五厘

（修正）金百八拾五萬七千百七拾七圓五拾貳錢

歳出

經常部

第一款　警　察　費　金參拾九萬貳千九百八拾五圓五拾六錢九厘

第一項　俸給及諸給　金參拾貳萬四千四百九拾七圓九拾參錢

警部補二十九人月俸差額七圓此金貳千四百參拾六圓、巡査千四百參拾六圓、巡査部長六十七人月俸貳拾貳圓此金壹萬七千六百八拾八圓、巡査九百十人月俸拾八圓此金拾九萬六千五百六拾圓、書記八十五人月俸拾八圓此金壹萬八千參百六拾圓、警部・警部補巡査宿料參萬貳拾四圓、其他手當・旅費・惠與諸俸給・巡査給助

第二項　廳　費　金六萬八千四百八拾七圓六拾參錢九厘

第二款　警察廳舍修繕費　金參千貳百七拾八圓九錢

第一項　修　繕　費　金參千貳百七拾八圓九錢

第三款　土　木　費　金貳拾參萬七千九百拾參圓八拾六錢貳厘

第一項　道路橋梁費　金貳拾貳萬七千九百六圓五拾五錢九厘

第二項　治水堤防費　金壹萬七圓參拾錢參厘

第四款　郡　役　所　費　金五萬參千八百九拾貳圓參拾錢

第一項　俸給及諸給　金四萬五千九百五拾六圓九拾錢

書記百人月俸貳拾參圓此金貳萬七千六百圓、視學八人月俸四拾五圓此金四千參百貳拾圓、雇員十八人月俸拾貳圓此金貳千五百九拾貳圓、其他旅費・惠與諸俸給・給與

第二項　廳　費　金七千九百參拾五圓四拾錢

第五款　郡廳舍修繕費　金千參百五拾參圓八拾四錢參厘

第一項　修　繕　費　金千參百五拾參圓八拾四錢參厘

第六款　救　育　費　金五千六百六拾九圓六拾六錢四厘

第一項　救　助　費　金五千六百六拾九圓六拾六錢四厘

第七款　諸達書及掲示諸費　金參拾七圓五拾壹錢

第一項　令　達　諸　費　金參拾七圓五拾壹錢

第八款　勸　業　費　金參萬七千參百四拾五圓九拾貳錢

（修正）金參萬六千五百貳拾參圓九拾貳錢

第一項　農事試驗場費　金貳萬六千七百九拾六圓七錢

（修正）金貳萬五千九百七拾四圓七錢

（修正理由）農事試驗場技師定員中一名ヲ減シ改正定員三名ノ俸給平均額ヲ高ムルニ由ル

（調査委員意見委員長谷岡慶治）

第二項　勸業諸費　金千貳百拾八圓六拾錢
第三項　耕地改良費　金八千四百六拾八圓
第四項　公有林野造林奬勵費　金八百六拾參圓貳拾五錢
第九款　府費取扱費　金參萬貳千參百圓
第一項　徵收費　金參萬貳千貳百貳拾圓
第二項　滯納處分費　金八拾圓
第十款　財產費　金五圓
第一項　管理費　金五圓
第十一款　府社費　金百貳拾四圓
第一項　府社費　金百貳拾四圓
第十三款　市郡分賦郡部負擔額　金五拾九萬六千參百九拾參圓參拾八錢參厘
（修正）金五拾九萬七百九拾壹圓拾七錢五厘
第一項　市郡分賦郡部負擔額　金五拾九萬六千參百九拾參圓參拾八錢參厘
（修正）金五拾九萬七百九拾壹圓拾七錢五厘
（修正理由）聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金百參拾六萬六千貳百九拾九圓拾四錢壹厘
（修正）金百參拾五萬九千八百七拾四圓九拾參錢參厘

臨時部

第一款　警察廳舍建築費　金壹萬七千七百七拾六圓壹錢
第一項　建築費　金壹萬七千七百七拾六圓壹錢
各警察署及派出所間電話架設費
第二款　土木費　金參萬七千九百五拾貳圓四拾六錢八厘
（修正）金參萬七千四百五拾貳圓四拾六錢八厘
第一項　道路橋梁費　金參萬七千九百五拾貳圓四拾六錢八厘
（修正）金參萬七千四百五拾貳圓四拾六錢八厘
（修正理由）境停車場道男坂橋架換費ニ於テ五百圓ヲ削減スルニ由ル（調査委員意見委員長谷岡慶治）
第三款　郡市町村土木補助費　金四萬參千七百七拾貳圓拾四錢六厘
第一項　道路橋梁費補助　金壹萬九千貳百參圓貳錢六厘
第二項　治水堤防費補助　金五百七拾九圓拾貳錢
第三項　坑樋費補助　金貳萬參千九百九拾圓

第四款　衞生及病院費補助費　金貳千百四拾五圓
第一項　病院補助費　金貳千百四拾五圓
荏原外二郡々立傳染病院補助費　金七千圓
第五款　市町村傳染病豫防補助費　金七千圓
第一項　市町村傳染病豫防補助費
第六款　勸業補助費　金七千八百圓
第一項　勸業補助費　金七千八百圓
東京府農會補助五千圓、實業練習生補助百圓、耕地整理費補助九百圓、公有林野
造林奬勵費補助千八百圓　金參拾貳萬六千參百七拾貳圓
第七款　府債費　金貳拾八萬四千圓
第一項　元金償還　金四萬貳千參百七拾貳圓
第二項　利子　金四萬七千九百九拾貳圓
第八款　土木費本年度支出額　金四萬七千九百九拾貳圓
第一項　道路橋梁費本年度支出額
臨時部合計金四拾九萬八百九圓六拾貳錢四厘

（修正）金四拾九萬參百九圓六拾貳錢四厘
歲出總計金百八拾五萬七千百八圓七拾六錢五厘
（修正）金百八拾五萬百八拾四圓五拾五錢七厘

郡部第三號議案　大正三年度東京府郡部請願巡査費徵收額……可決
巡査一人一個月分
一金貳拾八圓五拾錢

郡部第四號議案　大正三年度東京府郡部慈惠救濟資金歲入歲出
豫算書……可決
郡部第五號議案　大正三年度東京府郡部衞生資金歲入豫算書……可決
郡部第六號議案　大正三年度東京府郡部學資金歲入豫算書……可決
郡部第七號議案　大正三年度東京府郡部積立金歲入歲出豫算書……可決
郡部第八號議案　大正二年度東京府郡部歲入歲出追加豫算書……可決

歳入

經常部

第十三款　市郡連帶郡部收入額　金四百貳拾四圓參拾五錢

第一項　市郡連帶郡部收入額　金四百貳拾四圓參拾五錢

經常部合計金四百貳拾四圓參拾五錢

臨時部

第一款　繰越金　金四萬五百九拾八圓五拾八錢參厘

第一項　前年度繰越金　金四萬五百九拾八圓五拾八錢參厘

第五款　府債　金貳拾貳萬圓

第一項　府債　金貳拾貳萬圓

臨時部合計金貳拾六萬五百九拾八圓五拾八錢參厘

歳入總計金貳拾六萬千貳拾貳圓九拾參錢參厘

歳出

經常部

第三款　土木費　金八千圓

第一項　道路橋梁費　金八千圓

第九款　府費取扱費　金壹萬圓

第一項　徴收費　金壹萬圓

府稅徴收額增加ニ伴フ町村交付金

第十三款　市郡分賦郡部負擔額　金拾貳萬千六百四拾壹圓九拾貳錢

第一項　市郡分賦郡部負擔額　金拾貳萬千六百四拾壹圓九拾貳錢

經常部合計金拾貳萬千六百四拾壹圓九拾貳錢

臨時部

第二款　土木費　金拾貳萬六千五百七拾參圓九拾四錢九厘

第一項　道路橋梁費　金七萬五千八百壹圓九拾錢七厘

本年八月洪水ノ爲破損ノ道路橋梁復舊工事費

第二項　治水堤防費　金五萬七百七拾貳圓四錢貳厘

同上河岸海岸堤防復舊工事費

第三款　郡市町村土木補助費　金壹萬千貳百拾八圓拾八錢七厘

第一項　道路橋梁費補助　金六千百拾八圓四拾錢

本年八月洪水ノ爲破壞シタル町村復舊土木費補助
第二項　治水堤防費補助　金千六百九拾八圓六拾錢
同上
第三項　坑樋費補助　金參千四百壹圓拾八錢七厘
第八款　府債　費　金千四百九拾四圓七拾九錢五厘
第二項　利子　金千四百九拾四圓七拾九錢五厘
臨時部合計金參萬九千貳百八拾六圓九拾參錢壹厘
歳出總計金貳拾七萬八千九百貳拾八圓八拾五錢壹厘

郡部第九號議案　起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法……可　決

第一條　大正二年八月非常災害復舊土木費ノ負擔ニ充ツル爲郡部經濟ニ於テ金貳拾貳萬圓ヲ須要ニ應シ借入ルヽモノトス
第二條　（省略）
第三條　借入金ハ大正三年度ニ於テ償還スルモノトス但府經濟ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲スコトアルヘシ

第四條　前條ノ償還ハ一般財源ヲ以テ之ニ充ツルモノトス
（原案說明）本年非常災害復舊土木費ノ負擔多大ナルヲ以テ起債ノ必要アルニ由ル

郡部第十號議案　東京府郡部府稅賦課規則中改正ノ件……可　決

東京府郡部府稅賦課規則中左ノ通改メ大正三年度所屬ヨリ之ヲ施行スルモノトス

第一條第一項中但書ヲ削ル
第十一條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第十一條ノ二　自動車稅ノ課稅標準タル馬力ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ算定ス
一「オツトー」式瓦斯倫機關ヲ具フル自動車ニ在リテハ汽筒ノ直徑(吋)ノ自乘ニ汽筒數ヲ乘シ之ヲ三除シタルモノヲ以テ其ノ馬力トス
一「クラーク」式瓦斯倫機關ヲ具フル自動車ニ在リテハ汽筒ノ直徑(吋)ノ自乘ニ汽筒數ヲ乘シ之ヲ二除シタルモノヲ以テ其ノ馬力トス
一蒸汽機關ヲ具フル自動車ニ在リテハ高壓汽筒ノ直徑(吋)ノ自乘ニ汽筒數ヲ乘シ之ヲ二除シタルモノヲ以テ其ノ馬力トス

一電氣機關ヲ具フル自動車ニ在リテハ蓄電池ノ數ヲ十除シタルモノヲ以テ其ノ馬力トス

第十五條第一項第十五號ヲ「一官公立學校ノ學生團體ノ所有ニシテ體育用ニ供スル船」ニ改メ第十八號ノ次ニ「一自動車取締規則ニ依リ使用ノ許可又ハ認可ヲ受ケス且現ニ使用セサル自動車」ヲ加フ

第二十三條第一項但書中「各號ノ一ノミ」トアルヲ「各號ノミ」ト改ム

（原案說明）自動車稅ノ課稅標準タル馬力ハ目下官廳ノ公認馬力ニ依ルコトヽセルモ特ニ課稅上一定ノ算定方法ヲ公表シ課稅ノ基因ヲ明カニスルヲ可ナリト認メ又官公立學校學生團體ノ所有ニ係ル體育用ノ船及使用認可ヲ得サル自動車ヲ課稅外トスルヲ至當ナリト認メ其他地租割賦課額算定方法ヲ改メテ事務取扱上ノ便ヲ圖ラントスルト第二十三條中條文ノ不備ヲ改メントスルトニ依リ本案ノ改正ヲ爲サントス

第十一號議案　郡部　自明治四十年度至大正四年度　東京府郡部土木費繼續年期及支出方法更正ノ件……可決

既定　自明治四十年度至大正四年度　東京府郡部土木費繼續年期及支出方法

更正　自明治四十年度至大正六年度　東京府郡部土木費繼續年期及支出方法

一金八萬貳千七百圓

內譯

既定額金壹萬參千參百圓

金五百圓

內

既定額金壹萬參千參百圓

金五百圓

既定額金壹萬參千參百拾五圓

金五百圓

內

既定額金壹萬參千參百拾五圓

金五百圓

既定額金〇

金壹萬貳千八百圓

內

道路橋梁費

大正三年度支出額

道路改修費

大正四年度支出額

道路改修費

大正五年度支出額

既定額金〇
金壹萬貳千八百圓

既定額金〇
金壹萬貳千八百拾五圓

內

既定額金〇
金壹萬貳千八百拾五圓

南多摩郡圖師道ハ敷地ノ交涉及路線調查等ノ關係上既定年度ニ於テ豫定ノ工事施行ノ見込ナキヲ以テ年度割ヲ更正スルモノトス

郡部　自明治四十四年度
第十二號議案　至大正三年度　東京府郡部土木費繼續年期及支出方法更正ノ件……可決

既定　自明治四十四年度
至大正三年度　東京府郡部土木費繼續年期及支出方法

更正　自明治四十四年度
至大正四年度　東京府郡部土木費繼續年期及支出方法

一金五萬七千七百參拾五圓

道路橋梁費

道路改修費

大正六年度支出額

道路改修費

內譯

既定額金壹萬五千圓
金千圓

內

既定額金壹萬五千圓
金千圓

既定額金〇
金壹萬四千圓

內

既定額金〇
金壹萬四千圓

西多摩郡ヨリ南多摩郡ニ通スル五日市八王子間往還ハ敷地ノ交涉及路線調查等ノ關係上既定年度ニ於テ豫定ノ工事施行ノ見込ナキヲ以テ年度割ヲ更正スルモノトス

郡部　自大正三年度
第十三號議案　至大正六年度　東京府郡部土木費繼續年期及支出方法……可　決

大正三年度支出額

道路改修費

大正四年度支出額

道路改修費

一金拾萬五千五百六拾四圓

內譯

金貳萬六千八百圓　道路橋梁費

內

大正三年度支出額

金貳萬六千八百圓　道路改修費

內

大正四年度支出額

金參萬百貳拾貳圓　道路改修費

內

大正五年度支出額

金參萬百貳拾貳圓　道路改修費

內

大正六年度支出額

金貳萬八千六百參拾圓　道路改修費

內

金貳萬拾貳圓　道路改修費

內

金貳萬拾貳圓　道路改修費

青梅街道ハ東京ヨリ山梨縣ニ通スル假定縣道ニシテ殊ニ青梅以西ハ該地方唯一ノ幹道タリ然ルニ峻坂屈曲甚タ多ク交通至難ナルヲ以テ之カ改修ヲ爲サントス

川越街道ハ同シク假定縣道ナルモ埼玉縣界ニ於テ昇降共ニ急坂アリテ交通困難ヲ極ム爲ニ埼玉縣ニ屬スル部分ハ既ニ改修ノ計畫アリ依テ本府ニ於テモ之ヲ改修シ相待ツテ交通ノ便ニ資セントス、五日市拜島道ハ拜島停車場ヨリ五日市ニ通スル要路ナルモ幅員狹隘且峻坂多キヲ以テ之カ改修ヲ爲サントス、又瀧坂道ハ東京市ニ接近シ交通頻繁ナルニ拘ハラス急坂多ク曩ニ之カ改修ニ著手シ其ノ一部ハ既ニ竣成ヲ見ルニ至レリ依テ其殘部ヲ改修シ以テ目的ヲ完成セントス而シテ以上ハ何レモ必須ノ工事ニ屬スルモ工費多額ヲ要スルヲ以テ之ヲ繼續費トシテ其完成ヲ期セントス

大正元年度東京府郡部歲入歲出決算書……承認

府會議員協議會

大正二年十二月二十六日府會議員協議會を開き、各種常置委員選定の件を協議し其の選定を杉原府會議長に一任したので、同議長は次の通選定した。しかし府會議長、市部會議長、郡部會議長は從來の通當然各種委員に參加することに決した。

○警務常置委員

大塚榮吉
小谷福平
苗村又右衛門
伊藤祐治
鶴岡英文
猪股要助
岡田榮一

（註）委員長には府會議長の杉原榮三郎が當選した。

○稅源調査常置委員

委員長廣橋嘉七郎
田中友右衛門
鎌田芳太郎
川口彌三郎
渡邊長次郎

○土木常置委員

矢野鉉吉
五木田治郎吉
沼田辰五郎
齋藤孝治
吉田廉助
湯澤伊藤治
村林彦之
照内芳次郎
松見文平
委員長谷岡慶治
松村清吾
塚原寅次郎
世良太一
富澤政賢
成島菊次良
田中福太郎

齋藤政吉

○衛生常置委員

加藤純吾
伊藤仁太郎
木崎平六
外山兼次郎

○教育常置委員

高木信吉
村上熊八
篠五郎作
飯塚仁兵衛

○勸業常置委員

石井芳太郎
瀬尾新吉
加藤粂三郎
佐々木東海

○救育費建議實行委員

委員長木庭榮
村田權次郎

委員長大井玄洞
詫摩武彦
井上平左衛門
稻垣市兵衛
村田權次郎
委員長井田忠信
永田義原
朝蔭玉次郎
齋藤政吉

小倉久　兵衛　石井芳太郎
井田忠　信　沼田辰五郎
鎌田芳太郎　豐田周作
湯澤伊藤治

第十七節　大正三年の府會

府會議員協議會

一、大正三年四月九日午前九時より、東京大正博覽會事務局内に於て府會議員協議會を開き議長杉原榮三郎座長となりて　皇太后陛下御不例に付屢々御機嫌を奉伺したる旨を報告し、左の各項を協議決定した。

皇太后陛下御重體ニ被爲渉ニ付、昨日博覽會常務委員會ニ於テ臨機ノ措置ヲ講シタルモ、尚引續キ博覽會場内ニ於ケル歌舞、音曲、夜間イルミネーション等ヲ御遠慮申上ルコト

萬一御大變御發表ノ場合ニ於ケル措置ニ關シテハ　總裁宮殿下ノ御旨ヲ伺ヒ理事者ト協議ノ上取計フヘキコト

演藝場ハ當分休止シ、場内飲食店ハ市中一般ノ例ニ依ラシムルコト

御不例ニ付今後ノ措置ハ杉原議長ニ一任スルコト

協議の終了するに際し、本日午後十一時三十五分に　皇太后陛下御重體の儘沼津御用邸より還啓の旨御發表になつたので、府會議員一同は新橋停車場に於て奉迎することに決定した。

一、同年五月十四日午後一時から、府會議員協議會を開き、杉原議長が推されて座長となり、久保田知事が内務部長以下屬僚と共に之に出席した。

開會の劈頭に久保田知事は　太行皇太后の御大喪儀に付、代々木葬場殿關係の諸道路改修並御途筋裝飾方は東京市に一任し、其の費用は折半して東京府並東京市に於て負擔することに内議が調つた趣を述べ、又他の理事者からこの費用は約參萬五千圓内外で内東京商業會議所より壹萬圓寄附の申出あり殘額貳萬五千圓内外を府、市折半して負擔の見込なることを說明し協議の結果左の通滿場一致決議した。

府ノ負擔スヘキ費用ニ關シテハ、臣民ノ分トシテ毫モ異存ナキヲ以テ之ヲ承認シ、正式ノ手續トシテハ府參事會ノ議決ニ一任スルコト

一、同年五月二十八日午後一時より、府會議員協議會を開き、杉原議長を座長として、次の各項を決議した。この協議會にも久保田知事は列席した。

昭憲皇太后御大喪御下賜金ハ、前例ニ依リ、市部郡部島嶼ニ分配シ、特別會計ヲ設ケ、慈惠救濟資金トシテ處理スルコト

前項ノ事件ハ、府參事會ノ議決ニ一任スルコト

代々木葬場殿並附屬建物一切ヲ東京府ニ下賜ノ御内沙汰アリシニ付、愈々下賜ノ上ハ愼重ナル處理方法ヲ講スル爲、次ノ通委員ヲ選定スルコト

杉原榮三郎　酒井泰

相澤喜兵衞
齋藤孝治
秋本喜七
鈴木宗兵衞
井田忠信
内田彦雄
苗村又右衞門
瀨沼伊兵衞
大竹仁三郎

葬場殿其他附屬建物取拂前清祓式等ニ要スル費用ハ、府參事會ノ議決ニ一任ズルコトヽシ而して久保田知事が次の事項を報告した。

御大喪儀ニ付府市商業會議所其他有志共同ニテ、御道筋裝飾奉獻ノ儀願出ニ對シ畏クモ御嘉納アラセラレタル趣宮內大臣ヨリ通牒アリタリ

大隈首相ヨリ、御大喪儀事務ニ精勵セルニ對シ慰勞ノ書狀ヲ寄セラレタリ

各府會議員ノ御大喪儀委員トシテノ勤勞ヲ感謝ス

次に杉原議長から左の報告があつた。

御大喪儀ノ際警衞宜シキヲ得タルニ付伊澤警視總監ニ感謝狀ヲ贈呈セリ

又詫摩議員からは左の希望事項の陳述があつた。

被護人收容所建物ノ處分案ヲ今秋ノ通常府會ニ提出セラレンコトヲ望ム

通常府會

本會は大正三年十一月十八日午後二時に開會し、會議六日間に渉り、十二月十四日午後四時十三分議事終了閉會した。

開會の當初、知事久保田政周は、次の開會辭を述べた。

「本日ヲ以チマシテ通常府會、市部會及郡部會ヲ開會イタシマス、茲ニ開會ノ初ニ當リマシテ謹デ御報告ヲ申上ゲタイ事ガゴザイマス、本年四月ニ畏多クモ我博愛仁慈ナル　昭憲皇太后陛下ガ御登遐遊バサレマシテ國民一般恐懼哀悼ノ極ニ達シタノデアリマス、其際御大喪儀ニ御用キニナリマシタル葬場殿並ニ其附屬建物全部ヲ特別ノ思召ヲ以チマシテ東京府へ御下賜ニ相成ツタノデアリマス、是ハ實ニ我々ノ　昭憲皇太后陛下ノ御懿德ヲ永久ニ記念スベキ此上モナキ有難キ記念物ト存ジマスノデアリマス、是ニ付キマシテハ愼重ニ調査ヲ遂ゲマシテ、其際設ケラレテ居リマシタル所ノ御大喪儀委員ニモ諮問ヲ致シ、又、參事會ノ決議ヲ經マシテ、是等ノ建物ヲ公共團體及慈善事業ノ經營者ニ交付スルト云フコトニ致シマシタノデアリマス、ソレデ此方針ニ依リマシテ御懿德ヲ永ク記念イタシマスヤウニ夫々へ分配致シマシタヤウナ次第デアリマス、何卒其意ヲ諒セラレ宜シク御了承アラムコトヲ望ミマス、偖本會ニ提出致シマシタル豫算案ニ付キマシテハ既ニ大正博覽會モ諸君ノ御盡力ニ依リマシテ無事ニ相濟ミマシタ、從ツテ來年度ノ豫算ニ於キマシテハ博覽會ノ費用ヲ要シナクナリマシタノデアリマシテ、丁度參拾萬圓バカリノ費用ヲ節スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、此方針ニ依リマシテ豫算ヲ編成イタシマシタ所ガ、不幸ニシテ本年八月ノ頃數回ノ水害ノアリマシタ爲メ遂ニ財政上輕減ノ餘地ヲ失ヒマシタコトハ甚タ殘念ニ存ズル所デアリマス、併ナガラ目下ノ時局ニ鑑ミ、歐洲戰亂ハ延ヒテ東洋ニモ及ボシ經濟上ニ

モ多大ナル影響ノアルコト、存ジマスカラシテ力メテ經費ノ節約ヲ計リマシテ負擔ノ輕減ヲ目的ト致シマシテ計上致シマシタ、殆ド約六萬圓歳出ニ於テ輕減ヲ計ルコトガ出來ルノデアリマス、而シテ本豫算ニ計上致シマシタルモノハ多クハ法令ノ結果ニ依リ又ハ自然ノ增加ニ依リマシタモノ、外主モニ今回計上致シマシタモノハ

女子師範學校改築費
生徒增員ニ伴フ第三・第四中學校第一・第三高等女學校々舍增築費
六鄕橋及千住大橋設計調査費
桑港博覽會東京出品同盟會補助費
市部郡部ニ於ケル巡査ノ增員
職工學校增築費
青梅街道改修費

等デアリマス、是等ハ皆誠ニ已ムヲ得ザルモノト存ジマシテ計上イタシタ次第デアリマス次ニ申上ゲテ置キタイノハ本年度ノ追加豫算デアリマス、即チ水害ノ復舊費デアリマス、此金高ガ多額ニ上リマシタ爲ニ國庫ノ補助ヲ唯今申請致シテ居リマス、目下內務省ヨリ出張イタサレテ居ルヤウナ次第デアリマス、コ、數日ノ間ニ右ノ査定モ終リマスコト、存ジマス、此調査ガ濟ミマシタナラバ自然豫算ニモ狂ヒヲ來タシマシテ本年度ノ豫算ニモ影響ヲ及ボサウト思ヒマス、ソレカラ今回ノ水害復舊費ハ府ノ基金ヲ運用致シマスコト、又足ラザル所ハ起債ニ待ツ外ナイノデアリマシテ從ツテ來年度ニ於テ此運用基金ノ戻入並ニ起債ノ償還ヲ見積ツテ居リマス、其金額ハ、內務省ヘ補助ヲ申請致シマシタ時ノ災害費、即チ復舊費ハ九拾七八萬圓ノ金ヲ基本ト致シテ計上イタシテアリマス之ガ査定ノ結果變更ヲ來シマスレバ自然來年度ノ豫算ニ於テモ或ハ更正若クハ改案ヲ致シテ提出ヲ致ス考ヘデアリマス、斯ノ如キ次第デアリマスカラ何卒本案ヲ議セラレマスニ際シマシテ右ノ御含ミヲ以テ御審議アラムコトヲ希望致シマス、豫算案並ニ其他附帶ノ議案ニ付キマシテハ隨時本官若クハ參與員ヨリ御說明申上ゲル筈デアリマス（大正三年府會速記錄）

杉原議長は、次の事項を報告した。

寅官發第一〇〇號

大正三年通常府會市部會郡部會議事參與員別紙之通ニ有之候此段及通知候也

大正三年十一月十二日

東京府知事　久保田政周

東京府會議長　杉原榮三郎殿

（別紙）

東京府內務部長　石橋和
東京府理事官　舟橋雅一
東京府理事官　竹內順吉
東京府理事官　久保義三郎
東京府理事官　高橋德太郎
東京府技師　沖一誠

東京府技師　王　供　阿久東京府屬原　林之助

府縣制第四十九條ニ依リ大正三年通常府會市部會郡部會會議事參與員別紙之通相命シ候條此段及通知候也

大正三年十一月十六日

東京府會議長　杉原榮三郎殿

（別紙）

警視總監　伊澤多喜男

警視廳官房主事　石原磊三　警視廳警務部長　川崎卓吉

警視廳保安部長　長谷川久一　警視廳衞生部長　栗本庸勝

警視廳消防部長　室田景辰　警視廳消防司令　額賀仙太郎

警視廳屬　楠多美雄　警視廳屬　岡田由之助

警視廳屬　淺田福一郎　警視廳警部　柳田清一

警視廳屬　平田宗紀　警視廳技師　松本錄壽

文第二三〇號

大正三年通常府會市部會郡部會會議事參與員別紙之通相命シ候條此段及通知候也

大正三年十一月十二日

東京府

寅庶發第六九二號

府會議員左記ノ通異動候條此段及通知候也

大正三年十一月十四日

東京府會議長　杉原榮三郎殿

東京府知事　久保田政周

死亡　篠五郎作

補闕當選　花井源兵衞

（註）從來警視廳員は知事より議事參與を囑託する形式であつたが、大正三年三月法律第三十五號を以て府縣制第百三十九條ノ二を追加し警視總監も亦參與員を任命し得ることゝなつたのである。

議長は、補闕當選議員花井源兵衞を議場に紹介し、次に、閉會中議長に於て取計らつた事項を次の通報告した。

一櫻島噴火被害ニ付本年一月十七日谷口鹿兒島縣知事並有馬鹿兒島商業會議所會頭ニ慰問狀ヲ呈シタリ

一一月二十二日附ヲ以テ右有馬會頭ヨリ答禮狀ヲ寄セラル

一皇太后陛下御不例ノ趣拜聞ニ付三月二十八日青山御所ニ參上御機嫌ヲ奉伺シタリ

同時ニ沼津御用邸香川皇太后宮太夫ニ宛電報ヲ以テ御機嫌ヲ奉伺シタリ

一皇太后陛下御重體ニ被爲渉趣拜聞ニ付四月九日青山御所ニ參上御機嫌ヲ奉伺シタリ

一皇太后陛下崩御ノ旨公示ヲ拜シ四月十一日倉惶參內天機伺書ヲ捧呈シタリ

一昭憲皇太后御喪儀ノ際警備行屆キタルニ付五月二十七日伊澤警視總監ニ對シ感謝狀ヲ贈レリ

一墺洪國皇太子並同妃兩殿下御遭難薨去ニ付六月三十日同國大使館ニ出頭弔詞ヲ述ヘタリ

一閑院宮殿下第三王女季子女王殿下薨去ニ付七月十七日參邸御弔詞申上ケタリ

一青島陷落ニ付十一月七日參內天機ヲ奉伺シタリ

一青島要塞陷落ニ付十一月七日青島攻圍軍司令官神尾陸軍中將第一艦隊司令長官加藤友三郎海軍中將第二艦隊司令長官加藤(定吉)海軍中將ニ對シ各祝電ヲ呈シタリ

一十一月十日加藤第一艦隊司令長官ヨリ答禮電報ヲ寄セラル

一十一月十四日加藤第二艦隊司令長官ヨリ答禮電報ヲ寄セラル

一十一月二十八日神尾攻圍軍司令官ヨリ答禮狀ヲ寄セラル

議長は、會議の同意を得て、加藤純吾鶴岡英文を會議錄署名議員に選定した。

この會議に於ける特筆事項は次の通である。

一被護人收容所經費に關する質問

前年及前々年兩度の通常府會に於て、被護人收容所經費豫算が否決となつたがこの會議の劈頭に、議員村上熊八から之に關聯せる質問があつた。即ち、本年は、被護人收容所經費豫算が提出になつて居ないが、其の提出せられない理由を承知致したい。從來の我々府會側の意見を參酌して、該收容所の設置を斷念せられたものであるか、或は、收容所を開く方針には變更なきも、其の費用を國庫支辨に仰ぐ爲め手續き進行の都合上本年は提案せられないのであるか、或は、其の他の理由に因るものであるか、詳細なる答辯を望む」といふのであつた。之に對し番外石原警視廳官房主事は「既に府會の決議を經て收容所の建築も落成して居るのであるから、收容を實行するの必要あるは勿論であるが、府會に於ても從來種々論議もありしこと故彼此參酌して、目下收容の方法に關して調査研究中である。即ち、任意若く

は強制收容の點、收容には法律を必要とするの有無其の他これに關聯する諸點に付て愼重に調査研究するため本年は豫算を提出しなかつた」と答辯した。

二　騷擾事件に關する質問

昨年二月衆議院の門前に於ける騷擾事件に關し、村上熊八・詫摩武彦等から質問した。其の要領は、騷擾の際警察官が拔劍せし事實の有無、拔劍したりとせば上官の命令に出たるか或は適法の理由に因るか、被害者の創傷を檢案した醫師中には刀傷と診斷せし者少からずと聞く、警視廳當局は如何に之を認むるか、刀傷なりや否の鑑定を帝國大學に依頼せる由なるが其の理由如何等の數項であつた。番外川崎警務部長は之に對して、警察醫に診斷せしめた結果に依れば刀傷とは認められぬ、當時の實見者の語る所を綜合すれば、警察官は鞘の儘帶劍を打振つたが、時恰かも月夜なりし爲め月光に反映して拔劍の如く見えたのであるといふことである。又帝國大學に鑑定を依頼したのは裁判所からであると答へた。

三　白髭橋架設に關する質問

田中福太郎が、白髭橋架設許可に關して質問した。それは今春隅田川の上流に白髭橋が架設されたが、元來水流は、杭一本を打ち込んでも水勢上に非常の影響を及ぼすものであるに拘らず、該橋は舊式の尺丸太の橋杭百數十本を打立てゝ居る。これは、一朝出水の際に非常に被害を助長する虞がある。我々は其の當時附近住民として、關係町村と寄々協議を凝らしたが、何分にも咄嗟の間に許可せられ架設を見たのであつた。然るに果せるかな其の後の出水時に、千住及橋場・今戸・山谷・吉野町方面は激流の爲水害を被むり、其の反對に向島方面は堤防の破壞を免がれた。此の如く直ちに利害の影響を及ぼす重大事項を、關係町村にも諮問せずに匆卒許可されたのは如何なる理由であるか。又、參事會は、知事の諮問に對し如何なる意志を以て贊成せられたかと質問した。番外沖土木課長は、水利上水勢上の關係は充分調査したのみならず、內務大臣にも上申し、差支がないと認めたから許可したもので、其の後兩度の水害はあつたが、該橋架設の影響に因るものとは認められぬと答辯した。然るに村田權次郎が、番外は何等の影響がなかつたと言ふも、橋下一町程の箇所に橫切れを生じ、土砂が堆積したゝめ目下盛に之を採り除けて居る。斯樣に土砂が一方に堆積すれば、其の反對の箇所は河床の深さを增すのは當然のことで、今後漸次水流に變化を來たし益々水害を助長せんことを恐れる。また水害のことを別として、架橋の爲船舶通航の妨げとなることが頗る多大である、と反

駁的に質問した。沖番外は之に答へて、架橋以後多少の水害は有つたが、敢て白髭橋架設の影響に基くものとは認め難い。また、船舶通航の妨害となる旨を指摘されたけれども、一の營造物を築造すれば、多少の不便を生ずるは免がれ難いところであるが、しかし一方に於て陸上交通の便益を得るところが多大であるから、彼此相殺して餘ありと信ずる旨を述べた。最後に岡田榮一は、既往の出來事は已むを得ずとするも、將來橋梁架設の出願があつた場合には、愼重に調査せらるゝは勿論、尙、府會に諮問の上許否を決せられたいと希望を述べ、本件の質問は打切となつた。

四 土木費追加豫算に關する論議

府第二十一號議案水害復舊土木費(七拾壹萬餘圓)の追加豫算に關し、村上熊八と理事者との間に、總括的の質問應答が交はされた。この質問は、一部の議員間に於ける意見の表はれとも見るべく、之に對する理事者の答辯は、少くとも疑點の幾分を氷解し得たものと考へる。其の質問の要領は「この機會に於て、今度の追加豫算のみに拘泥せず、水害に基く復舊土木費に關する根本的事項を質問したい。抑も連年水害に基く復舊土木費は非常の巨額に上り、我々議員は、之が對策に多年苦心して居るのである。而して、一部同僚間の意見に依れば、水害の爲破壞した堤防の復舊に多額の費用を投ずるのは愚策である。何となれば、其の堤防修繕費額の一二年分を以て、浸水區域即ち堤防に依て保護する範圍の土地田畑を買收することが出來るから、之を買收して、爾後は浸水の儘拋棄して荒地と爲るに任かせ、堤防は修繕しないのが利益である。故に將來は此意味に於て水害に對する根本方針を樹てるのが良策であるといふ議論である。就ては、今後の追加豫算に計上の堤防復舊費に對し、其の堤防に依て保護せらるゝ土地田畑の面積を成るべく詳細に說明せられたい」と質問した。番外沖土木課長は「堤防に依て保護せらるゝ土地の面積と言つても、水害の程度に應じて浸水面積に廣狹の差違があるから、目下直ちにこれを取調べるとしても、浸水面積を確定することが容易でないから、調査は頗る困難であると考へる。殊に、本來堤防築設の目的は單に田畑等の耕作地を保護するだけでなく、家屋其他一切の造營物をも保護し、尙其の上に居住の安全を保障して人心を安んずる等、無形の事柄をも包含するものと考へるから、浸水區域を財產的に評價することは殆んど不可能に幾く、要求に應じて調查答辯するのは極めて困難である」と答へた。

五 小學校教員住宅料補助廢止の議事

從來府費から補助してゐた小學校教員住宅料を三年度限り廢止することゝし大正四年度豫算に計上しなかつたので教育費調査委員が審査の結果、酒井委員長から「該補助ハ教員ヲシテ安シテ教育ニ全力ヲ傾注セシムルニ於テ極メテ有力ナル保障ニシテ一朝之ヲ廢止センカ小學教育上頗フル憂慮スヘキ結果ヲ來スモノト認ムルニ付理事者ハ相當ノ手續ヲ以テ大正三年度同樣該補助費ヲ支出スヘクシテ之ニ關シ必要ナル決議ハ府參事會ニ一任ス」との附帶決議の報告があつた。杉原榮三郎は特に議長席を降て議員席に着き、委員長の報告に贊成を表したのみならず、更に、熱心に補足陳述するところがあつた。其の要旨は、教員住宅料補助は、去る明治四十一年始めて提案になつたもので、當時我府會は、教員優遇の途の開けたことに滿足し、何等の異議もなく可決し、爾來繼續し來つたものである。然るに、大正四年度から突如として之を廢止したならば、其の結果は教員の私生活を脅かし、延ひて教育上に惡影響を及ぼすではないかと憂慮に堪へない。元來この住宅料補助額は一人宛貳圓乃至參圓であつて、俸給額の一割乃至一割五分に相當する。教員等は事實上之を既定の收入と看做して居るから、一朝之を廢止されれば俸給を減ぜられたと同一の結果となり、教員が不安を感じ、自然家賃の低廉な僻遠の方面に住居を轉ずることゝなるから、延いて生徒の家庭と學校及教員との連絡が疎遠となり、教育上に憂ふべき結果を招來することゝ考へる。理事者が住宅料補助を廢止せんとするのは、畢竟財政上の關係に鑑みられた爲と信ずるから、其の府民の負擔を顧慮せらるゝ誠意は之を諒とするも、府民が如何に貧弱なりと雖も斯る必要經費をも削除して民力の休養を欲するものではない。又仄聞する所に依れば、多年實行し來つた教員の年功加俸も、或は明年頃から廢止されんかとのことであるが、是亦如上と同樣の理由に於て、教育上甚だ悲むべき事と考へる。一體理事者は、一定の資金のみから此等の費用を支出せんとするから、限ある資金は竟に缺乏を告げるのである。斯かる緊要なる費目は、基金が缺乏を告げたなら普通經濟から支出するも毫も差支ないものである。今後は縱令理事者に交迭があつても、輕々しく既定の方針を變更することなきやう、確定し置かれんことを切望する」と熱誠を籠めて陳述したので、議場に贊成の聲が續出した。

次で久保田知事は、「住宅料補助を削除したのは、教育資金の缺乏と府民の負擔を考慮せる結果已むことを得ずして採つた措置であるが、教員の優遇を圖ることは、教育上有形無形に極めて其の效果を及ぼすことを確信する。幸に委員長の報告

並杉原議員の意見もあり、滿場亦同感の狀勢と認めるから、篤と參事會と協議して、會議の希望に副ふべく努むる考であると聲明した。採決の結果は委員長の報告通可決となつた。

六救育費の國庫支辨を望む建議に關する報告

救育費(行旅病人、死亡人費並精神病者費)の國庫支辨を希望することは府會多年の熱望であつて、明治四十年以來毎年其の筋に建議し來つた所である。しかし、單に建議したのみでは效果が捗々しからぬといふので、前年來府會議員協議會で救育費建議實行委員を設けて促進に努めて居たが齋藤孝治の發議で、該委員が促進に盡した顚末を議場に報告することゝなり、委員長木庭榮から詳細なる報告があつた。其の要領は、「委員は、本年に入て數回內務省に出頭し、縷々陳情するところあつたが大正四年度の本府救育費豫算額は四拾餘萬圓の巨額に上ぼり、全國救育費總額の八割餘を占むるに至つた。又、この費用が府縣の負擔に屬することゝなつた明治三十二年から今日に至る迄の費額增加率は、十五ヶ年間に八十倍に累進して居る。この本府の負擔が偏重も甚しいことは、本府外十一縣聯合の癲瘋養所(全生病院費分擔割合に倣ひ直接國稅額と人口とに割當算出すれば、本年度豫算の四拾萬圓に對して本府は約七、八萬圓を負擔すれば可いので、殘餘の參拾餘萬圓は削除すべき計算となるのである。而して、陳情の際其の筋では、東京府は首府として直接間接に利益を享受することが他府縣よりも多いから、多少の苦痛は已むを得ぬものと諦らめて忍ぶべきであると言はれたけれども、少し位の苦痛は忍ぶも本件の如き極めて不條理にして且つ負擔額が餘りにも偏重を極める所以を陳べて懇々何分の詮議を希望した次第であつた。大體に於て本年は其の筋の意向も大に緩和に傾き、多少の曙光を認むることが出來た。今後も引續いて目的の達成に盡したならば、或は遠からぬ將來に於て效果を奏することが出來るであらうと考へてゐる」といふにあつた。この報告に對しては滿場其の勞を謝し、尙今後一層の努力を希望した。

十二月十四日、議事が全く終了したので、杉原議長が、議員の任期は未だ滿了せざるも、任期中の通常會はこれを以て終りであり自分が議長として今日迄大過なきを得たるは、偏に議員各位の同情援護の賜であつて、深く感謝する所である。亦、理事者との關係が和衷協同至極圓滿に終始したのは、畢竟理事者が民意を容るゝに吝ならざりし結果と考へるので、深く理事者各位に敬意を表する次第であると挨

拶を述べた。

久保田知事は、議員連日の勞を謝して、閉會する旨を告げた。

議案　附建議案

府第一號議案　大正四年度府費ニ關スル市部郡部分擔及收入ノ割合……可決

府第二號議案　大正四年度東京府歳入歳出豫算書……修正

府第三號議案　大正四年度東京府罹災救助基金歳入歳出豫算書……可決

府第四號議案　大正四年度東京府慈惠救濟資金歳入歳出豫算書……可決

府第五號議案　大正四年度東京府巢鴨病院基本金歳入豫算書……可決

府第六號議案　大正四年度東京府教育資金歳入歳出豫算書……可決

府第七號議案　大正四年度東京府小學校教員加俸資金歳入出豫算書……可決

府第八號議案　大正四年度東京府小學校教員恩給基金歳入豫算書……可決

府第九號議案　大正四年度東京府小學校教員恩給金歳入歳出豫算書……可決

府第十號議案　大正四年度東京府立學校基本金歳入歳出豫算書……可決

府第十一號議案　大正四年度東京府第一中學校戰役記念奬學金歳入歳出豫算書……可決

府第十二號議案　大正四年度東京府第一中學校武術奬勵資金歳入歳出豫算書……可決

府第十三號議案　大正四年度東京府第二中學校恩賜記念奬學資金歳入豫算書……可決

府第十四號議案　大正四年度東京府織染學校校舍落成記念奬學資金歳入歳出豫算書……可決

府第十五號議案　大正四年度東京府第四中學校伏見宮博義王殿下奬學資金歳入歳出豫算書……可決

府第十六號議案　自大正四年度至大正六年度東京府教育費繼續年期及支出方法……修正

府第十七號議案　不動產賣却ノ件……修正
府第十八號議案　各選擧區ニ於テ選擧スヘキ府會議員數改正ノ件……可決
府第十九號議案　府ノ有給吏員職員ノ退隱料退職給與金遺族扶助料及其ノ支給規則中改正ノ件……可決
府第二十號議案　特別經濟運用ニ關スル件……可決
府第二十一號議案　大正三年度東京府歲入歲出追加豫算書……可決
大正二年度東京府歲入歲出決算書……承認
行旅病人及死亡人費並精神病者監護費國庫支辨ニ關スル建議案……可決
私立中學校補助ニ關スル建議案……撤回

議決摘要

府第一號議案　大正四年度府費ニ關スル市部郡部部分擔及收入ノ割合……修正

明治三十二年勅令第二百八十五號第五條ニ依リ大正四年度府費ニ關スル市部郡部部分擔及收入ノ割合左ノ通定ムルモノトス

市部郡部分擔ノ割合

勸業補助費ノ內

桑港萬國博覽會東京出品同盟會補助

分擔割合參考表

科目	大正四年度市郡割合	割合標準
桑港萬國博覽會東京出品同盟會補助	市 九分 郡 一分	出品見込點數

府第二號議案　大正四年度東京府歲入歲出豫算書……修正

歲入

經常部

第一款　財產收入　金六千四百五拾九圓四拾八錢

第一項　不動產收入　金五千百五拾九圓四拾八錢

第二項　動産收入　金千參百圓

第二款　國庫下渡金　金拾壹萬千百四拾貳圓七錢

第一項　警察費下渡金　金拾壹萬千百四拾貳圓七錢

第三款　雜收入　金貳拾參萬參千參百貳拾貳圓拾五錢

第四款　市郡分賦額　金百七拾九萬貳千六百七拾七圓參拾壹錢六厘

（修正）金百七拾四萬四千百拾八圓七錢六厘

市部收入　金百參拾萬參千貳百拾壹圓八拾參錢六厘

（修正）金百貳拾六萬貳千百九拾參圓五拾六錢六厘

內　郡部收入　金四拾八萬九千四百六拾五圓四拾八錢

（修正）金四拾八萬千九百貳拾四圓五拾壹錢

第一項　市郡分賦額　金百七拾九萬貳千六百七拾七圓參拾壹錢六厘

（修正理由）歲出ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金貳百拾四萬參千六百壹圓壹錢六厘

（修正）金百七拾四萬四千百拾八圓七錢六厘

（修正）金貳百九萬五千四拾壹圓七拾七錢六厘

臨時部

第一款　國庫補助金　金壹萬五千八百貳拾九圓六拾五錢

（修正）金壹萬四千百六拾七圓八拾貳錢

第一項　傳染病豫防費補助金　金千貳拾四圓八拾錢

第二項　市町村傳染病豫防補助費補助金　金六拾六圓六拾六錢

第三項　蠶業取締費補助金　金千八拾四圓

第四項　地方種繭審査會費補助金　金六拾六圓

第五項　教育費補助金　金五千參百圓

第六項　感化院費補助金　金貳千四圓拾六錢

第七項　感化院補助費補助金　金千貳百五拾圓

第八項　癩療養費補助金　金五千參拾四圓參錢

（修正）金參千參百七拾貳圓貳拾錢

（修正理由）歲出中癩豫防費ノ修正ニ伴フニ由ル

第二款　財產賣拂代金　金八百四拾四圓

（修正）金五百貳拾七圓五拾錢

第一項　不動產賣拂代　金八百四拾四圓

（修正理由）府第十七號議案ノ修正ニ伴フニ由ル　（修正）金五百貳拾七圓五拾錢

臨時部合計金壹萬六千六百七拾參圓六拾五錢

（修正）金壹萬四千六百九拾五圓參拾參錢

歲入總計金貳百拾六萬貳百七拾四圓六拾六錢六厘

（修正）金貳百拾萬九千七百參拾七圓九錢六厘

市部收入　金百五拾七萬五百七拾五圓貳拾五錢六厘

內　（修正）金百五拾貳萬八千百七拾五圓參拾貳錢

郡部收入　金五拾八萬九千六百九拾九圓四拾壹錢

（修正）金五拾八萬千五百六拾壹圓七拾七錢六厘

歲出

經常部

第一款　警察費　金貳拾七萬五千八百八拾九圓拾九錢

第一項　俸給及諸給　金拾六萬七千參百八拾九圓六拾錢

警部補三人月俸貳拾五圓此金九百圓、巡査部長十六人月俸貳拾貳圓此金四千貳百貳拾四圓、巡査八十八人月俸十八圓二百人月俸拾壹圓此金四萬五千四百八圓、警察醫員二人年俸二千四百圓一人年俸千四百圓四人年俸千貳百圓此金壹萬千圓、十五人月俸五拾圓四十人月俸四拾參圓此金貳萬九千六百四拾圓、技師二人年俸千貳百圓此金貳千四百圓、技手一人月俸五拾圓三十二人月俸四拾五人月俸參拾五圓六十五人月俸拾八圓此金參萬貳千百圓、書記三十六人月俸拾八圓此金七千七百七拾六圓、警部、警部補、巡査宿料五千六百拾六圓、其他手當、旅費、恵與、諸傭給、給助

第二項　廳費　金四萬八千四百九拾九圓五拾九錢

第三項　警察機密費　金六萬圓

第二款　警察廳舍修繕費　金八百圓

第一項　修繕費　金八百圓

第三款　土木費　金拾參萬九千五百四拾七圓七拾八錢參厘

第一項　道路橋梁費　金四萬六千六百八拾貳圓八拾五錢

第二項　治水堤防費　金九萬貳千八百六拾四圓九拾參錢參厘

第四款　府會議諸費　金貳萬五千五百四拾參圓五拾五錢
第一項　府會議費　金壹萬七千貳百七拾壹圓七拾五錢
第二項　府參事會諸費　金八千貳百七拾壹圓八拾錢
第五款　衞生及病院費　金拾七萬五千五百六圓參拾七錢四厘
（修正）金拾七萬五百貳拾圓八拾七錢四厘
第一項　衞生諸費　金貳萬七千七百拾壹圓九拾七錢
（修正）金貳萬貳千七百貳拾六圓四拾七錢
（修正理由）癩豫防費ハ救育費ト同樣其筋ニ法律ノ改正ヲ要求シ國庫ノ支辨ヲ仰ク見込ニ付該患者ノ一時救護費ハ先以テ前年度豫算額ヲ踏襲スルモノトシ四千九百八拾五圓五拾錢ヲ削減スルニ由ル（調査委員意見委員長大井玄洞）
第二項　巢鴨病院費　金九萬貳千七拾參圓參拾參錢八厘
第三項　娼妓病院費　金四萬六千九百圓參拾六錢六厘
第四項　屠畜檢查費　金八千八百貳拾圓七拾錢
第六款　教育費　金五拾參萬九千五百參拾六圓九拾錢
第一項　青山師範學校費　金六萬千四百拾八圓七拾壹錢
第二項　豐島師範學校費　金六萬四百參拾四圓拾錢
第三項　女子師範學校費　金五萬貳千九百參拾壹圓拾五錢
第四項　第一中學校費　金參萬參千九百貳圓六拾貳錢
第五項　第二中學校費　金貳萬九百七拾壹圓六拾六錢
第六項　第三中學校費　金貳萬九千八拾九圓拾貳錢
第七項　第四中學校費　金貳萬七千八百四拾七圓五拾九錢
第八項　第一高等女學校費　金貳萬四千參百貳拾七圓五拾六錢
第九項　第二高等女學校費　金六千七百六拾貳圓七拾錢
第十項　第三高等女學校費　金貳萬參千八百四拾九圓七拾參錢
第十一項　第四高等女學校費　金壹萬四千九百七圓五拾七錢
第十二項　繊染學校費　金貳萬壹千拾六圓九拾貳錢
第十三項　工藝學校費　金參萬參千參百七拾五圓拾九錢
第十四項　園藝學校費　金貳萬六千五拾八圓五拾八錢
第十五項　農林學校費　金壹萬九千六百七拾壹圓拾貳錢
第十六項　學事諸費　金七萬六千四百貳拾四圓四拾貳錢

（原案說明）本項中ニ市町村立小學校教育費補助減額ノ結果トシテ小學校教員加俸資金編入金貳萬九千八百九拾壹圓六拾參錢ヲ新ニ計上セリ

第十七項　小學校教員檢定費　金千五百六圓拾六錢

第十六項　講習費　金參千五百四拾貳圓

第十九項　退職給與金　金千五百圓

（附帶議決）

一師範學校ニ於テ年二回ニ卒業生ヲ出シ得ル樣募集ヲ二回ニ分ツコト能ハサルカ

二工藝學校現在設備ノ許ス限度ニ於テ生徒增員ヲ計畫セラレタシ

三中等教育機關ノ完備ヲ圖カリ近キ將來ニ於テ相當成案ヲ提出セラレタシ

四青山豊島兩師範學校ハ合併スルヲ得策ト認ムルニ付來期通常府會開會ノ節迄ニ其ノ實行方法等ヲ調査セラレタシ

五農林園藝兩學校ハ合併スルヲ得策ト認ムルニ付前項ト同樣調査セラレタシ

以上當局ニ對シ研究ヲ望ム、尙各項共府會協議會ノ教育常置委員ニ協議セラレタキコト（調査委員意見委員長酒井泰）

第七款　救育費　金四拾萬參千四百九圓貳拾九錢

（修正）金參拾六萬參千七百九拾七圓貳拾貳錢

第一項　救助費　金四拾萬參千四百九圓貳拾九錢

（修正）金參拾六萬參千七百九拾七圓貳拾貳錢

（修正理由）本費累加ノ甚シキハ頗フル苦痛トスル所ニシテ連年其筋ニ國庫支辨方ヲ建議セルモ未タ目的ヲ達成スルニ至ラス而シテ本年ハ一層ノ熱誠ヲ以テ其筋ニ陳情スルモノトシ先以テ豫算ハ前年度額ヲ踏襲スルヲ可トスルニ由ル（調査委員意見委員長大井玄洞）

第八款　諸達書及揭示諸費　金參千六百八拾五圓五錢六厘

第一項　令達諸費　金參千六百八拾五圓五錢六厘

第九款　勸業費　金四萬五千五百六拾八圓六拾六錢五厘

第一項　勸業會費　金四千百八圓六拾八錢

第二項　勸業諸費　金參萬七千拾參圓五拾八錢五厘

第三項　森林調査費　金貳千百九拾七圓九拾錢

第四項　獸疫豫防費　金貳千貳百四拾八圓五拾錢

第十款　府費取扱費　金五千貳百拾五圓五拾錢

第一項　徵收費　金千百拾五圓五拾錢
第二項　金庫諸費　金四千百圓
第十二款　府廳舍修繕費　金九百圓
第一項　修繕費　金九百圓
第十三款　衆議院議員選擧費　金貳百五圓
第一項　選擧費　金貳百五圓
第十三款　府會議員選擧費　金千百參拾六圓七拾九錢
第一項　選擧費　金千百參拾六圓七拾九錢
第十四款　府吏員費　金拾萬貳千參百拾六圓貳拾六錢
第一項　吏員費　金拾萬貳千參百拾六圓貳拾六錢
第十五款　財產費　金五拾圓
第一項　管理費　金五拾圓
第十六款　土地收用費　金貳百貳拾四圓五拾錢
第一項　審查諸費　金貳百貳拾四圓五拾錢
第十七款　府社費　金六拾貳圓

第一項　府社費　金六拾貳圓
第十八款　府統計費　金貳千貳百貳拾七圓
第一項　府統計費　金貳千貳百貳拾七圓
第十九款　感化院費　金壹萬千七百拾五圓九拾四錢
第一項　小笠原修齊學園費　金壹萬千七百拾五圓九拾四錢
第二十款　地方獎勵費　金千圓
第一項　獎勵費　金千圓
第二十一款　市町村吏員懲戒審查會費　金參拾八圓
第一項　審查諸費　金參拾八圓
第二十二款　補償鑑定費　金參拾貳圓
第一項　鑑定人費　金參拾貳圓
第二十三款　豫備費　金壹萬圓
第一項　豫備費　金壹萬圓

經常部合計金百七拾四萬四千六百九圓七拾九錢八厘
（修正）金百七拾萬拾貳圓貳拾貳錢八厘

臨時部

第一款　警察廳舍建築費　金千九百九拾貳圓

第一項　建・築　費　金千九百九拾貳圓

電話架設費

第二款　土　木　費　金壹萬百七拾八圓八拾八錢參厘

第一項　道路橋梁費　金參千四百五拾六圓九拾九錢六厘

第二項　治水堤防費　金六千七百貳拾壹圓八拾八錢七厘

第三款　治水費分擔金　金參拾萬圓

第一項　河川改良費分擔金　金參拾萬圓

第四款　衞生及病院費　金四拾九圓

第一項　娼妓病院費　金四拾九圓

第五款　市町村傳染病豫防補助費　金四百圓

第一項　市町村傳染病豫防補助費　金四百圓

第六款　教　育　費　金四萬四千四百四拾圓七拾參錢五厘

第一項　師範學校費　金千貳百五拾八圓七拾六錢

建築費

第二項　中學校費　金貳萬千參百壹圓七拾壹錢

建築費

第三項　高等女學校費　金貳萬千四百參拾六圓七拾五錢

建築費

第四項　織染學校費　金百貳拾參圓五拾壹錢五厘

建築費

第五項　園藝學校費　金百貳拾圓

建築費

第六項　農林學校費　金貳百圓

建築費

第七款　教育補助費　金壹萬五百圓

第一項　教育補助費　金壹萬五百圓

東京府教育會補助千五百圓實業學校補助四千圓、市町村立小學校教育費補助五千圓

（附帶決議）市町村立小學校教育費補助ニ於テ小學校教員住宅料補助費ヲ計上シアラサルモ該補助ハ教員ヲシテ安シテ教育ニ全力ヲ傾注セシムルニ於テ極メテ有力ナル保障ニシテ一朝之ヲ廢止セントカ小學教育上頗ル憂慮スヘキ結果ヲ來スモノト認ムルニ付理事者ハ相當ノ手續ヲ以テ大正三年度同樣該補助費ヲ支出スヘク而シテ之ニ關シ必要ナル決議ハ府參事會ニ一任スルモノトス

（調査委員意見委員長酒井泰）

（原案說明）前年度ニ比シ金參萬參千五百拾圓七錢ヲ減シタルハ市町村立小學校教育費補助日本體育會並教育大會及學藝講演會補助ヲ要セサルニ由ル

第八款　町村警備補助費　金百貳拾壹圓

第一項　町村警備補助費　金百貳拾壹圓

第九款　勸業補助費　金貳萬五千六百圓

第一項　勸業補助費　金貳萬五千六百圓

種牛購入費補助六百圓、物產共進會補助貳千圓、小笠原島航海費補助參千圓、桑港萬國博覽會東京出品同盟會補助貳萬圓

第十款　感化院費　金貳百四拾貳圓

第一項　小笠原修齊學園費　金貳百四拾貳圓

建築費

第十一款　感化院補助費　金七千五百圓

第一項　感化院補助費　金七千五百圓

第十二款　教育費本年度支出額　金壹萬四千六百四拾壹圓貳拾五錢

（修正）金八千七百壹圓貳拾五錢

第一項　師範學校費本年度支出額　金壹萬四千六百四拾壹圓貳拾五錢

（修正）金八千七百壹圓貳拾五錢

女子師範學校建築費年度割

臨時部合計金四拾壹萬五千六百六拾四圓八拾六錢八厘

（修正）金四拾萬九千七百貳拾四圓八拾六錢八厘

歲出總計金貳百拾六萬貳百七拾四圓九錢六厘

（修正）金貳百拾萬九千七百參拾七圓九錢六厘

市部負擔　金百五拾七萬五百七拾五圓貳拾六錢六厘

（修正）金百五拾貳萬八千百七拾五圓參拾貳錢

內

郡部負擔　金五拾八萬九千六百九拾九圓四拾壹錢
（修正）金五拾八萬千五百六拾壹圓七拾七錢六厘

府第三號議案　大正四年度東京府罹災救助基金歲入歲出豫算書……可決
府第四號議案　大正四年度東京府慈惠救濟資金歲入歲出豫算書……可決
府第五號議案　大正四年度東京府巢鴨病院基本金歲入豫算書……可決
府第六號議案　大正四年度東京府教育資金歲入歲出豫算書……可決
府第七號議案　大正四年度東京府小學校教員加俸資金歲入歲出豫算書……可決
府第八號議案　大正四年度東京府小學校教員恩給基金歲入豫算書……可決
府第九號議案　大正四年度東京府小學校教員恩給金歲入歲出豫算書……可決
府第十號議案　大正四年度東京府立學校基本金歲入歲出豫算書……可決
府第十一號議案　大正四年度東京府第一中學校戰役記念獎學金歲入歲出豫算書……可決
府第十二號議案　大正四年度東京府第一中學校武術獎勵資金歲入歲出豫算書……可決
府第十三號議案　大正四年度東京府第二中學校恩賜記念獎學資金歲入豫算書……可決
府第十四號議案　大正四年度東京府織染學校校舍落成記念獎學資金歲入歲出豫算書……可決

府第十五號議案　大正四年度東京府第四中學校伏見宮博義王殿下奨學資金歳入歳出豫算書……可　決

歳　入　　金參拾七圓七拾錢

第一款　第四中學校奨學資金　　金拾圓

第一項　繰　越　金　　金貳拾七圓七拾錢

第二項　財　産　收　入　　金貳拾七圓七拾錢

歳入合計金參拾七圓七拾錢

歳　出　　金參拾七圓七拾錢

第一款　第四中學校奨學資金　　金貳拾七圓七拾錢

第一項　生徒奨勵費　　金拾圓

第二項　資金編入　　金貳拾七圓七拾錢

歳出合計金參拾七圓七拾錢

（註）本案は大正三年度中に初めて豫算を設定したるものなるも府會に提出するは今回を初めとする。

府第十六號議案　自大正四年度至大正六年度東京府教育費繼續年期及支出方法……修　正

一金九萬參千貳百八拾貳圓五拾錢　教育費中建築費

內　譯

金壹萬四千六百四拾壹圓貳拾五錢　大正四年度支出額

（修正）金八千七百壹圓貳拾五錢

金參萬九千八百參拾貳圓五拾錢　大正五年度支出額

（修正）金四萬千參百拾七圓五拾錢

金參萬八千八百八圓七拾五錢　大正六年度支出額

（修正）金四萬參千貳百六拾參圓七拾五錢

（修正理由）改築ノ必要ヲ認ムルモ事ノ緩急ヲ斟酌シ年度割ヲ修正スルヲ適當ト認ムルニ由ル（調査委員意見委員長酒井泰）

右ハ女子師範學校々舍腐朽シ改築ヲ要スル處其費用多額ナルヲ以テ三箇年度ノ繼續事業トシテ其完成ヲ期セントス

府第十七號議案　不動産賣却ノ件……修　正

東京市小石川區竹早町所在

東京府女子師範學校建物

一校舍　木造二階建瓦葺　建坪百參坪壹棟

此豫定價格金五百拾五圓

「一校舍　木造平家建瓦葺　建坪八拾五坪五合壹棟

此豫定價格金貳百五拾六圓五拾錢」(修正削除)

一玄關　木造平家建瓦葺　建坪五坪壹棟

此豫定價格金拾貳圓五拾錢

「一教員室　木造平家建瓦葺　建坪貳拾坪壹棟

此豫定價格金六拾圓」(修正削除)

以上合計建坪「貳百拾參坪五合」(「百八坪」ト修正)

豫定價格金「八百四拾四圓」(「五百貳拾七圓五拾錢」ト修正)

右賣却スルモノトス

(原案說明)右ハ府第十六號議案女子師範學校改築ニ伴ヒ不用ニ屬スルニ由ル

(修正理由)府第十六號議案中本校建築ノ順序等ヲ修正變更シタル結果トシテ本年度ニ於テ直ニ不用トシテ賣却シ難キニ至リシニ由ル(調査委員意見委員長酒井泰)

府第十八號議案　各選擧區ニ於テ選擧スヘキ府會議員數改正ノ件……可決

府縣制第五條ニ依リ各選擧區ニ於テ選擧スヘキ府會議員數左ノ通改正スルモノトス

東京市麹町區選擧區	一人
東京市神田區選擧區	四人
東京市日本橋區選擧區	三人
東京市京橋區選擧區	三人
東京市芝區選擧區	三人
東京市麻布區選擧區	二人
東京市赤坂區選擧區	一人
東京市四谷區選擧區	一人
東京市牛込區選擧區	三人
東京市小石川區選擧區	三人

東京市本郷區選擧區	三人
東京市下谷區選擧區	四人
東京市淺草區選擧區	四人
東京市本所區選擧區	四人
東京市深川區選擧區	五人
荏原郡選擧區	四人
豊多摩郡選擧區	四人
北豊島郡選擧區	四人
南足立郡選擧區	三人
南葛飾郡選擧區	一人
西多摩郡選擧區	四人
南多摩郡選擧區	四人
北多摩郡選擧區	二人

（原案説明）大正三年十月二十六日内閣統計局ヨリ公示セラレタル大正二年十二月三十一日現在現住人口ニ依リ算定ノ結果異動ヲ生スルニ由ル

府第十九號議案　府ノ有給吏員職員ノ退隱料退職給與金遺族扶助料及其ノ支給規則中改正ノ件……可決

府ノ有給吏員職員ノ退隱料退職給與金遺族扶助料及其ノ支給規則中左ノ通改メ大正四年一月一日ヨリ施行スルモノトス

「府ノ有給吏員職員ノ退隱料退職給與金遺族扶助料及其ノ支給規則」ト「府ノ有給吏員職員ノ退隱料退職給與金遺族扶助料支給規則」ト改ム

經濟ヨリ給料ヲ受クル吏員職員ノ退隱料退職給與金遺族扶助料支給規則」ト改ム

第一條ヲ左ノ通改ム

第一條　府ノ經濟ヨリ年俸又ハ月俸ヲ受クル左ノ吏員ニシテ退職シタルトキハ本則ノ定ムル所ニ依リ退隱料退職給與金ヲ死亡シタルトキハ扶助料又ハ扶助金ヲ給ス

一法令ニ基キ設置セラレタル吏員職員但退職又ハ死亡ノ際給與ニ關シ別段ノ規定アルモノヲ除ク

一警察技師、警察技手、警察書記

本則中吏員又ハ職員トアルハ前項ニ該當スル吏員職員ヲ云フ

第二條中「其ノ退職後再ヒ就職シタル者ハ」トアルヲ「其ノ退職後再ヒ吏員又ハ職員ニ就職シタル者若ハ吏員職員相互轉職ヲ爲シタル者ノ」ト改ム

第七條第二項ヲ左ノ通改ム

法令ニ基キ設立シタル本府内ノ議會ノ議員並市町村長市町村助役市町村收入役及東京市ノ區長ト爲リタル者若ハ事務ノ都合ニ依リ轉職ヲ命セラレ府ノ經濟ヨリ給料ヲ受ケサルニ至リタル者ハ事務ノ都合ニ依リ退職ヲ命セラレタル者ト看做ス

第十二條第二項中「本府ノ吏員職員」トアルヲ「吏員又ハ職員」ト改ム

第十七條第一項中「寡婦死亡シ」トアルヲ「寡婦ナキトキ若ハ扶助料ヲ受クル寡婦去シ」ト改ム

第二十條第三號ヲ左ノ通改ム

三　寡婦婚姻シタルトキ又ハ退隱料ヲ受クル者ノ寡婦ニシテ其ノ夫退職後結婚シタルトキ

（原案說明）府ヨリ退隱料扶助料退職給與金及扶助金ヲ給スヘキ範圍ヲ明瞭ナラシメ並法文上不備ノ廉ヲ補ハントス

府第二十號議案　特別經濟運用ニ關スル件……可　決

大正三年非常災害復舊土木費ノ負擔ニ充ツル爲市部普通經濟ヘ巢鴨病院基本金四萬參千圓、小學校教員加俸資金貳萬參千圓、郡部普通經濟ヘ小學校教員加俸資金壹萬參千圓ヲ左ノ各項ニ依リ運用スルモノトス

一大正三年度內須要ニ應シ一回若ハ數回ニ運用スルコト

一運用金ニハ一個年五分二厘ノ割合ヲ以テ利子ヲ付シ每年度九月末日及三月末日ニ於テ前六個月分ヲ戻入スルコト但運用又ハ戻入ノ際ニ於ケル一期ニ充タサル端數利子ハ運用ノ際ニハ其ノ翌日ヨリ戻入ノ際ニハ其當日迄日割ヲ以テ計算スルモノトス

一運用金ハ大正五年度ニ於テ戻入スルコト

府第二十一號議案　大正三年度東京府歲入歲出追加豫算書……可　決

歲　入

經　常　部

第四款　市郡分賦額　金六拾萬七千五百參拾參圓壹錢六厘

第一項　市郡分賦額　金六拾萬七千五百參拾參圓壹錢六厘

經常部合計金六拾萬七千五百參拾參圓壹錢六厘

臨時部

第一款　國庫補助金　金拾萬貳千六百六圓六拾九錢六厘

第十項　土木費補助金　金拾萬貳千六百六圓六拾九錢六厘

臨時部合計金拾萬貳千六百六圓六拾九錢六厘

歳入總計金七拾壹萬百參拾九圓七拾壹錢貳厘

歳出

臨時部

第二款　土木費　金七拾壹萬百參拾九圓七拾壹錢貳厘

第一項　道路橋梁費　金壹萬百九拾壹圓七拾四錢

第二項　治水堤防費　金六拾九萬九千九百四拾七圓九拾七錢貳厘

（原案説明）本年非常水害ノ爲生シタル道路・橋梁・河岸・堤防ノ破壞・流失個所復舊ヲ要スルニ由ル臨時部合計金七拾壹萬百參拾九圓七拾壹錢貳厘

歳出總計金七拾壹萬百參拾九圓七拾壹錢貳厘

（附帶決議）西多摩郡西多摩村大字羽上水取入口投渡シ木既定ノ水位ニ達セサルモ雨量ニ依リ早ク投渡シ木ヲ順次ニ時間ヲ隔テヽ取拂フコトヲ希望ス

前項投渡シ木ハ相當ノ時間ヲ經過セス三箇所共急速ニ取拂ノ結果一時ニ水嵩ヲ增シ從テ下流ニ於ケル被害ヲ增スモノト認メラル由テ東京市ヘ下流工事費ニ對シ相當負擔ノ交涉ヲ希望ス（調査委員意見委員長酒井泰）

大正二年度東京府歳入歳出決算書……承認

行旅病人及死亡人費並精神病者監護費國庫支辨ニ關スル建議案……可決

（建議の大要）これ等の費用を國庫支辨に移すことは、本會の決議を以て、連年建議し來りしも未だ實現を見ざるは甚だ遺憾に堪へない。希くは建議の趣旨を採納して急速詮議を遂げられたいと内務大臣に意見書を提出するので、建議案は多數

を以て可決した（議員大井玄洞外八名發議）。

私立中學校補助に關する建議案……撤回

（建議の大要）府下私立中學校並中等程度の實業學校中適當なるものを選定して府費より相當の補助金を交付し、設備其の他に對しては嚴重なる監督を加へ、以て中等學校の不足を緩和するの措置を採られたいと知事に意見書を提出するの趣旨である（議員井田忠信外九名發議）。

（附記）この建議案は建議とせず希望として理事者に調査を求むることゝなり、撤回した。

通常市部會

本會は、大正三年十一月十八日午後二時十九分に開議し、會議五日間に渉り、十二月十四日午後四時十分議事終了散會した。

酒井議長は、會議の同意を得て、世良太一・吉田廉助を會議錄署名議員に選定した。

この會議では、議事上特筆する程の事項もなかつたが、稍や重要と認められる質問事項を掲ぐれば次の如くである。

一　警察制度に關する質問

議員永田義原が「市内の警察署は、元來一區一警察署の制度であつたのを、龜井總監の時代に、一躍八十三警察署に增加せられた。之が爲統一上非常に弊害を生じ不便が多いといふ非難があつたので、我々府會議員は、屢々理事者に陳情して舊制度に復されんことを希望した。理事者に於ても之を諒とし、最近四十餘箇署に減縮せられたが、猶一區一警察署の舊制度とは大に隔たりがある。何故に斷乎として一區一警察署の舊制度に復することが出來ないのか、現制度は統一上弊害を生ぜざるか、即ち、四十餘箇署の現制度を維持しなければならぬ理由を承知したい」と質問した。之に對し川崎警務部長は「一區一警察署制度の時は、外に相當數の分署が設置してあつて、分署の權限は警察署と略ぼ同一であつたから、事實上は現在の制度と大差がない。而して、現在の四十餘箇署の制度は實施の成績に於て、格別統一上の弊害又は不便を認めない」と答へたが、又内田委員長から警察費の調査委員會に於ても、この件に關して大分議論があつたけれども、餘まり頻繁に制度を改正するのは朝令暮改の嫌もあるので、理事者と接衝の結果、今後極力統一を圖かると

の言明を得て、原案を認むることに決定したる旨の報告があつて、會議も之に同意決定した。

ニ　旅人宿業並下宿業の密業者取締に關する質問

村上熊八は、旅人宿業及下宿業の密業者(素人下宿)取締方に就ては、從來屢々理事者に對して取締方を希望したが、近來益々密業者が增加した爲正當の營業者は頗ぶる其の影響を受け、極度の不振に陷つて居るから、其の保護の爲嚴重に密業者を取締られたい。殊に警視廳のみでなく東京府としても、密業者に對し一種の稅金を課する方法を採つたならば、兩々相俟つて密業者の根絕を期することが出來ると思ふから、此方針を以て邁進せられたいと希望を述べた。

議案　附建議案

第市一號議案部　大正四年度東京府市部營業稅雜種稅課目課額……可決
第市二號議案部　大正四年度東京府市部歲入歲出豫算書……修正
第市三號議案部　大正四年度東京府市部請願巡査並消防費徵收額……可決
第市四號議案部　大正四年度東京府市部慈惠救濟資金歲入歲出豫算書……可決
第市五號議案部　大正四年度東京府市部學資金歲入歲出豫算書……可決
第市六號議案部　大正四年度東京府市部府立學校基本金歲入歲出豫算書……可決
第市七號議案部　大正四年度東京府市部積立金歲入歲出豫算書……可決
第市八號議案部　東京府市部府稅賦課規則中改正ノ件……可決
第市九號議案部　起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法……修正
第市十號議案部　特別經濟運用ニ關スル件……可決
第市十一號議案部　大正三年度東京府市部歲入歲出追加豫算書……可決
大正二年度東京府市部歲入歲出決算書……承認
庭園稅新設ニ關スル建議案……可決

議決摘要

第市一號議案部　大正四年度東京府市部營業稅雜種稅課目課額……可決

營業稅

一　商業　年稅　金四錢

第二類　賣藥請賣及行商　請賣藥方一方ニ付　年稅　金四錢

行商者一人ニ付　同　金參拾錢

雜種稅
一水車　紡織製作其他機械ヲ運轉スルモノ　一馬力ニ付　年稅　金壹圓五拾錢
挽臼　徑一尺五寸以上　一個ニ付　同　金壹圓
同　徑一尺五寸未滿　同　同　金五拾錢、
擣臼　三斗張以上　同　同　金拾五錢
同　三斗張未滿　同　同　金拾錢
一自動車
二十馬力以上　十五馬力以上二十馬力未滿　年稅　金八拾圓
十馬力以上十五馬力未滿　同　金六拾圓
五馬力以上十馬力未滿　同　金四拾圓
五馬力未滿　同　金貳拾五圓
但荷積專用自動車ハ以上ノ半額トス　同　金拾五圓

（原案說明）賣藥行商稅ニ付テハ從來鑑札ヲ標準トナシタルモ右ハ行商者ヲ標準トスルノ至當ナルヲ認メ尚水車稅及自動車稅ハ之カ使用者ノ營業狀態等ニ鑑ミ減稅ノ必要ヲ認ムルヲ以テ之カ改正ヲ爲サントス

市第二號議案　大正三年度東京府市部歲入歲出豫算書……修正

歲入
經常部
第一款　地租割
第一項　地租割　金四拾貳萬四千七百四拾壹圓七拾錢（宅地租壹圓ニ付拾八錢、其他ノ土地地租壹圓ニ付四拾四錢參厘）
第二款　營業稅
第一項　商業稅　金拾萬八千八百九圓
第二項　工業稅　金七萬九千參百八拾四圓
第三款　雜種稅　金貳萬九千四百貳拾五圓
第四款　營業稅附加稅　金四拾八萬參千四百拾貳圓
第一項　營業稅附加稅　金五拾萬六千貳百貳拾圓
第五款　賣藥營業稅附加稅　金五拾萬六千貳百貳拾圓（本稅壹圓ニ付拾參錢）
金六百參拾六圓

第一項　賣藥營業稅附加稅　金六百參拾六圓（本稅壹圓ニ付參錢）
第六款　所得稅附加稅　金貳拾壹萬參千圓
第一項　所得稅附加稅　金貳拾壹萬參千圓（本稅壹圓ニ付六錢）
第七款　取引所營業稅附加稅　金參萬貳千參百圓
第一項　取引所營業稅附加稅　金參萬貳千參百圓（本稅壹圓ニ付拾錢）
第八款　家屋稅　金九拾七萬貳千四百圓
第一項　家屋稅　（修正）金七拾九萬貳千八百八拾圓
　金九拾七萬貳千四百圓（一個ニ付六錢五厘）
　（修正）金七拾九萬貳千八百八拾圓（一個ニ付五錢參厘）
第九款　財產收入　金千圓
第一項　財產收入　金七拾六萬參千參百五拾圓五拾九錢
第十款　國庫下渡金　金七拾六萬參千參百五拾圓五拾九錢
第一項　警察費下渡金　金拾五萬千九百拾九圓五拾錢
第十一款　雜收入　金貳拾六萬七千參百六拾參圓四拾貳錢
第十二款　市郡連帶市部收入額　（修正）金貳拾六萬五千九百八拾壹圓七拾五錢四厘

第一項　市郡連帶市部收入額　（修正）金貳拾六萬五千九百八拾壹圓七拾五錢四厘
（修正理由）聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル
經常部合計金參百九拾貳萬五千百五拾貳圓貳拾壹錢
（修正）金參百七拾四萬四千貳百五拾圓五拾四錢四厘
　臨時部　金千圓
第一款　繰越金　金千圓
第一項　前年度繰越金　金參萬千五拾五圓六拾六錢
第二款　國庫補助金　（修正）金貳萬貳千九百五拾五圓六拾六錢
第一項　市町村傳染病豫防補助費補助金　金貳萬四千七百六拾六圓六拾六錢
第二項　教育費補助金　（修正）金壹萬六千六百六拾六圓六拾六錢
　職工學校費補助金　金貳千五百圓

第三項　警察費補助金　金參千七百八拾九圓

臨時部合計金參萬貳千五拾五圓六拾六錢

(修正)金貳萬參千九百五拾五圓六拾六錢

歳入總計金參百九拾五萬七千貳百七圓八拾七錢

(修正)金參百七拾六萬八千貳百六圓貳拾錢四厘

歳出

經常部

第一款　警察費　金百九拾壹萬九千四百貳拾六圓八拾八錢

第一項　俸給及諸給　金百四拾七萬九千百七拾圓五錢

警部補百三十人月俸貳拾五圓二人同上六個月分一人同上二個月分此金參萬九千參百五拾圓、巡査部長二百四十二人月俸貳拾貳圓三人同上二個月分此金六萬四千四百拾六圓、巡査三千七百二十一人月俸拾八圓三十六人同上六個月分四十二人同上二個月分此金八拾萬九千百參拾六圓、消防曹長四十二人月俸貳拾貳圓此金壹萬八拾圓、消防手三百六十九人月俸拾五圓十六人同上六個月分二十人月俸拾圓此金七萬貳百六拾圓、警察書記百五十八人月俸拾八圓一人月俸貳拾五圓此金參萬四千四百貳拾八圓、消防書記十四人月俸拾八圓此金參萬四千四百貳拾八圓、消防書記十四人月俸拾八圓此金參萬四千四百貳拾八圓、警察署長、消防官、警部補、巡査宿料拾八萬五千四百七拾圓、諸傭給(消防及水上警察關係)八萬參百八拾四圓八拾錢其他手當、旅費、恵與、給助

(原案説明)　警察取締ノ必要上警部補巡査ノ增員、消防曹長、蹄鐵工ノ新設其他增員增給等ニ依リ約參萬五千六百餘圓ヲ增ス

第二項　廳費　金四拾四萬貳百五拾六圓八拾參錢

第二款　警察廳舍修繕費　金壹萬四千參百四拾參圓六拾錢

第一項　修繕費　金壹萬四千參百四拾參圓六拾錢

第三款　教育費　金貳萬參千八拾貳圓七拾五錢

第一項　職工學校費　金貳萬參千八拾貳圓七拾五錢

第四款　府費取扱費　金貳萬五百七拾五圓五拾錢

第一項　徵收費　金貳萬五百七拾五圓五拾錢

第五款　財産管理費　金貳圓

第一項　管理費　金貳圓

第六款　府社費　金貳百四拾八圓
第一項　府社費　金貳百四拾八圓
第七款　豫備費　金五千圓
第一項　豫備費　金五千圓
第八款　市郡分賦市部負擔額　金百五拾七萬五百七拾五圓貳拾貳錢
（修正）金百五拾貳萬八千百七拾五圓參拾貳錢
第一項　市郡分賦市部負擔額　金百五拾七萬五百七拾五圓貳拾五錢六錢
（修正）金百五拾貳萬八千百七拾五圓參拾貳錢
（修正理由）聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル
經常部合計金參百五拾五萬參千貳百五拾參圓九拾八錢六厘
（修正）金參百五拾壹萬八百五拾四圓五錢
臨時部　金六萬參千八百五拾六圓
第一款　警察廳舍建築費　金六萬參千八百五拾六圓
第一項　建築費
警察署、消防署其他建築費

第二款　市町村傳染病豫防補助費　金拾四萬八千六百圓
（修正）金拾萬圓
第一項　市町村傳染病豫防補助費　金拾四萬八千六百圓
（修正理由）本年度ニ於テ不要ト認ムル額ヲ控除スルニ由ル（調査委員意見委員長世良太一）
（修正）金拾萬圓
第三款　教育費　金貳萬參千貳百五拾壹圓五拾錢
（修正）金貳萬貳千參百參拾壹圓五拾錢
第一項　職工學校費　金貳萬參千貳百五拾壹圓五拾錢
（修正）金貳萬貳千參百參拾壹圓五拾錢
建築費
（修正理由）設計ヲ變更シ節約スルニ由ル（調査委員意見委員長吉田雁助）
第四款　府債費　金拾六萬六圓
（修正）金六萬千參百六圓
第一項　元金償還金　金拾五萬四千圓
（修正）金五萬四千圓

（修正理由）市部第九號議案ニ於テ償還額修正ニ伴フニ由ル（調査委員意見委員長世良太一）

第二項　利子　金六千六圓

（修正理由）同上　（修正）金七千參百六圓

第五款　運用金戻入　金七千九百五拾六圓

第一項　運用金利子　金七千九百五拾六圓

臨時部合計金四拾萬參千六百六拾九圓五拾錢

（修正）金貳拾五萬五千四百四拾九圓五拾錢

歳出總計金參百九拾五萬六千九百貳拾參圓四拾八錢六厘

（修正）金參百七拾六萬六千參百參圓五拾五錢

市第三號議案部　大正四年度東京府市部請願巡査並消防費徴收額……可決

一金貳拾九圓五拾錢　巡査一人一個月分

一金貳拾圓　消防手一人一個月分

市第四號議案部　大正四年度東京府市部慈惠救濟資金歳入歳出

豫算書……可決

市第五號議案部　大正四年度東京府市部學資金歳入歳出豫算書……可決

市第六號議案部　大正四年度東京府市部府立學校基本金歳入歳出豫算書……可決

市第七號議案部　大正四年度東京府市部積立金歳入歳出豫算書……可決

市第八號議案部　東京府市部府稅賦課規則中改正ノ件……可決

東京府市部府稅賦課規則中左ノ通改メ取引所營業稅附加稅ハ大正四年度ヨリ其他ハ大正四年一月一日ヨリ施行スルモノトス

第三章中「賣藥營業稅附加稅」ノ下「取引所營業稅附加稅」ヲ加フ

第十四條中左ノ一項ヲ加フ

本府內市部及郡部ニ渉リ營業所ヲ定メテ爲ス營業又ハ其收入ニ對シ本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ營業稅附加稅又ハ所得稅附加稅ヲ賦課スルトキハ歩合ヲ定メテ之ヲ賦課ス但所得稅附加稅賦課ニ付歩合ヲ定ムルハ府縣制第百八

條ニ該當シ本稅ヲ分別シテ納メサル場合ニ限ル

（原案說明）大正四年度ヨリ取引所營業稅附加稅ヲ賦課セントスルト營業稅附加稅及所得稅附加稅ニ關シ歩合ヲ定メテ賦課スルノ必要ヲ感スル場合アルヲ認メ之カ方法ヲ規定センカ爲本改正ヲ爲サントス

市部第九號議案　起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法……修正

第一條　大正三年非常災害復舊土木費ノ負擔ニ充ツル爲市部經濟ニ於テ罹災救助基金ヨリ金拾五萬四千圓ヲ大正三年度內須要ニ應シ借入ルルモノトス

第二條　借入金ノ利息ハ一個年五分二厘トシ每年度九月末日及三月末日ニ於テ前六個月分ヲ仕拂フモノトス但借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ充タサル端數利子アルトキハ借入ノ際ニハ其ノ翌日ヨリ償還ノ際ニハ仕拂ノ當日迄日割ヲ以テ計算ス

第三條　借入金ハ大正四年度ニ於テ一般財源ヲ以テ償還スルモノトス

（修正）第三條ヲ左ノ通修正ス

第三條　借入金ハ大正四年度ヨリ大正五年度ニ至ル二個年度ニ於テ左ノ通償還スルモノトス但府經濟ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲スコトアルヘシ

大正四年度　金五萬四千圓

大正五年度　金拾萬圓

（第四條　前條ノ償還ハ一般財源ヲ以テ之ニ充ツルモノトス）（修正追加）

（修正理由）目下經濟界ノ不振ニ伴ヒ府民負擔力ノ缺乏ヲ斟酌シ第一條ノ借入金ハ之ヲ大正四年度同五年度ノ兩年度ニ償還スルヲ適當ト認ムルニ由ル（調査委員意見委員長木庭榮）

市部第十號議案　特別經濟運用ニ關スル件……可決

大正三年非常災害復舊土木費ノ負擔ニ充ツル爲巢鴨病院基本金ヨリ金四萬參千圓、小學校教員加俸資金ヨリ金貳萬參千圓、市部慈惠救濟資金ヨリ金四萬八千圓、市部積立金ヨリ金參萬九千圓ヲ左ノ各項ニ依リ市部普通經濟ヘ運用スルモノトス

一大正三年度內須要ニ應シ一回若ハ數回ニ運用スルコト

一運用金ニハ一箇年五分二厘ノ割合ヲ以テ利子ヲ附シ每年度九月末日及三月末日ニ於テ前六箇月分ヲ仕拂フ但運用又ハ戻入ノ際ニ於ケル一期ニ充タサル端數利子ハ運用ノ際ニハ其ノ翌日ヨリ戻入ノ際ニハ其ノ當日迄日割ヲ以テ計算

スルモノトス

一運用金ハ大正五年度ニ於テ金九萬圓、大正六年度ニ於テ金六萬參千圓ヲ戻入ス
ルモノトス

市部第十一號議案　大正三年度東京府市部歳入歳出追加豫算書……可　決

歳入

經常部

第二款　營業税　金參千九百貳拾五圓參拾七錢六厘

第一項　商業税　金參千九百貳拾五圓參拾七錢六厘

第七款　家屋税　金八千圓

第一項　家屋税　金八千圓

第九款　國庫下渡金　金五千百九拾貳圓七拾參錢

第一項　警察費下渡金　金五千百九拾貳圓七拾參錢

第十二款　市郡連帶市部收入額　金五萬貳千參百貳拾九圓四拾壹錢五厘

第一項　市郡連帶市部收入額　金五萬貳千參百貳拾九圓四拾壹錢五厘

經常部合計金六萬九千四百四拾七圓五拾貳錢壹厘

臨時部

第五款　府債　金拾五萬四千圓

第一項　府債　金拾五萬四千圓

第六款　運用金　金拾五萬參千圓

第一項　運用金　金拾五萬參千圓

臨時部合計金參拾萬七千圓

歳入總計金參拾七萬六千四百四拾七圓五拾貳錢壹厘

歳出

經常部

第一款　警察費　金壹萬貳千九百八拾壹圓八拾貳錢五厘

第一項　俸給及諸給　金壹萬貳千九百八拾壹圓八拾貳錢五厘

中央停車場（東京驛）開設ニ伴ヒ構内警察取締上必要ナル警部補巡査增員諸費

第二項　廳費　金七百拾壹圓六拾錢

第八款　市郡分賦市部負擔額　金參拾六萬貳千百七拾壹圓貳拾五錢參厘

第一項　市郡分賦市部負擔額　金參拾六萬貳千百七拾壹圓貳拾五錢參厘
經常部合計金參拾七萬五千百五拾參圓七錢八厘

臨時部

第四款　府債費

第二項　利子　金千貳百九拾四圓四拾四錢參厘
臨時部合計金千貳百九拾四圓四拾四錢參厘
歳出總計金參拾七萬六千四百四拾七圓五拾貳錢壹厘

大正二年度東京府市部歳入歳出決算書……承認
庭園稅新設ニ關スル建議案……可決
（建議の大要）庭園稅新設の儀は前年知事に建議したが、未だ發案がないので更に同樣の意見書を提出するので、建議案は多數を以て可決した（議員大井玄洞發議）。

通常郡部會

本會は、大正三年十一月十八日午後二時二十二分に開議し、會議四日間に渉り、十二月十四日午後零時三十五分議事終了散會した。

相澤議長は、會議の同意を得て、齋藤政吉、井田忠信を會議錄署名議員に選定した。

この會議に於ける、稍々特異の事項を次に掲げる。

農事試驗場の成績に關しては、從來議員間に兎角の論議があつたが、この會議に於ても亦種々質問があつた。其の中に於て、議員木崎平六の質問は稍々詳密に渉つて參考とすべき點があつた。即ち「本府農事試驗場の不評は、獨り議員間のみでなく、府民一般の間にも非難が多い。それで、理事者は來年度に於て試驗場の大刷新を圖られるとのことであるから、この機會に意見の一端を述べて理事者の考慮を促したいと思ふ。本府下には、西ケ原の農事試驗場中野の原蠶種製造所、高等蠶糸學校等本省直轄の立派なものがあり、其の研究事項は府の試驗場と多少の相違はあらうが、先づ大同少異と考へる。これが他の府縣と大に異なるところで從て、本府の試驗場を他の府縣に比して小規模としても差支ないと思ふ。又一面に於て、試驗場と府農會の技術員を共通とし、同一人をして兼務せしめ、兩々相俟つて農事の改善に資するのが良いと思ふ。又、議員中には、農林學校並園藝學校に農事試驗場を附設せんとする意見もあるが、理事者に於て調査の結果實現し得るならば

至極結構のことゝ信ずる。尚試驗場の事業として苗圃を設け、農家に優良なる種苗を供給するのが最も必要と考へる。兎に角近き將來に於て試驗場の刷新改善を圖らるゝ趣であるから、希望を述べて參考に供する次第である」と言ふにあつた。

議案

第一號議案部　大正四年度東京府郡部營業稅雜種稅課目課額……修正
第二號議案部　大正四年度東京府郡部歲入歲出豫算書……修正
第三號議案部　大正四年度東京府郡部請願巡査費徵收額……可決
第四號議案部　大正四年度東京府郡部慈惠救濟資金歲入歲出豫算書……可決
第五號議案部　大正四年度東京府郡部衞生資金歲入豫算書……可決
第六號議案部　大正四年度東京府郡部學資金歲入歲出豫算書……可決
第七號議案部　大正四年度東京府郡部積立金歲入歲出豫算書……可決
第八號議案部　不動產賣却ノ件……可決
第九號議案部　自大正四年度至大正六年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法……可決
第十號議案部　東京府郡部府稅賦課規則中改正ノ件……可決
第十一號議案部　起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法……修正
第十二號議案部　特別經濟運用ニ關スル件……可決
第十三號議案部　大正三年度東京府郡部歲入歲出追加豫算書……可決
大正二年度東京府郡部歲入歲出決算書……承認

議決摘要

第一號議案部　大正四年度東京府郡部營業稅雜種稅課目課額……修正

營業稅
一商業
第七類　賣藥請賣及行商　請賣藥方一方ニ付　年稅　金四錢
行商者一人ニ付　同　金參拾錢

雜種稅
一車
營業人力車
二人乘（乘臺ノ橫幅內法二尺以上ノモノ）　年稅　金壹圓五拾錢
一人乘（乘臺ノ橫幅內法二尺未滿ノモノ）　同　金壹圓（「金壹」ヲ「金貳拾錢」ト修正）

（修正理由）市部ト權衡上減稅ノ必要ヲ認ムルニ由ル（調査委員意見委員長豐田周作）

一水車　一馬力ニ付　年稅　金壹圓五拾錢
紡織製作其他機關ヲ運轉スルモノ
一挽臼　徑一尺五寸以上　一個ニ付　同　金壹圓
同　徑一尺五寸未滿　同　同　金五拾錢
一擣臼　三斗張以上　同　同　金拾五錢
同　三斗張未滿　同　同　金拾錢
一自動車　年稅
二十馬力以上　金八拾圓
十五馬力以上二十馬力未滿　同　金六拾圓
十馬力以上十五馬力未滿　同　金四拾圓
五馬力以上十馬力未滿　同　金貳拾五圓
五馬力未滿　同　金拾五圓
但荷積專用自動車ハ以上ノ半額トス

（原案說明）賣藥行商稅ニ付テハ從來鑑札ヲ標準トナシタルモ右ハ行商者ヲ標準トスルノ至當ナルヲ認メ尙水車稅及自動車稅ハ之カ使用者ノ營業狀態ニ鑑ミ減稅ノ必要ヲ認ムルヲ以テ之カ改正ヲ爲サントス

郡部第二號議案　大正四年度東京府郡部歲入歲出豫算書……修正

歲入

金參拾四萬九千貳百九拾六圓

經常部

第一款　地租割　金參拾壹萬五千百九拾五圓

第一項　地租割　金參拾四萬九千貳百九拾六圓
（宅地租壹圓ニ付貳拾壹錢六厘、其他ノ土地地租壹圓ニ付五拾參錢貳厘）
（修正）金參拾壹萬五千百九拾五圓
（宅地租壹圓ニ付拾九錢五厘、其他ノ土地地租四拾八錢）
（修正理由）歲出豫算ノ修正ニ伴フニ由ル（調査委員意見委員長豐田周作）

第二款　營業稅　金七萬千六百四拾四圓

第一項　商業稅　金五萬七千八百八拾四圓

第二項　工業稅　金壹萬參千七百六拾圓

第三款　雜種稅　金貳拾四萬九千貳百拾參圓

第二十一項　車税　（修正）金貳拾四萬七千九百參拾八圓六拾錢

金拾四萬貳千四百四拾貳圓

（修正理由）課目課額ノ修正ニ伴フニ由ル（調査委員意見委員長豐田周作）

第四款　營業税附加税　金拾四萬千百六拾七圓六拾錢

第一項　營業税附加税　金七萬五千貳百圓

第五款　賣藥營業税附加税　金七萬五千貳百圓（本税壹圓ニ付拾六錢）

第一項　賣藥營業税附加税　金九拾圓

第六款　所得税附加税　金九拾圓（本税壹圓ニ付參錢）

第一項　所得税附加税　金六萬九千七百六拾圓

第七款　家屋税　金六萬九千七百六拾圓（本税壹圓ニ付八錢）

第一項　家屋税　金四拾七萬六千四百九拾六圓

（修正理由）歳出豫算ノ修正ニ伴フニ由ル（調査委員意見委員長豐田周作）

（修正）金四拾四萬千貳百圓

金四拾七萬六千四百九拾六圓

（一個ニ付拾錢八厘）

（修正）金四拾四萬千貳百圓

（一個ニ付拾錢）

第八款　戸數割　金貳拾貳萬四千貳百八拾圓

第一項　戸數割　（修正）金貳拾萬七千九百四圓

金貳拾貳萬四千貳百八拾圓

（一戸ニ付參圓拾五錢）

（修正）金貳拾萬七千九百四圓

（一戸ニ付貳圓九拾貳錢）

（修正理由）歳出豫算ノ修正ニ伴フニ由ル（調査委員意見委員長豐田周作）

第九款　財産收入　金千參百四拾八圓拾貳錢

第一項　不動産收入　金四拾八圓

第二項　動産收入　金參拾八圓拾貳錢

第三項　特別經濟繰入　金千貳百六拾貳圓

第十款　國庫下渡金　金拾七萬參千貳拾六圓四拾九錢

第一項　警察費下渡金　金拾七萬參千貳拾六圓四拾九錢

第十一款　雜收入　金九萬千八拾壹圓

第十二款　市郡連帶郡部收入額　金拾萬貳百參拾參圓九拾參錢

（修正）金九萬九千六百參拾七圓貳拾六錢六厘

第一項　市郡連帶郡部收入額　金拾萬貳百參拾參圓九拾參錢

（修正理由）聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル（調査委員意見委員長豐田周作）

經常部合計金百八拾八萬千六百六拾八圓五拾四錢

（修正）金百七拾九萬四千貳拾四圓四拾七錢六厘

臨時部

第一款　繰越金　金千圓

第一項　前年度繰越金　金千圓

第二款　國庫補助金　金七千參百四拾六圓六拾六錢

第一項　市町村傳染病豫防補助費補助金　金千百六拾六圓六拾六錢

第二項　農事試驗場補助金　金千四百貳拾圓

第三項　病蟲害驅除豫防費補助金　金貳百貳拾參圓

第四項　耕地整理補助費補助金　金八拾壹圓

第五項　耕地改良費補助金　金參千五百五拾六圓

第六項　公有林野造林補助費補助金　金九百圓

第三款　財產賣拂代　金貳拾圓

第一項　不動產賣拂代　金貳拾圓

臨時部合計金八千參百六拾六圓六拾六錢

歲入總計金百八拾九萬參拾五圓貳拾錢

（修正）金百八拾萬貳千參百九拾壹圓拾參錢六厘

歲出

經常部

第一款　警察費　金四拾參萬千參百貳拾四圓六拾九錢四厘

第一項　俸給及諸給　金參拾五萬貳千九百四拾四圓九拾參錢

警部補三十二人月俸貳拾五圓二人同上六個月分一人同上二個月分此金九千九百五拾圓、巡査部長七十二人月俸貳拾三人同上六個月分四人同上二個月分此金壹萬九千五百八拾圓、巡査九百三十七人月俸拾八圓四十四人同上六個月分六十人同上二個月分此金貳拾萬九千參百四圓、書記六十六人月俸拾八圓此金壹萬四千貳百五拾六圓、警部・警部補・巡査宿料參萬參千貳拾九圓其他手當・旅費・惠與諸傭給給助

（原案說明）警察取締ノ必要上警部補巡査增員ニ關スル諸費ヲ計上ノ爲メ參萬八千參百

參拾九圓拾貳錢五厘ヲ增加セリ

第二項　廳費　金七萬八千參百七拾九圓七拾六錢四厘

第二款　警察廳舍修繕費　金四千八百五拾五圓五拾七錢

第一項　修繕費　金四千八百五拾五圓五拾七錢

第三款　土木費　金貳拾六萬九千四百七拾四圓貳拾參錢四厘

第一項　道路橋梁費　金貳拾五萬九千百參圓拾貳錢七厘

第二項　治水堤防費　金壹萬參百七拾壹圓拾錢七厘

第四款　郡役所費　金五萬四千百八拾四圓七拾錢

第一項　俸給及諸給　金四萬六千貳百四拾七圓九拾四錢

書記一人月俸貳拾參圓此金貳萬七千八百七拾六圓、視學八人月俸四拾五圓此金四千參百貳拾圓、雇員十八人月俸拾貳圓此金貳千五百九拾貳圓、其他旅費・恵與・諸傭給給與

第二項　廳費　金七千九百參拾六圓七拾六錢

第五款　郡廳舍修繕費　金千百拾八圓八拾四錢

第一項　修繕費　金千百拾八圓八拾四錢

第六款　救育費　金七千七百壹圓五拾七錢七厘

第一項　救助費　金七千七百壹圓五拾七錢七厘

第七款　諸達書及掲示諸費　金拾六圓

第一項　令達諸費　金拾六圓

第八款　勸業費　金參萬六千五百貳拾參圓九拾貳錢

第一項　農事試驗場費　金貳萬六千貳百八圓七錢

（附帶決議）各官廳ハ夫々行政整理ヲ行ヒタルニ獨リ本府農事試驗場ハ舊來ノ儘ニテ今ヤ整理ヲ要スヘキ事項尠少ナラスト認ムルニ付來期通常會迄ニ充分ノ整理ヲ斷行シタル上豫算ヲ提案セラレンコトヲ望ム（調査委員意見委員長井田忠信）

第二項　勸業諸費　金九百八拾四圓六拾錢

第三項　耕地改良費　金八千四百六拾八圓

第四項　公有林野造林奬勵費　金八百六拾參圓貳拾五錢

第九款　府費取扱費　金參萬貳千參百圓

第一項　徵收費　金參萬貳千貳百貳拾圓

第二項　滯納處分費　金八拾圓

第十款　財　産　費　　金五圓
第一項　管　理　費　　金五圓
第十一款　府　社　費　　金百貳拾四圓
第一項　府　社　費　　金百貳拾四圓
第十二款　豫　備　費　　金五千圓
第一項　豫　備　費　　金五千圓
第十三款　市郡分賦郡部負擔額　　（修正）金五拾八萬千五百六拾壹圓七拾七錢六厘
第一項　市郡分賦郡部負擔額　　金五拾八萬九千六百九拾九圓四拾壹錢
（修正理由）聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル（調査委員意見委員長井田忠信）
（修正）金五拾八萬千五百六拾壹圓七拾七錢六厘
經常部合計金百四拾參萬貳千參百貳拾七圓九拾四錢五厘
（修正）金百四拾貳萬四千百九拾圓參拾壹錢壹厘
臨時部
第一款　警察廳舍建築費　　金壹萬五千百貳拾九圓

第一項　建　築　費　　金壹萬五千五百貳拾九圓
警察署、分署、派出所等建築費
第二款　土　木　費　　金貳萬九千百貳拾七圓參錢九厘
第一項　道　路　橋　梁　費　　金貳萬八千八百八拾圓四拾五錢八厘
第二項　治　水　堤　防　費　　金貳百四拾六圓五拾八錢壹厘
第三款　郡市町村土木補助費　　金四萬參千七拾參圓貳拾壹錢壹厘
第一項　道路橋梁費補助　　金貳萬參千五百貳拾圓九拾壹錢壹厘
第二項　治水堤防費補助　　金五百參拾七圓拾貳錢
第三項　圦樋費補助　　金壹萬九千拾五圓拾八錢
第四款　衞生及病院補助費　　金四千四百貳拾貳圓
第一項　病院補助費　　金四千四百貳拾貳圓
荏原外三郡傳染病院補助費　　金七千圓
第五款　市町村傳染病豫防補助費　　金七千圓
第一項　市町村傳染病豫防補助費　　金四百四拾四圓六拾六錢五厘
第六款　郡廳舍建築費　　金

第一項　建築費　金四百四拾四圓六拾六錢五厘

第七款　勸業補助費　金八千圓

第一項　勸業補助費　金八千圓

府農會補助五千圓、實業練習生補助百圓、耕地整理費補助九百圓、公有林野造林費補助貳千圓

第八款　府債費　金貳拾八萬七千五百七圓

（修正）金貳拾萬八千五百四拾七圓

第一項　元金償還　金貳拾四萬八千圓

（修正）金拾六萬八千圓

（修正理由）郡部第十一號議案ニ於テ元金償還額ノ年度割ヲ修正シタル結果ニ伴フニ由

（調査委員意見）（委員長井田忠信）

第二項　利子　金參萬九千五百七圓

（修正）金四萬五百四拾七圓

（修正理由）同上

第九款　運用金戻入　金六千參百九拾六圓

第一項　運用金利子　金六千參百九拾六圓

第十款　土木費本年度支出額　金五萬貳千四百七拾七圓

第一項　道路橋梁費本年度支出額　金五萬貳千四百七拾七圓

臨時部合計四拾五萬參千九百七拾五圓九拾壹錢五厘

（修正）金參拾七萬五千拾五圓九拾壹錢五厘

歲出總計金百八拾八萬六千參百參圓八拾六錢

（修正）金百七拾九萬九千貳百六圓貳拾貳錢六厘

郡部第三號議案　大正四年度東京府郡部請願巡査費徵收額……可決

巡査一人一個月分

一金貳拾八圓五拾錢

郡部第四號議案　大正四年度東京府郡部慈惠救濟資金歲入歲出豫算書……可決

郡部第五號議案　大正四年度東京府郡部衞生資金歲入豫算書……可決

第六號議案　大正四年度東京府郡部學資金歳入歳出豫算書……可　決

第七號議案　大正四年度東京府郡部積立金歳入歳出豫算書……可　決

第八號議案　不動產賣却ノ件……可　決

豊多摩郡澁谷町大字中澁谷六百四十一番地所在

新宿警察署澁谷分署管內道玄坂上巡査派出所建物便所共

一木造平家建瓦葺　建坪二坪二合五勺　一個所

荏原郡目黒村大字上目黒四百八十五番地所在

品川警察署世田ヶ谷分署管內上目黒巡査派出所建物便所共

一木造平家建瓦葺　建坪二坪二合五勺　一個所

同郡世田ヶ谷村大字太子堂四百三十九番地所在

品川警察署世田ヶ谷分署管內太子堂巡査派出所建物便所共

一木造平家建瓦葺　建坪二坪二合五勺　一個所

北豊島郡瀧野川町大字西ヶ原二十六番地所在

板橋警察署王子分署管內瀧野川巡査派出所建物便所共

一木造平家建瓦葺　建坪二坪二合五勺　一個所

以上四個所附屬物共

此豫定價額金貳拾圓　一個所ニ付金五圓

右賣却スルモノトス

（原案說明）右ハ改築ノ見込ナルヲ以テ不用ニ屬スルニ由ル

第九號議案　自大正四年度至大正六年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法……可　決

一金五萬百八拾四圓

內譯

道路橋梁費

金五千圓　大正四年度支出額

內

金五千圓

道路改修費

金壹萬六千六百拾四圓　大正五年度支出額

內

金壹萬六千六百拾四圓
金貳萬八千五百七拾圓
內
金貳萬八千五百七拾圓

道路改修費

大正六年度支出額

青梅街道ハ東京市ヨリ青梅町ニ通スル假定縣道ニシテ交通最モ頻繁ヲ極メ該地方唯一ノ幹道タリ然ルニ急勾配及屈曲甚シキ個所アル爲交通不便ナルニヨリ改修ヲ爲サントス而シテ工事並經費ノ都合上繼續費トシテ其完成ヲ期セントス

郡部第十號議案　東京府郡部府稅賦課規則中改正ノ件……可　決

東京府郡部府稅賦課規則中左ノ通改メ大正四年一月一日ヨリ施行スルモノトス

第五條第一項中「郡部ニ於テ納稅義務ヲ有スル者」ト改ム

義務ヲ有スル者」ト改ム

第十六條中左ノ一項ヲ加フ

本府內郡部及市部ニ渉リ營業所ヲ定メテ爲ス營業又ハ其ノ收入ニ對シ本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ營業稅附加稅又ハ所得稅附加稅ヲ賦課スルトキハ

歩合ヲ定メテ之ヲ賦課ス但所得稅附加稅ノ賦課ニ付歩合ヲ定ムルハ府縣制第百八條ニ該當シ本稅ヲ分別シテ納メサル場合ニ限ル

（原案說明）營業稅附加稅及所得稅附加稅ニ關シ歩合ヲ定メテ賦課スルノ必要ヲ感スル場合アルヲ認メ之カ方法ヲ規定スルト法文中ノ不備ヲ補ハンカ爲本改正ヲ爲サントス

郡部第十一號議案　起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法……修　正

第一條　大正三年非常災害復舊土木費ノ負擔ニ充ツル爲郡部經濟ニ於テ罹災救助基金ヨリ金參拾萬圓ヲ大正三年度內須要ニ應シ借入ルヽモノトス

第二條　借入金ノ利息ハ一個年五分二厘トシ每年度九月末日及三月末日ニ於テ前六個月分ヲ仕拂フモノトス（以下省略）

第三條　借入金ハ大正四年度ヨリ大正「五」ヶ「六」ト修正年度ニ至ル「二」ヶ「三」ト修正個年度ニ於テ左ノ通償還スルモノトス但府經濟ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲スコトアルヘシ

大正四年度　金拾八萬圓
大正五年度　（修正）金拾萬圓
　　金拾貳萬圓

（修正）金拾萬圓

「大正六年度　金拾萬圓」（修正追加）

第四條　前條ノ償還ハ一般財源ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

（修正理由）財政ノ都合ヲ斟酌シ三個年度ニ償還セントスルニ由ル（議員井田忠信發議）

郡部第十二號議案　特別經濟運用ニ關スル件……可　決

大正三年非常災害復舊土木費ノ負擔ニ充ツル爲小學校教員加俸資金ヨリ金壹萬參千圓、郡部慈惠救濟資金ヨリ金四萬八千圓、郡部積立金ヨリ金六萬貳千圓ヲ左ノ各項ニ依リ郡部普通經濟ヘ運用スルモノトス

一大正三年度内須要ニ應シ一回若ハ數回ニ運用スルコト

一運用金ニハ一個年五分二厘ノ割合ヲ以テ利子ヲ附シ毎年度九月末日ニ於テ前六個月分ヲ仕拂フ但運用又ハ戻入ノ際ニ於ケル一期ニ充タサル端數利子ハ運用ノ際ニハ其ノ翌日ヨリ戻入ノ際ニハ其ノ當日迄日割ヲ以テ計算スルモノトス

一運用金ハ大正五年度ニ於テ金壹萬參千圓、大正六年度ニ於テ金拾壹萬圓ヲ戻入

スルモノトス

郡部第十三號議案　大正三年度東京府郡部歳入歳出追加豫算書……可　決

歳入

經常部

第七款　家屋税　金壹萬八千九百四拾參圓五拾錢壹厘

第一項　家屋税　金壹萬八千九百四拾參圓五拾錢壹厘

第十款　國庫下渡金　金壹千六百圓

第一項　警察費下渡金　金壹千六百圓

第十一款　市郡連帶郡部收入額　金五萬貳百七拾七圓貳拾八錢壹厘

第一項　市郡連帶郡部收入額　金五萬貳百七拾七圓貳拾八錢壹厘

經常部合計金七萬八百貳拾圓七拾八錢貳厘

臨時部

第二款　國庫補助金　金壹萬參百九拾參圓參拾錢四厘

第七項　土木費補助金　金壹萬參百九拾參圓參拾錢四厘

第四款　府債　金參拾萬圓
第一項　府債　金參拾萬圓
第五款　運用金　金拾貳萬參千圓
第一項　運用金　金拾貳萬參千圓
臨時部合計金四拾參萬參千參百九拾參圓參拾錢四厘
歲入總計金五拾萬四千貳百拾四圓八錢六厘

歲出

經常部

第一款　警察費　金四千圓
第一項　俸給及諸給　金四千圓
退隱料、療治料及弔祭料受給者增加ニ伴フ追加
第九款　府費取扱費　金壹萬參千貳百參拾圓
第一項　徵收費　金壹萬參千貳百參拾圓
第十三款　市郡分賦郡部負擔額　金參拾四萬七千九百六拾八圓四拾五錢九厘
第一項　市郡分賦郡部負擔額　金參拾四萬七千九百六拾八圓四拾五錢九厘

經常部合計金參拾六萬五千百九拾八圓四拾五錢九厘

臨時部

第二款　土木費　金拾貳萬千貳百壹圓七拾壹錢
第一項　道路橋梁費　金八萬九千貳圓九拾六錢
本年非常水害ニ基ク復舊工事費
第二項　治水堤防費　金參萬貳千百九拾八圓七拾五錢
同上
第三款　郡市町村土木補助費　金壹萬五千貳百九拾貳圓貳拾七錢四厘
第一項　道路橋梁費補助　金六千五百拾八圓八拾壹錢四厘
本年非常水害ニ基ク町村復舊工事費補助
第二項　治水堤防費補助　金千七百五拾八圓參拾六錢
同上　金七千拾五圓拾錢
第三項　坑樋費補助
同上　金貳千五百貳拾壹圓六拾四錢參厘
第七款　府債費

第二項　利　　子　　金貳千五百貳拾壹圓六拾四錢參厘

臨時部合計金拾參萬九千拾五圓六拾貳錢七厘

歳出總計金五拾萬四千貳百拾四圓八錢六厘

大正二年度東京府郡部歳入歳出決算書……承　認

府會議員協議會

大正三年十二月二十八日府會議員協議會を開き、各種常置委員選定の件を協議し、其の選定を杉原議長に一任したので、同議長は次の通選定した。而して府會議長、市部會議長、郡部會議長は從來の通當然各種委員に參加することに決定した。

○警務常置委員

齋藤政吉　井田忠信
佐々木東海　永田義原
村上熊八　伊藤仁太郎
五木田治郎吉　沼田辰五郎
松見文平　湯澤伊治
內田彦雄　渡邊長次郎
村林彦之

（註）委員長には杉原府會議長を選定した。

○土木常置委員

富澤政賢　谷岡慶治
吉田廉助　石井芳太郎
飯塚仁兵衛　委員長岡田榮一
朝蔭玉次郎

○衛生常置委員

木崎平六　委員長松村清吾
田中友右衛門　加藤粂三郎
詫摩武彦　猪股要助
大井玄洞

○教育常置委員

豐田周作　川口彌三郎
外山兼次郎　瀨尾新吉
照內芳次郎　加藤純吾
稻垣市兵衛

（註）委員長には酒井市部會議長を選定した。

○勸業常置委員

委員長苗村又右衛門　井上平左衛門
鶴岡英文　世良太一

齋藤孝治郎
田中福太郎

○稅源調査常置委員

花井源兵衛　木崎平六
小谷福平　高木信吉
稻垣市兵衛　委員長村田權次郎
矢野鉉吉　小倉久兵衛
猪股要助

○救育費建議實行委員

廣橋嘉七郎　朝藤玉次郎
小倉久兵衛　加藤純吾
村田權次郎　小谷福平
詫摩武彥　永田義原
世良太一　大井玄洞
鎌田芳太郎　委員長木庭榮
田中福太郎　塚原寅次郎
五木田治郎吉　谷岡慶治
井田忠信　川口彌三郎
佐々木東海　鶴岡英文

木崎平六
井上平左衛門

（註）本委員は各郡區一名宛の標準で選定した。

○當局ニ對スル建議期成委員

外山兼次郎　瀨尾新吉
鎌田芳太郎　佐々木東海
齋藤政吉　廣橋嘉七郎
村田權次郎　木庭榮
村林彦之　上村熊八
小谷福平

（註）委員長には杉原府會議長を選定した。

富澤政賢

關係法令抜萃（府會の行動に關する法令）

○府縣郡市町村ノ人口及府縣郡會議員配當ノ件（明治四十年八月三十一日内務省令第二十二號）

府縣郡市町村ノ人口及府縣制第五條第三項郡制第五條第四項議員配當ノ件左ノ通定ム

第一條　府縣制市制町村制ニ規定セル府縣市町村ノ人口ハ内閣統計局ニ於テ官報ヲ以テ報

告スル最近ノ人口ニ依ル

前項人口調査ノ期日後市（府縣制第四條第二項但町村ヲ廢置分合シ又ハ其ノ境界ヲ變更シタル書ノ區トモ以下同シ）トキハ關係市町村ノ人口ハ府縣知事ニ於テ之ヲ調査シ管內ニ告示スヘシ此ノ場合ニ於テ其ノ處分市町村全部ノ區域ニ係ルモノノ人口ハ內閣統計局ニ於テ官報ヲ以テ報告シ若ハ府縣知事ニ於テ最近ニ告示シタル郡市町村ノ人口ヲ集計シタルモノニ依ル

第三條　町村ヲ變シテ市ト爲シタルトキハ府縣知事ニ於テ其ノ市及郡ノ人口ヲ告示スヘシ其ノ人口ハ內閣統計局ニ於テ官報ヲ以テ報告シ若ハ府縣知事ニ於テ最近ニ告示シタル舊町村ノ人口ヲ以テ市ノ人口トシ其ノ他ノ町村人口ヲ集計シタルモノヲ以テ郡ノ人口トス

第四條　府縣郡ヲ廢置分合シ若ハ其ノ境界ヲ變更シタルトキ及市町村ノ一部ヲ割キテ他ノ市町村ニ併合シ又ハ境界變更ヲ爲シタルトキハ其ノ分割シタル各部ノ人口ハ處分ヲ爲シタル當時ノ現在ニ依ル

第二條　前條第二項ノ場合ニ於テ二箇以上ノ府縣郡ノ境界ニ涉ルトキハ其ノ府縣郡ノ人口モ之ヲ告示スヘシ其ノ人口ハ前條第二項告示ノ市町村人口ト內閣統計局ニ於テ官報ヲ以テ報告シ若ハ府縣知事ニ於テ最近ニ告示シタル郡市町村ノ人口ト集計シタルモノニ依ル

第三條　町村ヲ變シテ市ト爲シタルトキハ府縣知事ニ於テ其ノ市及郡ノ人口ヲ告示スヘシ其ノ人口ハ內閣統計局ニ於テ官報ヲ以テ報告シ若ハ府縣知事ニ於テ最近ニ告示シタル舊町村ノ人口ヲ以テ市ノ人口トシ其ノ他ノ町村人口ヲ集計シタルモノヲ以テ郡ノ人口トス

第四條　府縣郡ヲ廢置分合シ若ハ其ノ境界ヲ變更シタルトキハ前三條ノ例ニ依ル

第五條　府縣制第五條郡制第五條ニ依リ各選擧區ニ於テ選擧スヘキ府縣會議員郡會議員ノ數ハ人口ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ府縣ニ付テハ內務大臣郡ニ付テハ府縣知事ハ別ニ配當標準ヲ加フルコトヲ得

前項ノ人口ハ第一條乃至第四條ノ例ニ依ル

第六條　府縣會議員郡會議員ノ配當更正ヲ要スルトキハ改選ノ際ヲ俟テ之ヲ行フ但シ議員ノ定數ニ異動ヲ生シ若ハ選擧區ノ增減アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

附　則

第七條　本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八條　明治三十二年內務省令第十七號同第十八號及同第五十八號ハ之ヲ廢止ス

○改選後ノ府縣會議長選擧會ノ件（明治四十年十月二十一日內務省令第二十六號）

改選後ノ府縣會ニ於テ始メテ議長ヲ選擧スル場合ニハ會議ノ決議ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○地方稅制限ニ關スル件（明治四十一年三月三十日法律第三十七號）

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル地方稅制限ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　北海道府縣其ノ他ノ公共團體ハ左ノ制限以內ノ地租附加稅又ハ段別割ヲ課スルノ外土地ニ對シテ課稅スルコトヲ得ス

一　北海道府縣北海道ノ區一級町村及二級町村沖繩縣ノ區及町村

附加稅ノミヲ課スルトキ　地租百分ノ六十
段別割ノミヲ課スルトキ　一段歩ニ付　每地目平均金四十錢
附加稅及段別割ヲ併課スル場合ニ於テハ段別割ノ總額ハ其ノ地目ノ地租額百分ノ六十ト附加稅額トノ差額ヲ超ユルコトヲ得ス

二　其ノ他ノ公共團體
附加稅ノミヲ課スルトキ　地租百分ノ四十
段別割ノミヲ課スルトキ　一段歩ニ付　每地目平均金四十錢
附加稅及段別割ヲ併課スル場合ニ於テハ段別割ノ總額ハ其ノ地目ノ地租額百分ノ四十ト附加稅額トノ差額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二條　北海道府縣其ノ他ノ公共團體ハ左ノ制限以內ノ營業稅附加稅ヲ課スルノ外營業稅ヲ納ムル者ノ營業ニ對シ課稅スルコトヲ得ス

一　北海道府縣　營業稅百分ノ二十五
二　其ノ他ノ公共團體　營業稅百分ノ三十五

第三條　北海道府縣其ノ他ノ公共團體ハ左ノ制限以內ノ所得稅附加稅ヲ課スルノ外所得稅ヲ納ムル者ノ所得ニ對シ課稅スルコトヲ得ス

一　北海道府縣　所得稅百分ノ十
二　其ノ他ノ公共團體　所得稅百分ノ三十五

第四條　府縣費ノ全部ヲ市ニ分賦シタル場合ニ於テハ市ハ前三條ノ市稅制限ノ外其ノ分賦金額以內ニ限リ府縣稅制限ニ達スル迄課稅スルコトヲ得

府縣費ノ一部ヲ市町村ニ分賦シタル場合ニ於テハ市町村ハ前三條ノ市町村稅制限ノ外其ノ分賦金額以內ニ限リ課稅スルコトヲ得但シ府縣ノ賦課額ト市町村ノ賦課額トノ合算額ハ府縣稅ノ制限ヲ超過スルコトヲ得ス

第五條　特別ノ必要アル場合ニ於テハ內務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケ第一條乃至第三條ノ制限ヲ超過シ其ノ百分ノ十二以內ニ於テ課稅スルコトヲ得

左ニ揭クル場合ニ於テハ特ニ內務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケ前項ノ制限ヲ超過シテ課稅スルコトヲ得

一　內務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケテ起シタル負債ノ元利償還ノ爲費用ヲ要スルトキ
二　非常ノ災害ニ因リ復舊工事ノ爲費用ヲ要スルトキ
三　水利ノ爲費用ヲ要スルトキ
四　傳染病豫防ノ爲費用ヲ要スルトキ

前二項ニ依リ制限ヲ超過シテ課稅スルハ第一條乃至第三條ニ定メタル各稅目ニ對スル賦課カ各其ノ制限ニ達シタルトキニ限ル

前三項ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條　本法ノ附加稅ハ非常特別稅法ニ依ル增徵額ニ對シテハ之ヲ課スルコトヲ得ス

第七條　本法ノ規定ハ特ニ賦課率ヲ定メタル特別法令ノ適用ヲ妨ケス

附則

本法ハ明治四十一年度ヨリ之ヲ施行ス

非常特別稅法中地租營業稅及所得稅ノ地方稅制限ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

○府縣郡島嶼市區町村ノ人口及議員配當ノ件（大正三年六月二十三日內務省令第九號）

府縣郡島嶼市區町村ノ人口及府縣制第五條第三項郡制第五條第四項議員配當ノ件左ノ通定ム

第一條　府縣制市制町村制明治四十四年勅令第二百四十四號及本令ニ規定セル府縣郡島嶼市區町村ノ人口ハ內閣統計局ニ於テ官報ヲ以テ公示シタル最近ノ人口ニ依ル

前項公示ノ人口現在ノ日以後ニ於テ市區町村ノ廢置分合、境界變更ヲ爲シ又ハ所屬未定地ヲ市區町村ノ區域ニ編入シタルトキハ關係市區町村ノ人口ヲ集計シ告示シタル人口ニ依ル但シ市區町村ノ境界變更又ハ所屬未定地編入ノ區域ニ現住者ナキトキハ此ノ限ニ在ラス

一　市區町村ノ廢置分合ニシテ市區町村全部ノ區域ニ係ルトキハ內閣統計局ニ於テ官報ヲ以テ公示シ又ハ本令ノ規定ニ依リ府縣知事ノ告示シタル關係市區町村ノ最近ノ人口ヲ集計シタルモノ仍市區町村ノ廢置分合前ノ日ニ屬スル最近ノ人口ヲ內閣統計局ニ於テ官報ヲ以テ公示アリタルトキハ更ニ其ノ公示ニ係ル關係市區町村ノ人口ヲ集計シタルモノ

二　前號以外ノ場合ニ於テハ府縣知事ノ調査シタル市區町村ノ廢置分合、境界變更又ハ所屬未定地編入ノ區域ニ現住者ナキトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市區町村ノ境界確定シタル爲關係市區町村ノ人口ニ異動アル場合ニ之ヲ準用ス

第二條　前條第二項第二號及第三項ノ告示ヲ爲ストキハ府縣知事ハ同時ニ府縣郡島嶼ノ人口ヲ告示スヘシ其ノ人口ハ郡島嶼ニ在リテハ町村ノ人口ヲ集計シタルモノトス

第三條　府縣郡島嶼ヲ廢置分合シ若ハ其ノ境界ヲ變更シタルトキハ前二條ノ例ニ依ル

第四條　府縣制第五條郡制第五條ニ依リ各選擧區ニ於テ選擧スヘキ府縣會議員郡會議員ノ數ハ人口ニ比例シテ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ府縣ニ付テハ內務大臣郡ニ付テハ府縣知事ハ別ニ配當標準ヲ定ムルコトヲ得

第五條　新ニ市ヲ置キタル爲之ニ配當スヘキ府縣會議員ハ從前其ノ市ノ屬シタル選擧區ヨリ選出シタル議員ノ中ニ就キ府縣知事抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但シ市ニ住所ヲ有スル議員アルトキハ其ノ議員ヲ以テ市選出ノ議員トス若シ市ニ住所ヲ有スル議員市ノ配當議員數ヨリ多キトキハ其ノ議員ノ中ニ就キ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第六條　郡會議員ノ配當更正ヲ要スルトキハ改選ノ際ヲ俟テ之ヲ行フ但シ議員ノ定數ニ異動ヲ生シ若ハ選擧區ノ增減アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

附則

本令ハ大正三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年八月内務省令第二十二號府縣郡市町村ノ人口及府縣制第五條第三項郡制第五條第四項議員配當ノ件ハ之ヲ廢止ス

（明治三十二年三月法律第六十四號）

（大正三年三月法律第三十五號）

◎府縣制關係

府縣制
府縣制中改正

○府縣制（明治三十二年三月法律第六十四號）

第一章　總則

第一條　府縣ハ從來ノ區域ニ依リ郡市及島嶼ヲ包括ス

第二條　府縣ハ法人トシ官ノ監督ヲ承ケ法律命令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務竝從來法律命令又ハ慣例ニ依リ及將來法律勅令ニ依リ府縣ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條　府縣ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ要スルトキハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

府縣ノ境界ニ涉リテ郡市町村境界ノ變更アリタルトキハ府縣ノ境界モ亦自ラ變更ス所屬未定地ヲ市町村ノ區域ニ編入シタルトキ亦同シ

本條ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ内務大臣ハ關係アル府縣郡市參事會及町村會ノ意見ヲ徵シテ之ヲ定ム但シ特ニ法律ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二章　府縣會

第一款　組織及選擧

第四條　府縣會議員ハ各選擧區ニ於テ之ヲ選擧ス

選擧區ハ郡市ノ區域ニ依ル但シ東京市京都市大阪市其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル市ニ於テハ區ノ區域ニ依ル

第五條　府縣會議員ハ府縣ノ人口七十萬未滿ハ議員三十人ヲ以テ定員トシ七十萬以上百萬未滿ハ五萬ヲ加フル每ニ一人ヲ增シ百萬以上ハ七萬ヲ加フル每ニ一人ヲ增ス

各選擧區ニ於テ選擧スヘキ府縣會議員ノ數ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

前項議員ノ配當方法ニ關スル必要ナル事項ハ内務大臣之ヲ定ム

第六條　府縣内ノ市町村公民ニシテ市町村會議員ノ選擧權ヲ有シ且其ノ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ選擧權ヲ有ス

府縣内ノ市町村公民ニシテ市町村會議員ノ選擧權ヲ有シ且其ノ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額十圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ被選擧權ヲ有ス

家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ハ其ノ財產ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト看做ス

府縣會議員ハ住所ヲ移シタル爲市町村ノ公民權ヲ失フコトアルモ其ノ住所同府縣内ニ在ルトキハ之カ爲其ノ職ヲ失フコトナシ

府縣會議員ノ選擧權及被選擧權ノ要件中其ノ年限ニ關スルモノハ府縣郡市町村ノ廢置分合若ハ境界變更ノ爲中斷セラルルコトナシ

左ニ揭クル者ハ府縣會議員ノ被選擧權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

一　其ノ府縣ノ官吏及有給吏員
二　檢事警察官吏及收稅官吏
三　神官僧侶其ノ他諸宗教師
四　小學校教員

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

選擧事務ニ關係アル官吏吏員ハ其ノ關係區域內ニ於テ被選擧權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

府縣ノ爲請負ヲ爲ス者又ハ府縣ノ爲ス法人ノ役員ハ其ノ府縣ノ府縣會議員ノ被選擧權ヲ有セス

府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第七條　府縣會議員ハ名譽職トス

府縣會議員ノ任期ハ四年トス

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲又ハ議員ノ配當ヲ更正シタル爲解任ヲ要スル者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第八條　府縣會議員中闕員アルトキ及府縣會議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲又ハ議員ノ配當ヲ更正シタル爲議員ノ選擧ヲ要スルトキハ三箇月以內ニ之ヲ行フヘシ

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

補闕議員ヲ除ク外本條第一項ニ依リ選擧セラレタル議員ハ次ノ改選期マテ在任ス

第十三條　府縣會議員ノ選擧ハ府縣知事ノ告示ニ依リ之ヲ行フ其ノ告示ニハ選擧ヲ行フヘキ選擧區投票ヲ行フヘキ日時及選擧スヘキ議員ノ員數ヲ記載シ選擧ノ日ヨリ少クトモ二十日前ニ之ヲ發スヘシ

第十八條　選擧ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選擧人ハ選擧ノ當日自ラ投票所ニ到リ選擧人名簿ノ對照ヲ經投票簿ニ捺印シ投票スヘシ

選擧人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選擧人一名ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

投票用紙ニハ選擧人ノ氏名ヲ書スルコトヲ得ス

自ラ被選擧人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

投票用紙ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フヘシ

第二十三條　選擧會ハ郡役所市役所又ハ郡市長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ開クヘシ

前項選擧會ノ場所ハ郡市長豫メ之ヲ告示スヘシ

第二十七條　左ノ投票ハ之ヲ無效トス

一　成規ノ用紙ヲ用ヰサルモノ
二　一投票中二人以上ノ被選擧人ヲ記載シタルモノ
三　被選擧人ノ何人タルヲ確信シ難キモノ

四　被選擧權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五　被選擧人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條　府縣會議員ノ選擧ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス投票ノ數相等シキトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ選擧長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選擧スルトキハ投票ノ數多キ者投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕ト爲シ同年月ナルトキハ選擧長抽籤シテ之ヲ定ム

第三十一條　選擧ヲ終リタルトキハ選擧長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ選擧錄ノ寫ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

當選者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ十日以內ニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ府縣知事ニ申立ツヘシ

一人ニシテ數選擧區ノ選擧ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以內ニ何レノ選擧ニ應スヘキカヲ府縣知事ニ申立ツヘシ

定期改選增員選擧補闕選擧等ヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ數選擧ニ當リタルトキハ前項ノ例ニ依ル

前三項ノ申立ヲ其ノ期限內ニ爲ササルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第六條第七項ノ官吏ニシテ當選シタル者ニ關シテハ本條ニ定ムル期間ヲ二十日以內トス

第三十二條　府縣會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選擧ヲ行フヘシ

二人以上投票同數ニシテ年長ニ由テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ年少ニ由テ當選セサリシ者ヲ以テ當選トス但シ年少ニ由テ當選セサリシ者二人以上アルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ選擧長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

二人以上投票同數ニシテ抽籤ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ抽籤ノ爲當選セサリシ者ヲ以テ當選トス但シ抽籤ノ爲當選セサリシ者二人以上アルトキハ選擧長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

第三十三條　當選者其ノ當選ヲ承諾シタルトキハ府縣知事ハ直ニ當選證書ヲ付與シ及其ノ住所氏名ヲ告示スヘシ

第三十五條　選擧ノ規定ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選擧ヲ無效トス但シ選擧ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞ナキモノハ此ノ限ニ在ラス

當選者ニシテ被選擧權ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無效トス

第三十六條　選擧若ハ當選無效ト確定シタルトキハ更ニ選擧ヲ行フヘシ但シ得票數ノ查定ニ錯誤アリタル爲又ハ選擧ノ際被選擧權ヲ有セサル爲當選無效ト確定シタルトキハ第二十九條及第三十一條ノ例ニ依ル

第三十七條　府縣會議員ニシテ被選擧權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ府縣知事ニ通知スヘシ但シ議員ハ自己ノ資格ニ關スル會議ニ於テ辯明スルコトヲ得ルモ其ノ議決ニ加ハルヿ異議ハ府縣參事會之ヲ決定ス

府縣會ニ於テ其ノ議員中被選擧權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ府縣知事ニ通知

ルコトヲ得ス

府縣知事ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ

府縣知事ニ於テ被選擧權ヲ有セサル者アリト認ムルトキ亦同シ

本條府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

府縣會議員ハ其ノ被選擧權ヲ有セストスル決定確定シ又ハ判決アルマテハ會議ニ列席シ及發言スルノ權ヲ失ハス

第四十條　府縣會議員ノ選擧ニ付テハ衆議院議員選擧ニ關スル罰則ヲ準用ス

第二款　職務權限及處務規程

第四十一條　府縣會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

一　歲入出豫算ヲ定ムル事

二　決算報告ニ關スル事

三　法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料手數料府縣稅及夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事

四　不動產ノ處分竝買受讓受ニ關スル事

五　積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事

六　歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事

七　財產及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

八　其ノ他法律命令ニ依リ府縣會ノ權限ニ屬スル事項

第四十二條　府縣會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ府縣參事會ニ委任スルコトヲ得

第四十三條　府縣會ハ法律命令ニ依リ選擧ヲ行フヘシ

第四十四條　府縣會ハ府縣ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ府縣知事若ハ內務大臣ニ呈出スルコトヲ得

第四十五條　府縣會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

府縣會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ府縣會招集ニ應セス若ハ成立セス又ハ意見ヲ呈出セサルトキハ當該官廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十六條　府縣會議員ハ選擧人ノ指示若ハ委囑ヲ受クヘカラス

第四十七條　府縣會ハ議員中ヨリ議長副議長各一名ヲ選擧スヘシ

議長副議長ハ議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘシ

第四十八條　議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選擧スヘシ

第四十九條　府縣知事及其ノ委任若ハ囑託ヲ受ケタル官吏吏員ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第五十條　府縣會ハ通常會及臨時會トス

通常會ハ毎年一回之ヲ開ク其ノ會期ハ三十日以内トス

事件ニ限リ之ヲ開ク其ノ會期ハ七日以内トス

臨時會ニ付スヘキ事件ハ豫メ之ヲ告示スヘシ但シ其ノ開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ府縣知事ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

第五十一條　府縣會ハ府縣知事之ヲ招集ス

招集ハ開會ノ日ヨリ少クトモ十四日前ニ告示スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

府縣會ハ府縣知事之ヲ開閉ス

第五十二條　府縣會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第五十三條　府縣會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五十四條　議長及議員ハ自己若ハ父母祖父母妻子孫兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ府縣會ノ同意ヲ得ルニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

第五十五條　法律命令ノ規定ニ依リ府縣會ニ於テ選擧ヲ行フトキハ一名毎ニ匿名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二名ヲ取リ之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若同數ナルトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム其ノ他ハ第十八條第二十七條及第二十八條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ選擧ニ付テハ府縣會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選若ハ連名投票ノ法ヲ用ウルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用ウル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル

第五十六條　府縣會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　府縣知事ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

二　議長若ハ議員三名以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議長若ハ議員ノ發議ハ討論ヲ須ヒス其ノ可否ヲ決スヘシ

第五十七條　議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第五十八條　府縣會議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用ヰ又ハ他人ノ身上ニ渉リ言論スルコトヲ得ス

第五十九條　會議中此ノ法律若ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第六十條　傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騷ニ渉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求

ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第六十一條　議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議員若ハ第四十九條ノ列席者ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第六十二條　府縣會ニ書記ヲ置キ議長ニ隷屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第六十三條　議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ製シ會議ノ顚末竝出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ會議錄ハ議長及議員二名以上之ニ署名スルヲ要ス其ノ議員ハ府縣會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

議長ハ會議錄ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第六十四條　府縣會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ內務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

會議規則ニハ此ノ法律竝會議規則ニ違背シタル議員ニ對シ府縣會ノ議決ニ依リ五日以內出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三章　府縣參事會

第一款　組織及選擧

第六十五條　府縣ニ府縣參事會ヲ置キ府縣知事府縣高等官二名及名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

府ノ名譽職參事會員ハ八名トシ縣ノ名譽職參事會員ハ六名トス

府縣高等官ニシテ府縣參事會員タルヘキ者ハ內務大臣之ヲ命ス

第六十六條　名譽職參事會員ハ府縣會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選擧スヘシ

府縣會ハ名譽職參事會員ト同數ノ補充員ヲ選擧スヘシ

名譽職參事會員中闕員アルトキハ府縣知事ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕ス其ノ順序ハ選擧同時ナルトキハ投票同數ナルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ抽籤ニ依リ選擧ノ時ヲ異ニスルトキハ選擧ノ前後ニ依ル仍闕員ヲ生シタル場合ニ於テハ臨時補闕選擧ヲ行フヘシ

補闕員ハ前任者ノ殘任期間在任ス

名譽職參事會員及其ノ補充員ハ府縣會議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘシ但シ名譽職參事會員ハ後任者就任ノ日マテ在任ス

第六十七條　府縣參事會ハ府縣知事ヲ以テ議長トス府縣知事故障アルトキハ高等官參事會員議長ノ職務ヲ代理ス

第二款　職務權限及處務規程

第六十八條　府縣參事會ノ職務權限左ノ如シ

一　府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二　府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ府縣知事ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ府縣會ニ代テ議決スル事

三　府縣知事ヨリ府縣會ニ提出スル議案ニ付府縣知事ニ對シ意見ヲ述フル事

四　府縣會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財産及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

五　府縣費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

六　府縣ニ係ル訴願訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事

七　其ノ他法律命令ニ依リ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事項

第六十九條　府縣參事會ハ名譽職參事會員中ヨリ委員ヲ選擧シ之ヲシテ府縣ニ係ル出納ヲ檢查セシムルコトヲ得

前項ノ檢查ニハ府縣知事又ハ其ノ指名シタル官吏若ハ吏員之ニ立會フコトヲ要ス

第七十條　第四十四條第四十五條第四十九條及第六十二條ノ規定ハ府縣參事會ニ之ヲ準用ス

第七十一條　府縣參事會ハ府縣知事之ヲ招集ス若名譽職參事會員半數以上ノ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ヲ招集スヘシ

府縣參事會ノ會期ハ府縣知事之ヲ定ム

第七十二條　府縣參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第七十三條　府縣參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第六十八條第二ノ議決ヲ爲ストキハ府縣知事高等官參事會員ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

府縣參事會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

會議ノ顚末ハ之ヲ會議錄ニ記載シ議長及參事會員二名以上之ニ署名スヘシ

第七十四條　第五十四條ノ規定ハ府縣參事會ノ會議ニ之ヲ準用ス但シ同條ノ規定ニ依リ會員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ府縣知事ハ補充員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ以テ第六十六條第三項ノ順序ニ依リ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得サルトキハ府縣會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指名シ其ノ闕員ヲ補充スヘシ

議長及其ノ代理者共ニ除席セラレタルトキハ年長ノ會員ヲ以テ假議長ト爲スヘシ

第四章　府縣行政

第一款　府縣吏員ノ組織及任免

第七十五條　府縣ニ有給ノ府縣吏員ヲ置クコトヲ得

前項ノ府縣吏員ハ府縣知事之ヲ任免ス

第七十六條　府縣ニ府縣出納吏ヲ置キ官吏吏員ノ中ニ就キ府縣知事之ヲ命ス

第七十七條　府縣ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ臨時若ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス

委員ノ組織選任任期等ニ關スル事項ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事

之ヲ定ム

第二款　府縣官吏府縣吏員ノ職務權限及處務規程

第七十八條　府縣知事ハ府縣ヲ統轄シ府縣ヲ代表ス
府縣知事ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ
一　府縣費ヲ以テ支辨スヘキ事件ヲ執行スル事
二　府縣會及府縣參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發スル事
三　財產及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事
四　收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事
五　證書及公文書類ヲ保管スル事
六　法律命令又ハ府縣會若ハ府縣參事會ノ議決ニ依リ使用料手數料府縣稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事
七　其ノ他法律命令ニ依リ府縣知事ノ職權ニ屬スル事項

第七十九條　府縣知事ハ議案ヲ府縣會ニ提出スル前之ヲ府縣參事會ノ審査ニ付シ若府縣參事會ト其ノ意見ヲ異ニスルトキハ府縣參事會ノ意見ヲ議案ニ添ヘ府縣會ニ提出スヘシ

第八十條　府縣知事ハ府縣ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ郡島ノ官吏吏員又ハ市町村吏員ニ補助執行セシメ若ハ委任スルコトヲ得
府縣知事ハ府縣ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ府縣吏員ニ臨時代理セシムルコトヲ得

第八十二條　府縣會若ハ府縣參事會ノ議決若ハ選擧其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ直ニ其ノ議決若ハ選擧ヲ取消シ又ハ議決ニ付テハ再議ニ付シタル上仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ之ヲ取消スヘシ
前項取消處分ニ不服アル府縣會若ハ府縣參事會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
府縣會若ハ府縣參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ直ニ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

第八十三條　府縣會若ハ府縣參事會ニ於テ府縣ノ收支ニ關シ不適當ノ議決ヲ爲シタルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ內務大臣ノ指揮ヲ請フコトヲ得

第八十四條　府縣知事ハ期日ヲ定メテ府縣會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第八十五條　府縣會若ハ府縣參事會招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ府縣知事ハ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得第五十四條第七十四條ノ場合ニ於テ會議ヲ開クコト能ハサルトキ亦同シ
府縣會若ハ府縣參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス又ハ府縣會ニ於テ其ノ招集前告示セラレタル事件ニ關シ議案ヲ議了セサルトキハ前項ノ例ニ依ル